



JAMA/JAPIA 統一データシート 操作手順書

(Ver.3.00)

目次

1	はじめに	3
1.1	この文書の目的	3
1.2	対象とする読者	3
2	ご利用の前に	4
2.1	必要なシステム	4
2.1.1	ハードウェア	4
2.1.2	ソフトウェア	4
2.2	必要なファイル	5
2.2.1	JAMA/JAPIA 統一データシート本体	5
2.2.2	外部リストファイル	5
2.3	JAMA/JAPIA 統一データシートの構成	6
2.3.1	表紙	6
2.3.2	入力帳票	7
2.3.3	入力要領	7
2.3.4	MESSAGE	8
3	データを入力する	9
3.1	表紙を入力する	9
3.2	入力帳票にデータを入力する	10
3.2.1	入力帳票各部の名称	10
3.2.2	入力項目の意味や項目別の入力方法を確認する(入力要領)	14
3.2.3	基本情報(調査元情報)を入力する	16
3.2.4	「構成材料・化学物質情報」表を入力する	16
3.2.4.1	データ階層構造と行	16
3.2.4.2	入力が必要な列を明示する(不要項目フラグ)	20
3.2.4.3	項目別解説	21
3.2.4.3.1	連番	21
3.2.4.3.2	納入部品	22
3.2.4.3.3	部品構成	24
3.2.4.3.4	構成材料	30
3.2.4.3.5	化合物	43
3.2.4.3.6	リサイクル	53
3.2.4.3.7	その他	54
3.2.4.3.8	殺生物目的	57
3.2.4.3.9	部工会オプション	61
3.2.5	行・列のコピー・挿入・削除について	66
3.2.5.1	行をコピー・挿入する(「行複写」ボタン)	66
3.2.5.2	行を削除する(「行削除」ボタン)	70
3.2.6	入力したデータに誤りがないか確認する(入力データのチェック)	73
3.2.7	入力したデータを削除する(一括クリア)	80
3.2.8	入力したデータが変更されないよう保護する(入力保護)	81
4	データを出力する	88
4.1.1	CSV ファイルの出力	88
4.1.2	XML ファイルの出力	93
5	他社からのデータを取り込む(CSV ファイルの取り込み)	99

1 はじめに

1.1 この文書の目的

本文書は、一般社団法人日本自動車工業会(以下 JAMA)および一般社団法人日本自動車部品工業会(以下 JAPIA)が、両団体の会員に対し提供している「JAMA/JAPIA 統一データシート」の基本操作を解説することを目的として作成されています。

本文書では以下の内容は扱いませんので、それぞれ対応する資料をご確認ください。

- ✓ Microsoft Excel の機能(Microsoft Excel のヘルプ等をご参照ください)
- ✓ JAMA/JAPIA 統一データシートに関する作業フロー
- ✓ 各社の製品に合わせた入力方法

1.2 対象とする読者

本文書が対象とする読者は、JAMA/JAPIA 統一データシートを使用し、製品情報の授受を行う作業担当者として、基本的なパソコンの操作および Microsoft Excel の操作を習得済みであることを前提としています。

2 ご利用の前に

2.1 必要なシステム

JAMA/JAPIA 統一データシートのご利用には、以下のハードウェアおよびソフトウェアの性能を 共に 満たす環境をご用意ください。

- 以下のハードウェアおよびソフトウェアは、株式会社マイクロソフトによる Windows(OS)と Excel(ソフトウェア)のバージョンの組み合わせによる動作条件を前提とします。

2.1.1 ハードウェア

以下の性能もしくはそれ以上のパソコンを使用する必要があります(ただし外部ファイルのサイズに依存します)。

<Windows7>

CPU:	1 GHz 以上の 32 ビット (x86)または 64 ビット (x64)
メモリ:	1GB 以上(32 ビット)、または 2GB 以上(64 ビット)
空き HDD 容量:	16GB 以上(32 ビット)、または 20GB 以上(64 ビット)

<Excel 2013>

CPU:	1GHz 以上
メモリ:	1GB 以上
空き HDD 容量:	3GB 以上

<Windows10>

CPU:	1 GHz 以上の 32 ビット (x86)または 64 ビット (x64)
メモリ:	1GB 以上(32 ビット)、または 2GB 以上(64 ビット)
空き HDD 容量:	16GB 以上(32 ビット)、または 20GB 以上(64 ビット)

<Excel 2016>

CPU:	1GHz 以上
メモリ:	2GB 以上
空き HDD 容量:	3GB 以上

2.1.2 ソフトウェア

上述の条件を満たすハードウェア上で、以下のソフトウェア環境上でのご利用を推奨します。

基本ソフトウェア:	Windows 7 SP1 以上
動作対象 Excel:	Excel 2013 SP3 以上(日本語版と英語版)

2.2 必要なファイル

2.2.1 JAMA/JAPIA 統一データシート本体

■ 定義

JAMA/JAPIA 統一データシートは製品の含有化学物質情報を入力するためのフォームです。初期ファイル名は jamasheet_jp20yyymmdd.xls(日本語版)、jamasheet_en20yyymmdd.xls(英語版)、jamasheet_ch20yyymmdd.xls(中国語版)です。(20yy は年、mm は月、dd は日を表している。)

■ 用途

JAMA/JAPIA 統一データシートは含有化学物質調査の目的で、調査元から調査先に対して送付されます。同データシートに対して情報を入力し、調査元に返送します。なお、JAMA/JAPIA 統一データシートを使用するにはパスワードが必要となります。

2.2.2 外部リストファイル

JAMA/JAPIA 統一データシートへのデータ入力やデータチェックには、同データシートとは別に、同じ言語の「外部リストファイル」を用意する 必要があります。

■ 定義

外部リストファイルとは JAMA/JAPIA 統一データシート本体とは独立したファイルで、JAMA/JAPIA によって保守されます。この外部リストファイルには材料のリストや化学物質のリストなど、JAMA/JAPIA 統一データシートの入力に必要な補助的なデータが記載されています。機密上の理由により、外部リストの内容を閲覧することは許されません。

■ 使用条件

- ✓ 外部リストファイルを JAMA/JAPIA 統一データシートと 同じフォルダ に入れておく
- ✓ 外部リストファイルの名称が定められた形式(EXLIST-20yy-mm-ddJP.xlsx)または(EXLIST-20yy-mm-ddEN.xlsx) または(EXLIST-20yy-mm-ddCH.xlsx)に沿っている(名称を変更してはならない)。
※Ver.2.21 までは外部リストファイル名称の拡張子は.xls、Ver.2.30 より拡張子は.xlsx となっています。
- ✓ 同じフォルダに複数の外部リストファイルを入れてはならない。
- ✓ 外部リストファイルは、同一年月日の最新版 JAMA/JAPIA 統一データシートと組み合わせて使用する。(有効期限を過ぎた旧版は使用できない。)

■ 読み込まれるタイミング

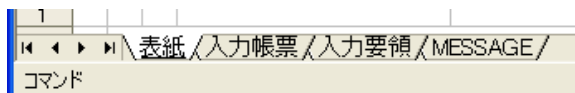
外部リストファイルは、JAMA/JAPIA 統一データシートを起動した後、外部リストを使用するボタンを押した際に初めて読み込まれます(シート単位)。一度読み込まれると以降 JAMA/JAPIA 統一データシートを閉じるまでは同じシートが再度読み込まれることはありません。従って、2 回目以降に外部リストファイルの同じシートを用いたボタンを押した場合は動作が速くなります。また、最初の読み込みから JAMA/JAPIA 統一データシートの終了までの間に、万一外部リストファイルの内容が変更された場合、その変更は反映されません。

2.3 JAMA/JAPIA 統一データシートの構成

JAMA/JAPIA 統一データシート内には4種類のシートが含まれています。

- 表紙
- 入力帳票
- 入力要領
- MESSAGE

含まれるシート



2.3.1 表紙

表紙

シートの表紙です。シート改正の内容、最も基本的な操作方法などが記述されています。

シートのバージョンは右上部分で確認できます。

調査元は自社情報をこのシートに入力します。詳細は9ページ「表紙を入力する」をご覧ください。

JAMA/JAPIA統一データシート	
<p>「殺生物目的」(項目番号:35)の情報を得るためのデータ再提出要求は、自粛いただきますようお願いいたします。 詳細は、「JAMA/JAPIA統一データシートの運用要領」(2016年11月改正版)の5.7項に従ってください。</p>	
Ver 3.00 2018年10月1日	
JAMA/JAPIA統一データシートの改正を、下記の通り実施します。	
<p><2018年10月1日></p> <ul style="list-style-type: none"> IMDSとの整合を図り、改正版(Ver.3.00)を発行しました。 改正内容の詳細につきましては、JAPIAサイト掲載の資料を参照して下さい。 欧州REACH規則のSVHCが、2018年6月27日に追加されましたので、外部リストを更新しました。 	
<p><2018年6月1日></p> <ul style="list-style-type: none"> IMDSとの整合を図り、小改正版(Ver2.51)を発行しました。 改正内容の詳細につきましては、JAPIAサイト掲載の資料を参照して下さい。 最新GADSL(2018 GADSL Version 1)に整合化し、外部リストを更新しました。 欧州REACH規則のSVHCが、2018年1月15日に追加されましたので、外部リストを更新しました。 	
<p><2017年10月1日></p> <ul style="list-style-type: none"> IMDSとの整合と、入力者の利便性向上を図り、小改正版(Ver2.50)を発行しました。 改正内容の詳細につきましては、JAPIAホームページ掲載の資料を参照して下さい。 欧州REACH規則のSVHCが、2017年7月7日に追加されましたので、外部リストを更新しました。 	

また、データの出力操作の詳細は88ページ「データを出力する」をご覧ください。

2.3.2 入力帳票

入力帳票

入力データのチェック **CSVファイルの取り込み** **CSVファイルの出力** **XMLファイルの出力** **一括クリア**

(1) 基本情報調査

項目名称	カーメーカーコード	仕入先コード	仕入先名	回答期限	回答日
データ型	半角英数字	半角英数字	半角英数字	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD
記入者	調査元	調査元	調査元	調査元	調査元

(2) 構成材料・化学物質調査

項目番号	1	2	3	4	5	6	7
項目名称	連番	納入部品番号	納入部品名	納入部品質量 [g/部品]	設計変更番号	登録済 区分	構成番
データ型	半角数字	半角英数字	半角英数字	半角数字	半角英数字	半角数字	半角数字
桁数(整数)	5	25	60	9	10	2	2
桁数(小数)	0	0	0	6	0	0	0

実際のデータ入力作業をここでを行います。詳細は10ページ「入力帳票にデータを入力する」をご参照ください。

2.3.3 入力要領

入力要領

入力マニュアル

(1) 基本情報調査

項目名	MSフィールド名 (XMLファイル属性名)	定義	記入上の注意事項/解説	入力者	データ提供方式	備考
カーメーカーコード	なし	OEMコード、Tier1コード等、調査元の指定するコード	調査元(OEM等)にて入力する。(データ回収時の識別コード)	調査元(OEM、Tier1等)調査依頼をかける方 ・調査先(調査依頼を受けた側)に記入する	データ提供方式 ・調査元指定 ・入力 ・選択入力 ・自動入力	
仕入先コード	なし	調査先のコード	・仕入先コードは調査元(OEM等)で指定し入力する。	調査元入力	調査元指定	
仕入先名	なし	調査先の名称	・仕入先名は調査元(OEM等)で指定し入力する。	調査元入力	調査元指定	
回答期限	なし	調査回答期限	・調査元(OEM等)が指定する回答期日で、調査元が記入する。	調査元入力	調査元指定	
回答日	なし	調査回答日	調査元で入力、回答日を記入する。	調査元入力	入力	

(2) 構成材料・化学物質調査

カラムNo	項目名	MSフィールド名 (XMLファイル属性名)	定義	記入上の注意事項/解説	入力者	データ提供方式	備考
1	連番	なし	・データに付与する識別のための番号	・データに付与する識別のための番号であり、シート単位でデータの先頭行から1以降の連番を付与する。 [注1] データ解析時に、連番でシートデータ作成時の状態を復元できることを想定し連番を付与する。	調査元入力	データ提供方式 ・調査元指定 ・入力 ・選択入力 ・自動入力	
2	納入部品番号	部品番号 ("Component"属性) および "Chap"属性 ("PartName"属性)	・調査先が調査元に納入する部品の番号	・調査先が、調査元に納入する部品の番号で、調査先(仕入先)での命名は原則不可とする。 [注1] データ解析時に1データに、調査対象が属する納入部品番号を特定する為に使用する。 [注2] 調査先(仕入先)で命名が必要な場合は、その調査元(OEM等)に連絡して署名付で修正する。 [注3] 調査先(仕入先)で命名が必要な場合は、その調査元(OEM等)に連絡して署名付で修正する。	調査元又は調査元入力 (調査元が指定)	データ提供方式 ・調査元指定 ・入力 ・選択入力 ・自動入力	・入力データが複数場合は、各行に納入番号(コピ)する。
3	納入部品名称	部品名称 ("Component"属性) "Name"属性 および "Chap"属性 ("PartName"属性)	・調査先が調査元に納入する部品の名称	・調査元又は調査元入力 (調査元が指定)	調査元又は調査元入力 (調査元が指定)	データ提供方式 ・調査元指定 ・入力 ・選択入力 ・自動入力	・入力データが複数場合は、各行に納入番号(コピ)する。

コマンド: 表紙 / 入力帳票 / 入力要領 / MESSAGE /

各項目の意味や項目別の入力方法等を調べるためにはこのシートを参照します。

入力帳票と入力要領シート間でジャンプすることが可能です。詳細は14ページ「入力項目の意味や項目別の入力方法を確認する(入力要領)」をご参照ください。

2.3.4 MESSAGE

MESSAGE		
A	B	C
チェック中断	・ボタンを押してから実際にチェックが中断するまでに数分かかる事があります。	
R42	[mes17:エラー] 入力されている値がリストの値と合致しません。	
C43	[mes8:警告] 入力されていたデータを自動設定にて上書きしました。 化合物含有率(固定値)については、部工会オプションの化合物含有率 (最大値、最小値、残部)から自動設定されます。	
O43	[mes26:エラー] 材料名称、材料規格、材料コード、材料記号、VDA材料分類の組み合わせがリストの 値と合致しません。	
Z43	[mes53:エラー] 化合物コード、化合物名称、Node IDの組み合わせが正しくありません。	
C44	[mes8:警告] 入力されていたデータを自動設定にて上書きしました。 化合物含有率(固定値)については、部工会オプションの化合物含有率 (最大値、最小値、残部)から自動設定されます。	
C45	[mes8:警告] 入力されていたデータを自動設定にて上書きしました。 化合物含有率(固定値)については、部工会オプションの化合物含有率 (最大値、最小値、残部)から自動設定されます。	
C46	[mes8:警告] 入力されていたデータを自動設定にて上書きしました。 化合物含有率(固定値)については、部工会オプションの化合物含有率 (最大値、最小値、残部)から自動設定されます。	

データ入力後、誤りがないかどうか確認するため「入力データのチェック」作業を行います。

このシートにはチェック結果が表示されます。

詳細は73ページ「入力したデータに誤りがないか確認する(入力データのチェック)」をご参照ください。

3 データを入力する

この章では、JAMA/JAPIA 統一データシートの目的であるデータの入力および調査元への提出に必要な操作について解説します。

3.1 表紙を入力する

【調査元】



操作



調査元情報の入力

表紙には調査元情報(調査結果提出先)があります。この項目は調査元で入力します。

調査元情報(調査結果提出先)

The screenshot shows the 'Table' (表紙) tab in the JAMA/JAPIA spreadsheet. The spreadsheet contains instructions for submitting data to the survey source (調査元) and a form for entering survey source information (調査元情報).

Instructions for Submission:

- (4) 調査元へ提出します。
- 下記の方法で、入力した本帳票を提出して下さい。
- ・CSVファイルにて提出する場合は、こちらのボタンをクリックして下さい。 → **CSVファイルの出力**
- ・XMLファイルを作成することができます。
- ・IMDSにアップロードする場合は、こちらのボタンをクリックして下さい。 → **XMLファイルの出力**
- XMLファイルを、IMDSにアップロードして下さい。
- IMDSアップロード用
- なお、IMDSへのアップロードには、各社にてDXC Technology (旧日本ヒューレット・パッカード株式会社)とのIMDS-AI利用契約が必要になります。
- ・提出方法は調査元の指示に従って下さい。

Survey Source Information (調査元情報) Form:

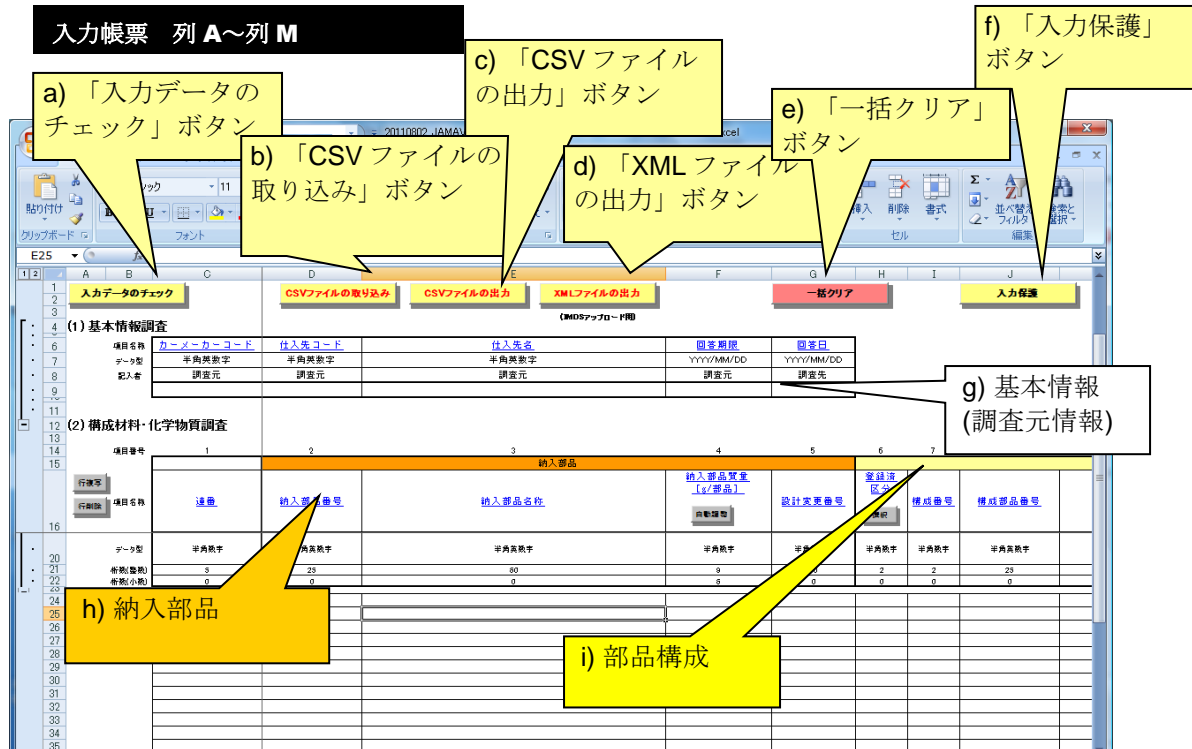
<調査元情報 (調査結果提出先)>	
会社名	
所属	
氏名	
Tel	
e-mail	

The bottom of the screen shows the 'Table' (表紙) tab selected, with other tabs like 'Input Form' (入力帳票), 'Input Summary' (入力要領), and 'MESSAGE' visible. The status bar at the bottom indicates '準備完了' (Preparation Complete) and a zoom level of 100%.

3.2 入力帳票にデータを入力する

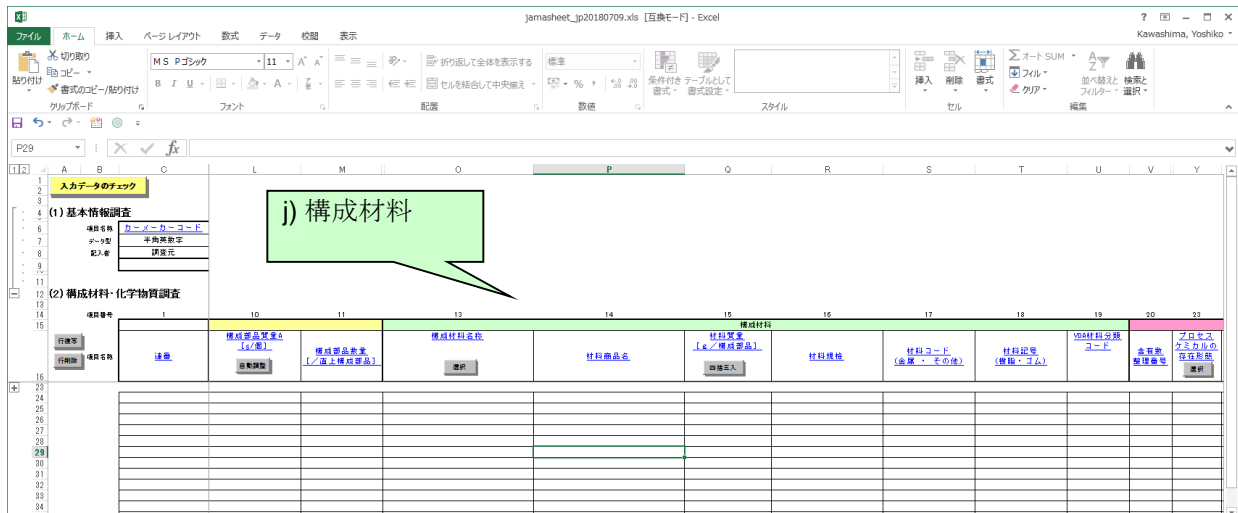
3.2.1 入力帳票各部の名称

入力帳票シートは以下のような構成になっています。



- | | | |
|----|--------------------|-------|
| a) | 「入力データのチェック」ボタン | 73ページ |
| b) | 「CSV ファイルの取り込み」ボタン | 99ページ |
| c) | 「CSV ファイルの出力」ボタン | 88ページ |
| d) | 「XML ファイルの出力」ボタン | 93ページ |
| e) | 「一括クリア」ボタン | 80ページ |
| f) | 「入力保護」ボタン | 81ページ |
| g) | 基本情報(調査元情報) | 16ページ |
| h) | 納入部品 | 22ページ |
| i) | 部品構成 | 24ページ |

入力帳票 列O～列U, 列AX



j) 構成材料

30ページ

入力帳票 列 V, 列 Y~列 AB, 列 AD~列 AH, 列 AJ, 列 AK

A		B		C		Y		Z		AA		AB		AD		AE		AF		AG		AH		AJ		AK	
入力データのチェック																											
(1) 基本情報調査																											
項目名称				カーメーカーコード																							
データ型				半角英数字																							
記入者				調査元																							
(2) 構成材料・化学物質調査																											
項目番号				1		23		24		25		26		28		29		30		31		32		34		35	
行挿入				連番		プロセス ケミカルの 存在形態		化合物コード		化合物名		化合物 含有率		再生材使用率 (工程内リサ イクル材) 最小値		再生材使用率 (工程内リサ イクル材) 最大値		再生材使用率 (市場回収材) 最小値		再生材使用率 (市場回収材) 最大値		材質表示		アプリケーション		殺生物目的	
行削除				項目名称		選択		選択		選択		選択		最小値		最大値		最小値		最大値		選択		一括入力		選択	

- k) 化合物 43ページ
 l) リサイクル 53ページ
 m) その他 54ページ
 n) 殺生物目的 57ページ

入力帳票 列 AP~列 AW

AQ4		A		B		C		AP		AQ		AR		AS		AT		AU		AV	
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					
21																					
22																					
23																					
24																					
25																					
26																					
27																					
28																					
29																					
30																					
31																					
32																					
33																					
34																					
35																					
36																					
37																					
38																					
39																					
40																					
41																					
42																					
43																					
44																					
45																					
46																					
47																					
48																					
49																					
50																					
51																					
52																					
53																					
54																					
55																					
56																					
57																					
58																					
59																					
60																					
61																					
62																					
63																					
64																					
65																					
66																					
67																					
68																					
69																					
70																					
71																					
72																					
73																					
74																					
75																					
76																					
77																					
78																					
79																					
80																					
81																					
82																					
83																					
84																					
85																					
86																					
87																					
88																					
89																					
90																					
91																					
92																					
93																					
94																					
95																					
96																					
97																					
98																					
99																					
100																					

- o) 部工会オプション 61ページ

◎ 基本情報調査(調査元情報)表

基本情報調査(調査元情報)表には以下の行があります。

なお、これらの行は左端の「－」ボタンで折りたたみが可能です。

基本情報表の行

項目名称
クリックすると入力要領が表示される。

データ型
入力すべきデータの形式を示す。

記入者
調査元・調査先どちらが記入すべきかを示す。

項目名称	データ型	記入者
カーメーカーコード	半角英数字	調査元

入力欄
この行に情報を入力する。

◎ 構成材料・化学物質調査表

構成材料・化学物質調査表には以下の行があります。

なお、これらの行は左端の「－」ボタンで折りたたみが可能です。

構成材料・化学物質調査

項目名称
クリックすると入力要領が表示される。

記入者
調査元・調査先どちらが記入すべきかを示す。

データ型
入力すべきデータの形式を示す。

桁数(小数)
数値の場合、小数部分に入力できる桁数を示す

定義
入力すべきデータの定義を示す。

必須
入力必須項目かどうかを示す

桁数(整数)
数値の場合、整数部分に入力できる桁数を示す

入力欄
24 行目以下の行に情報を入力する。

項目名称	データ型	桁数(整数)	桁数(小数)
連番	半角英数字	5	0

◎ 入力要領の確認、入力帳票へ戻る

入力要領

Microsoft Excel - jamasheet_ip20080326.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 形式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

質問を入力してください

MS Pゴシック 10 B I U

65%

A14 1

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	入力マニアル												
2													
3	(1) 基本技術調査												
4	項目名	MDフラットID名 (DMFLファイル属性名)	定義	記入上の注意事項/解説	備考	データ型	整数 桁数	小数 桁数	記入例				
5	カードボード	なし	MDフラットID名	・調査先(DEM)にて入力する。(デフォルト時の適用)	・調査先(DEM, Tier1)が指定される場合、 ・調査先(調査依頼書)にて指定される場合	調査先指定	0	0	101				
6	仕入先コード	なし	調査先のコード	・仕入先コードは調査先(DEM等)で指定し入力する。	調査先入力	調査先指定	0	0	0001				
7	仕入先名	なし	調査先の名称	・仕入先名は調査先(DEM等)で指定し入力する。	調査先入力	調査先指定	0	0	ABC Corporation				
8	出荷期限	なし	調査先出荷期	・調査先(DEM等)が指定する出荷期でも、調査先が記入する。	調査先入力	調査先指定	10	0	YYYY/MM/DD				
9	回答日	なし	調査回答期	・調査先で入力、回答日を入力する。	調査先入力	入力	10	0	YYYY/MM/DD				
10													
11	(2) 補綴材料・片装調査調査												
12	項目名	MDフラットID名 (DMFLファイル属性名)	定義	記入上の注意事項/解説	備考	データ型	整数 桁数	小数 桁数	記入例				
13	1 歯	なし	・データに紐づく異なる歯の調査	・データに紐づく異なる歯の調査であり、シート単位でデータの属する1行1列の調査を指す。 【注】シート単位は、歯番号コードデータが空白時の状態を決定できることを想定し、歯番号を付与する。	・入力 ・調査先(調査依頼書)にて指定する ・備考欄に記入する	入力	5	0	半角英数字				
14	2 納入部品番号	部品番号 "Component" 無し "Part" 無し "Asy" 無し "Chad" 無し "ResuPart" (属性)	・調査先が調査先に納入する部品の番号	・調査先が調査先に納入する部品の番号で、調査先(仕入先)の納入品に紐づく番号とする。 【注】シート単位(歯番号1行1列)に、調査対象が属する納入品番号を指定する為使用する。	・入力 ・調査先又は調査先(調査依頼書)にて指定する	半角英数字	25	0	納入部品の材料品番が与えられている場合は、各行に納入部品番号を記入(コピー)する。 調査先の材料品番が与えられている場合は、記入してある。				
15	3 納入部品名	部品名 "Component" 無し "Part" 無し	・調査先が調査先に納入する部品の名称	・調査先が調査先に納入する部品の名称。(2)納入部品番号に相対する部品の名称)	・入力 ・調査先が指定)	半角英数字	60	0	・入力データが複数行になる場合は、各行に納入部品番号を記入(コピー)する。				
16	<div> <div> <div>「表紙(入力帳票) 入力要領」MESSAGE/</div> <div>デフォルト値</div> </div> <div> <div>クリックすると入力帳票へ戻る</div> </div> </div>												

クリックした項目が自動的に選択されています

クリックした項目が自動的に選択されています。

選択された行には入力に関する注意事項が記述されています。

入力帳票に戻る場合は表の右側にある「入力帳票に戻る」リンクをクリックします。

3.2.3 基本情報(調査元情報)を入力する

【調査元】

{調査先}

この表には調査元が調査の基本情報(調査元情報)を入力します。

ただし、右端の回答日は調査先にて入力します。

各項目に関して不明な点があれば、項目名をクリックして入力要領を確認してください(詳細は14ページ「入力項目の意味や項目別の入力方法を確認する(入力要領)」をご参照ください)。

3.2.4 「構成材料・化学物質情報」表を入力する

ここでは調査対象である「構成材料・化学物質情報」表を入力する方法を解説します。

3.2.4.1 データ階層構造と行

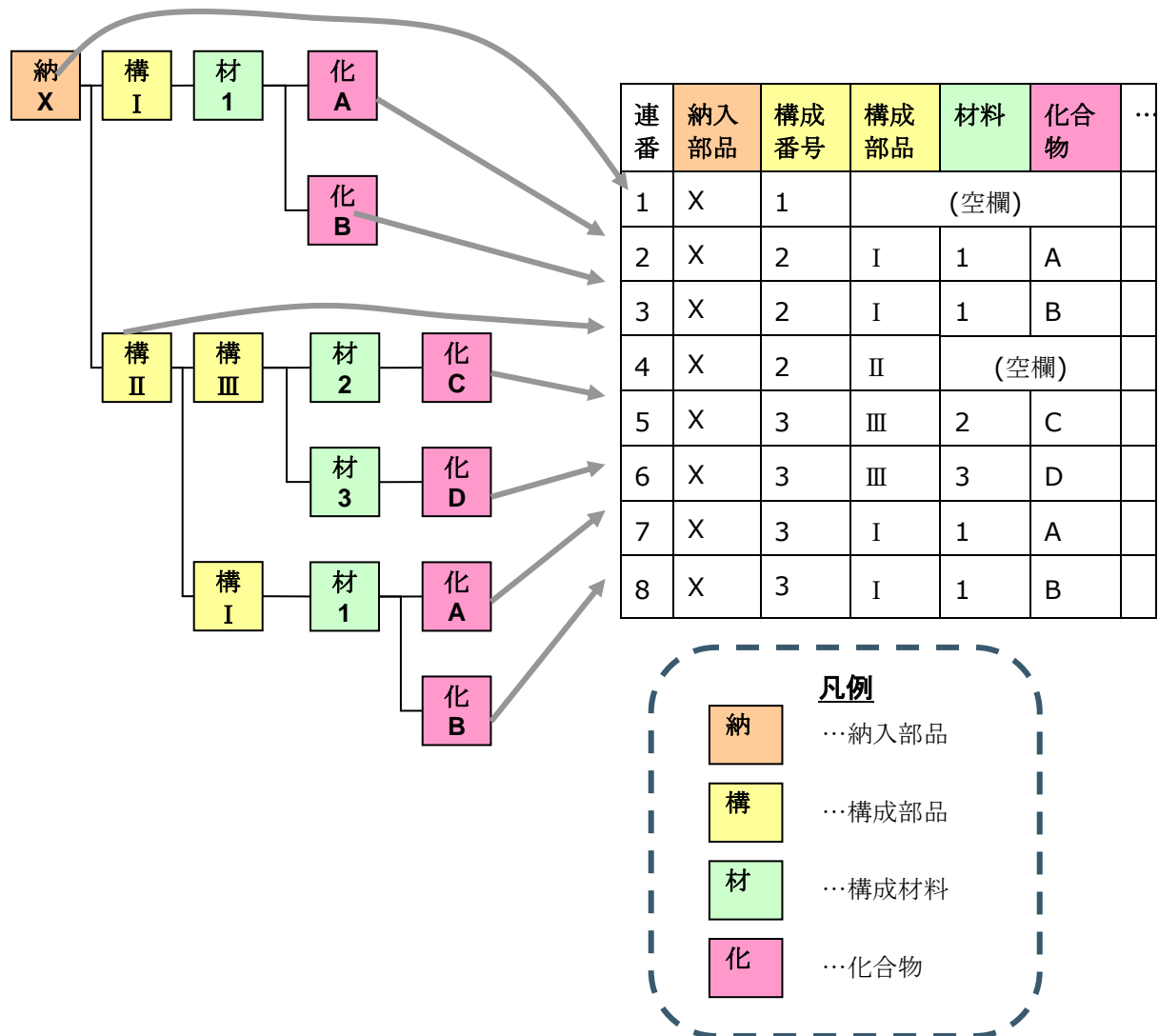
構成材料・化学物質情報は構成材料・化学物質調査表の下の方に記述していきます。

その際、納入部品をツリー構造(納入部品、構成部品、材料、化合物の階層構造)としてとらえ、階層の先頭から末端の順に入力していきます。なお、納入部品の単位での先頭行には構成部品は記入せず、空欄とします。

基本的に1行に入力する情報は1構成部品に該当し、部品に含まれる構成材料、化合物の情報を同じ行に記述します。ただし、1構成部品に対して複数の材料または化合物が使用されていた場合は、複数行を使用します。

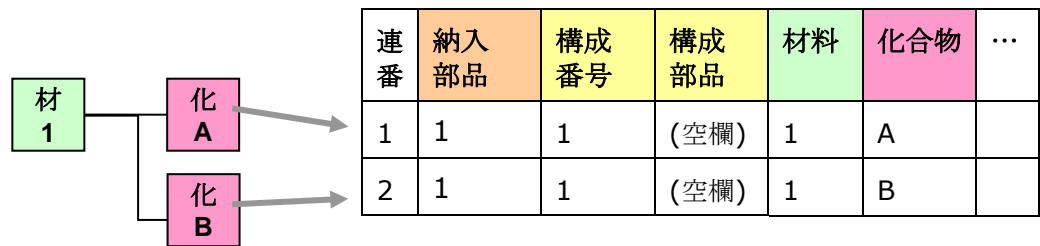
また、1件の納入部品内の別の階層に同じ構成部品や構成材料が複数回使われていた場合、(例の構成部品Ⅰ)それぞれ別の情報として別の行に記述します(詳細は25ページ「登録済区分」をご参照ください)。一方、同じ階層内に複数の構成部品が含まれていた場合(例の構成部品Ⅲが構成部品Ⅱに5個含まれている場合など)、構成部品数量を指定し、1行に記述します。

一般的な例 納入部品 X

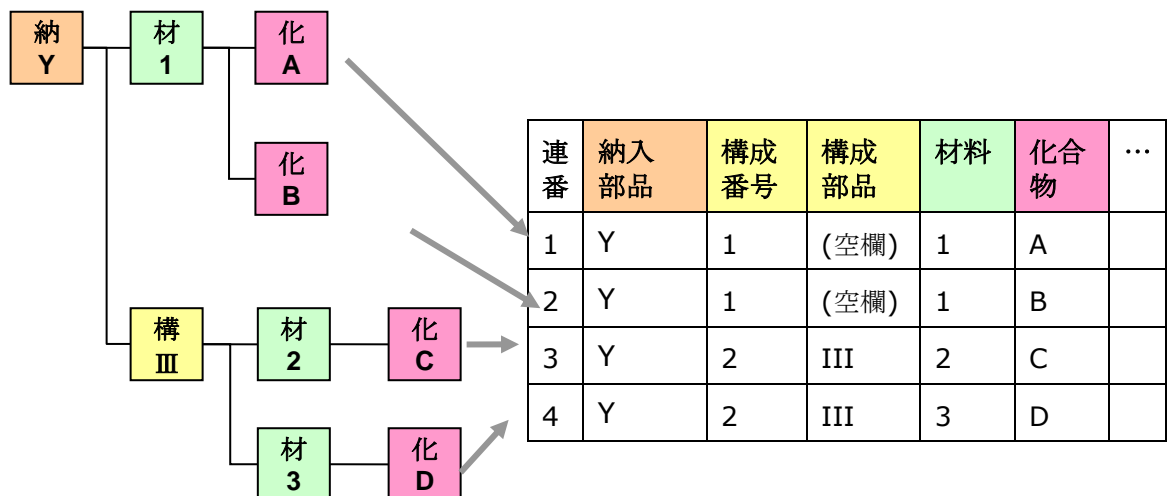


特殊な例 材料 1

材料そのものを送る場合、構成部品は空欄とします。納入部品欄には必ず値を入力する必要があります。

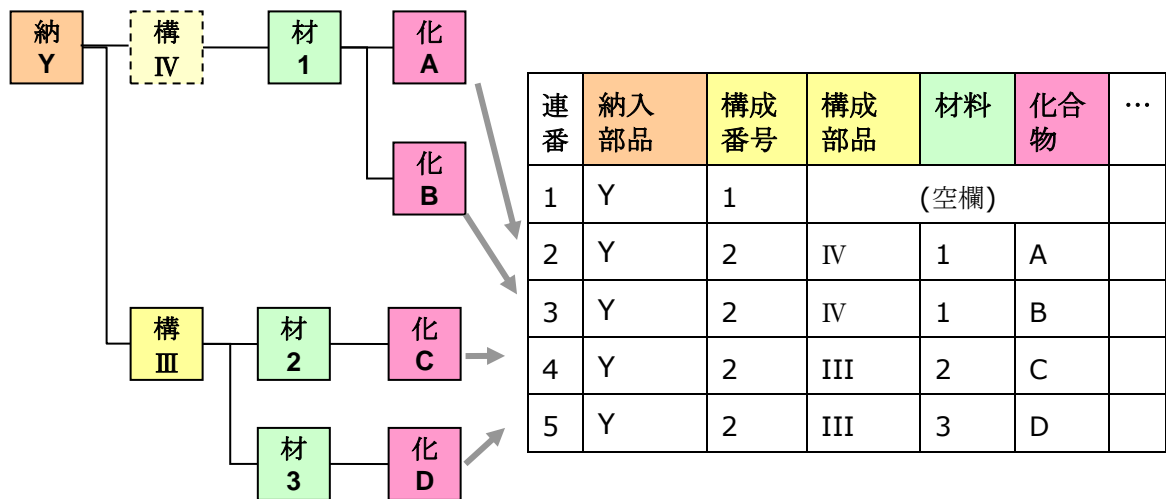
**特殊な例**

納入部品の下に直接材料を記述します。この場合構成部品欄は空欄です。

**!! 重要 !!**

この構成では、納入部品の直下に材料と構成部品が混在しているため、エラーチェックによって「警告」が発生します。(詳細は30ページ「構成材料」をご参照ください)。

例えば部品全体を材料が覆う場合(例 ハンダ、表面処理、接着剤など)でこのような構成を作成する際は、以下のようにダミーの構成部品を配置することを推奨します。



構成部品Ⅲと同じレベルにダミーの構成部品Ⅳを配置することで、同一レベルに部品と材料が混在することを防ぐことができます。

3.2.4.2 入力が必要な列を明示する(不要項目フラグ)

【調査元】

調査元が調査先に入力依頼を行う際、調査元において入力不要であると判断した項目があれば、JAMA/JAPIA 統一データシート上でその旨を調査先に示すことができます。

入力不要な列の全てのデータ行(末尾の空白行以降は除く)に「/」または「*」を入力すると、その列はエラーチェックの対象となりません。

ただし、この機能が使用できるのは以下の項目のみです。それ以外の列には使用できません。

- 納入部品名称
- 納入部品質量
- 設計変更番号
- 登録済区分
- 構成部品質量 A
- 構成部品数
- 材料商品名
- 再生材使用率 (工程内リサイクル材)最小値
- 再生材使用率 (工程内リサイクル材)最大値
- 再生材使用率 (市場内リサイクル材)最小値
- 再生材使用率 (市場内リサイクル材)最大値
- 材質表示
- アプリケーション
- 構成部品数量単位
- 調査元材料記号
- 化合物含有率(最小値)
- 化合物含有率(最大値)
- 化合物含有率(残部)
- Node ID[部品] (IMDS 管理)
- Node ID[材料] (IMDS 管理)
- 社内材料コード

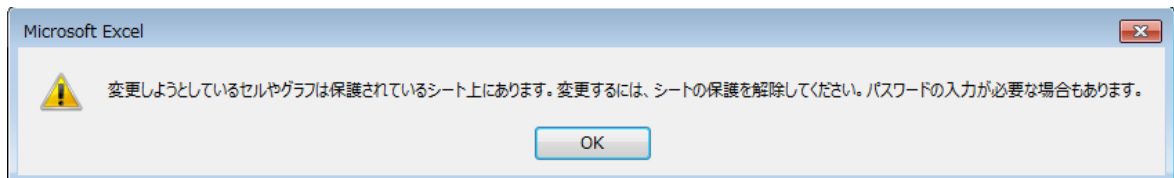
3.2.4.3 項目別解説

データを入力時の注意事項を項目別に解説します。

情報の入力には定められたセルのみ可能です。入力不可の行は保護されているため、編集しようとすると Excel のエラーメッセージが表示されます。

◎ 入力不可の行をダブルクリック

エラーメッセージ



なお、空白行はデータの最終行とみなされます。データの途中に空白行があるとそこで最終行とみなされます。ご注意ください。

英語以外の入力はできません。半角文字以外の文字を記入しないでください。

Alt+Enter によるセル内の改行は不具合の元となるため、入力しないでください。

3.2.4.3.1 連番

{調査先}

連番には 1 行目から順に番号を付与します。複数の納入部品であっても連番は重複せず、1 ずつ増加します。

詳細は14ページ「入力項目の意味や項目別の入力方法を確認する(入力要領)」をご覧ください。

3.2.4.3.2 納入部品

{調査先} または **【調査元】**

ここには納入部品の情報を入力します。1 件の納入部品に対して複数の行がある場合、全行の同じ列に同じ値を入力します(ただし、納入部品質量は同一部品につき最初の行のみに入力します。最初の行以外は空欄にしておきます)。行のコピーはボタンから行うこともできます。詳細は66ページ「行をコピー・挿入する(「行複写」ボタン)」をご参照ください。

17ページの納入部品 X の場合、1 行目に納入部品 X の納入部品情報(納入部品番号、納入部品名称、納入部品質量、設計変更番号)を入力し、2 行目以降は同じ情報を記入します。ただし、納入部品質量はコピーせず空欄にしておきます。

各項目に関して不明な点があれば、項目名をクリックして入力要領を確認してください(詳細は14ページ「入力項目の意味や項目別の入力方法を確認する(入力要領)」をご参照ください)。

納入部品

項目番号		1	2	3	4	5
項目名称		連番	納入部品番号	納入部品名称	納入部品質量 [g/部品]	設計変更番号
11	(2) 構成材料・化学物質調査					
12						
13						
14						
15						
16						
23		1	tl	test1	124.708	spec1
24		2	tl	test1		spec1
25		3	tl	test1		spec1
26		4	tl	test1		spec1
27			tl	test1		spec1

コマンド

「自動調整」(納入部品質量)ボタン

納入部品質量を手入力することも可能ですが、その場合は下位部品、材料質量から算出された値との差が最大偏差以内になるよう入力する必要があります。IMDS と同じ条件でエラーチェックを実施、上限を超えた場合、警告が発生します。

このボタンを押すと、納入部品の質量が自動設定されます。材料を元に、材料が属する構成部品の質量を全て再計算し、これらの構成部品質量を積み上げて納入部品質量を算出します。なお、材料質量と構成部品質量では材料質量が優先されて計算されます。両者が共に入力済みの状態で「自動調整」(納入部品質量)ボタンを押した場合、構成部品質量は上書きされます。従って材料質量が未入力、材料が属する構成部品質量が入力済みの場合、構成部品質量が 0g として計算され、元に戻せなくなりますのでご注意ください。逆に材料質量を入力して「自動調整」(納入部品質量)ボタンを押せば、構成部品質量を手入力する必要はありません。

17ページの納入部品 X において「自動調整」(納入部品質量)ボタンを、X 自身および X に含まれる全ての構成部品(構成部品 I ～III)の部品質量が材料 1～3 の質量を基準として書き換えられます。材料 1～3 の質量を入力しておけば構成部品および納入部品 X の質量を手入力する必要はありません。入力してあっても上書きされます。

操作

◎ 納入部品質量を自動調整する

ボタンを押した場合、末端の材料質量を基準として、配下の構成部品質量を全て書き換えます。

このボタンを使用する際は、納入部品質量のセルを選択しておく必要があります。

「自動調整」(納入部品質量)ボタン

(1) 基本情報調査

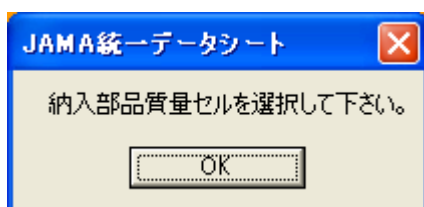
項目名	カーメーカーコード	仕入先名	回答期限	回答日
データ型	半角英数字	半角英数字	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD
記入者	調査元	調査元	調査元	調査先

(2) 構成材料・化学物質調査

項目番号	1	3	4	5	6	7
項目名	連番	納入部品名	納入部品質量 [g/部品] 自動調整	登録済 区分 選択	構成番号	
データ型	半角数字	半角英数字	半角数字	半角英数字	半角数字	半角数字
桁数(整数)	5	60	5	10	2	2
桁数(小数)	0	0	5	0	0	0
1	A		40.3			
2	A					
3	A					

◎ エラーメッセージ

別のセルを選択している場合



別のセルを選択している場合はエラーメッセージが表示されます。

◎ 主なエラーチェック項目

- 下位部品、材料質量から算出された値との差が最大偏差を超えた場合はエラーチェックにて警告が発生します。

最大偏差一覧

0g	≦	X	<	1g	⇒	±100%
1g	≦	X	<	100g	⇒	±10%
100g	≦	X	<	1kg	⇒	±5%
1kg	≦	X	<	10kg	⇒	±2%
10kg	≦	X	<	100kg	⇒	±1%
100kg	≦	X			⇒	±0.5%

3.2.4.3.3 部品構成

【調査元】または {調査先}

{調査先}

ここでは、納入部品に含まれる各構成部品の情報を入力します。

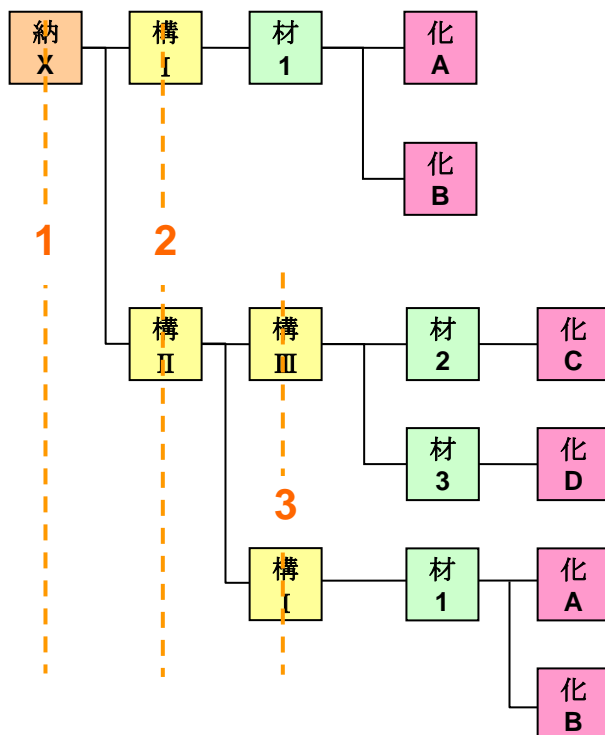
各項目に関して不明な点があれば、項目名をクリックして入力要領を確認してください(詳細は14ページ「入力項目の意味や項目別の入力方法を確認する(入力要領)」をご参照ください)。

!! 重要 !!

■ 構成番号

納入部品の階層構造の先頭から順に、部品の階層に対して番号を振ります。この番号を構成番号として入力します。

例 納入部品 X の場合



納入部品に構成材料を直接入力する場合、構成番号は「1」とし、構成部品番号・構成部品名称・構成部品質量・構成部品数量を空欄とします。

■ 部品に複数の材料、化合物が含まれる場合

1つの構成部品に対して複数行を入力します。このとき、全ての行に構成番号・構成部品番号・構成部品名称・構成部品数量の情報を入力する必要があります。同一部品内で同一項目の整合性が取れていなければ(同じ項目に同じ値が入っていないければ)エラーとなります。

■ 同一構成部品の識別

「構成部品番号」および「構成部品名称」の少なくとも一方を入力する必要があります。また、両者の組み合わせが、同一構成部品を示すキーとなります。なお、IMDS へアップロードする際は「構成部品名称」が必須となります。

例

以下の例はそれぞれ登録可能ですが、構成部品番号が不一致のため別のデータとして認識されます。

構成部品番号： 123 構成部品名称： ABC

構成部品番号： (空欄) 構成部品名称： ABC

構成部品番号： 123 構成部品名称： (空欄)

■ 登録済区分

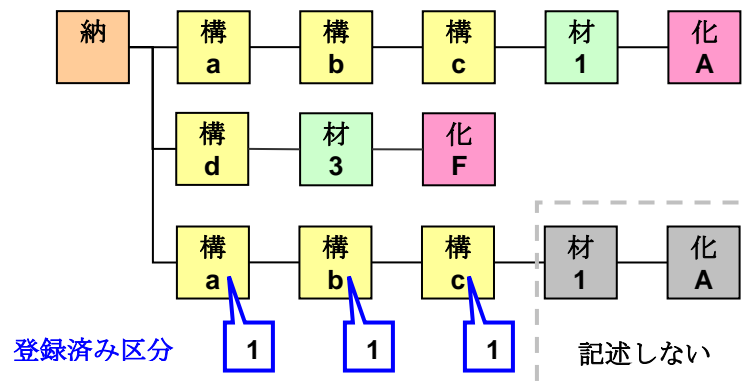
以下の条件に該当するデータを入力する場合、登録済区分を指定することによって入力を簡略化し、作業時間を短縮することができます。

- 登録済区分 = 1: 登録済(本帳票に同一品番あり)
- 登録済区分 = 2: 登録済(過去の調査にて回答済)の場合
- 登録済区分 = 3: 支給部品の場合
- 登録済区分 = 4: 支給材料の場合

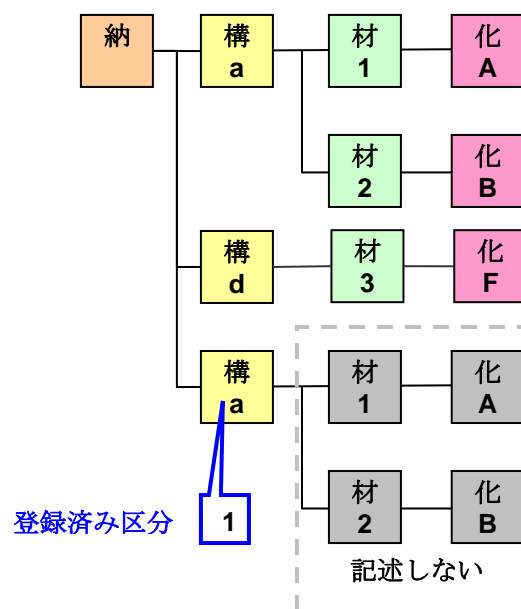
- 登録済区分 = 1: 登録済(本帳票に同一品番あり)
 - ✧ 同一の部品が同じ納入部品内の異なる階層に存在する場合、または同じ帳票内の別の納入部品に記述済みの場合(つまり、同じ帳票のどこかに記入済みの場合)に使用します。
 - ✧ この区分が指定された行は、以下の項目以外は入力が必要となります。逆に、以下の項目は必ず入力する必要があります。
 - 構成部品番号+構成部品名称(参照先と同じものが入力されている必要あり)
 - 部品質量 A
 - 構成部品数量
 - ✧ エラーチェック時には同一帳票内に参照先が存在するかどうかのチェックのみ行います。ただし、部品質量 A の整合性チェック(同一部品に対し同じ質量が入力されているかどうか)は通常のデータと同様に行われます。
 - ✧ 上述の項目以外が入力されていた場合は無視されます。異なる値が入力されていてもエラーにはなりません。

- ◇ 参照先(実際のデータが入っている行)が複数の構成部品を表す場合、参照元(登録済区分行)にはツリー構造を全て記述し矛盾のないような構成にする必要があります。つまり、行そのものを省略することはできません。

例えば以下のように 3 階層で構成される部品の最上位部品(構成部品 a)を登録済区分で参照する場合、構成部品 a の参照だけでデータを完成させるわけではありません。3 階層の部品の中身が全て参照先と同じであろうとも、3 つの部品(構成部品 a、b、c)の分だけ 3 行データを作成し、それぞれ登録済区分を指定する必要があります。



- ◇ 一方、参照先が複数の材料を含む構成部品の場合、参照元は 1 行となります。

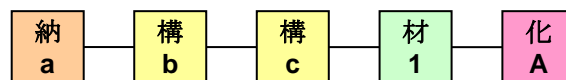


➤ 登録済区分 = 2: 登録済(過去の調査にて回答済)の場合

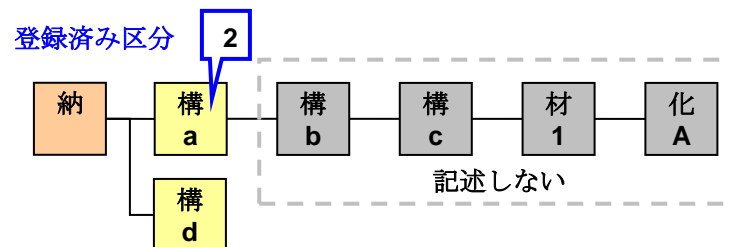
- ◇ 過去の調査にて同一部品の情報を回答済みで、調査元がその情報を保持している場合に使用します。
- ◇ この区分が指定された行は、以下の項目以外は入力が必要となります。逆に、以下の項目は必ず入力する必要があります。
- 構成部品番号
 - 部品質量 A
 - 構成部品数量

- ◇ 登録済区分 = 1 と異なり、構成部品番号が必ず入力されている必要があります。
 - ◇ エラーチェック時、部品質量 **A** の整合性チェック(同一部品に対し同じ質量が入力されているかどうか)は通常のデータと同様に行われます。
 - ◇ 上述の項目以外が入力されていた場合は無視されます。異なる値が入力されていてもエラーにはなりません。
 - ◇ この区分を指定する部品が配下に子部品を含む場合、子部品の行は作成する必要がありません。
 - ◇ 登録済区分=2 の部品に対して子部品を指定することはできません。指定した場合はエラーが発生します。
- 以下のような構成部品 **a** が過去の調査にて回答済みの場合、構成部品 **a** の行のみを作成します。構成部品 **b** 以下について個別に行を作成したり、別の構成部品を子部品として指定した場合はエラーとなります。

過去の調査



今回の調査



- 登録済区分 = 3: 支給部品の場合
 - ◇ 支給部品を使用する際、この区分を使用します。
 - ◇ この区分が指定された行は、以下の項目以外は入力が必要となります。ただし、以下の項目は必ず入力する必要があります。
 - 構成部品番号
 - 部品質量 **A**
 - 構成部品数量
 - ◇ 登録済区分 = 1 と異なり、構成部品番号が必ず入力されている必要があります。
 - ◇ エラーチェック時、部品質量 **A** の整合性チェック(同一部品に対し同じ質量が入力されているかどうか)は通常のデータと同様に行われます。
 - ◇ 上述の項目以外が入力されていた場合は無視されます。異なる値が入力されていてもエラーにはなりません。
 - ◇ この区分を指定する部品が配下に子部品を含む場合、子部品の行は作成する必要がありません。
 - ◇ 登録済区分=3 の部品に対して配下に子部品を指定することはできません。指定した場合はエラーが発生します。
 - ◇ JAMA/JAPIA 統一データシート上での記述方法は登録済区分=2 と同様です。
- 登録済区分 = 4: 支給材料の場合
 - ◇ 支給材料を使用する際、この区分を使用します。
 - ◇ この区分が指定された材料情報は、以下の項目以外は入力が必要となります。ただし、以下の項目は必ず入力する必要があります。
 - 材料質量

- ☆ 上述の項目以外が入力されていた場合は無視されます。異なる値が入力されていてもエラーにはなりません。

「登録済区分」ボタン

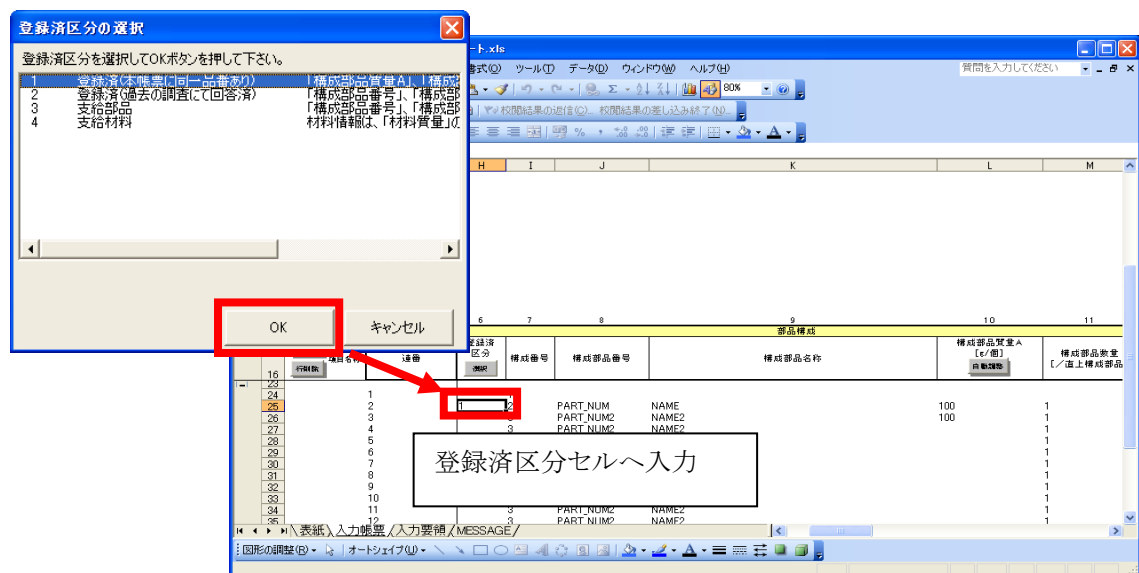
登録済区分はシート上に直接入力することも可能ですが、このボタンを使用すると、一覧の中から該当する区分を指定することができます。

操作

◎ 登録済区分の指定

登録済区分の指定

登録済区分セルを選択してから「登録済区分」ボタンを押すと、「登録済区分の選択」画面が表示されます。表示された登録済区分の中から 1 件を選択し、「OK」ボタンを押すと、選択した区分がセルに入力されます。



■ 「自動調整」(構成部品質量 A)ボタン

構成部品質量を手入力することも可能ですが、下位部品、材料質量から算出された値との差が最大偏差以内になるよう入力する必要があります。差が最大偏差を超えるとエラーが発生します。詳細は 23 ページをご覧ください。

「自動調整」(構成部品質量 A)ボタンを押すと、構成部品の質量が自動設定されます。

17ページの構成部品Ⅲの例では、Ⅲ自身の部品質量が材料 2、3 の質量を基準として書き換えられます。

🔗 操作

◎ 構成部品質量 A を自動調整する

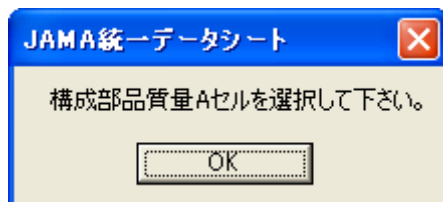
ボタンを押した場合、末端の材料質量を基準として、配下の構成部品質量を全て書き換えます。

「自動調整」(構成部品質量)ボタン

(2) 構成材料・化学物質調査			
項目番号	1	9	10
		部品構成	
行複写			構成部品質量 A [g/個]
行削除	項目名称	連番	構成部品名称
			自動調整
	1		
	2		
	3	(wire)CAVS-0.5 B	110.35
	4	(wire)CAVS-0.5 B	
	5	(wire)CAVS-0.5 B	
	6	(wire)CAVS-0.5 B	
	7	(wire)CAVS-0.5 B	
	8	(wire)CAVS-0.5 B	
	9	(wire)CAVS-0.5 B	
	10	(wire)CAVS-0.5 B	
	11	(wire)ASEEX-0.5f B/W	17.53

◎ エラー

エラーメッセージ



このボタンを使用する際は、構成部品質量のセルを選択しておく必要があります。

別のセルを選択している場合はエラーメッセージが表示されます。

3.2.4.3.4 構成材料

{調査先}

ここでは構成部品に含まれる材料の情報を入力します。

構成材料の各項目は JAMA/JAPIA 統一データシート用材料リストに掲載されている材料の中から該当するものを選択します。シート上に直接入力することも可能ですが、その材料はリストの内容と一致する必要があります。検索対象の材料は外部リストファイルに記載されています。

各項目に関して不明な点があれば、項目名をクリックして入力要領を確認してください(詳細は14ページ「入力項目の意味や項目別の入力方法を確認する(入力要領)」をご参照ください)。

!! 重要 !!

- 同一材料の識別
材料の識別は**材料質量**で行います。材料質量が入力されている行は全て別の材料としてみなされます。項目が全て一致する行であっても同様です。
- 材料に複数の化合物が含まれる場合
化合物を複数含む材料の場合は同一材料を複数行で表します。詳細は43ページ「化合物」をご参照ください。
構成部品 I に含まれる構成材料 1 の場合、化合物を 2 種類含むため同じ情報を 2 行入力します。
- 材料記号、材料コード、材料規格のワイルドカードについて
「選択」(構成材料名称)ボタンから材料を選択した場合、材料記号、材料コード、材料規格に「\$」または「@」記号が入力されていることがあります。これはワイルドカードと呼ばれ、**必ずユーザー自身で別の文字列に置き換えるか、削除する**必要があります。ワイルドカードを残したままエラーチェックを行うとエラーが発生します。
二つの記号の違いは以下の通りです。
 - タイプ 1:\$ ワイルドカード部分に**何らかの文字列を入力しなければならない(文字列として\$と@の入力は不可)**材料
 - タイプ 2:@ ワイルドカード部分を**削除するか、あるいはワイルドカード部分に何らかの文字列を入力しなければならない(文字列として\$と@の入力は不可)**材料
- Node ID[材料]が記述されている材料で、IMDS に既に登録されているものについては、ワイルドカードを置き換えても XML ファイル出力時に無視され、IMDS に登録されているデータは変更されません。詳細は93ページ「XML ファイルの出力」をご参照ください。
- 材料のワイルドカードは化合物のワイルドカード化合物とは異なります。詳細は43ページ「ワイルドカード化合物について」をご参照ください。

■ 「選択」(構成材料名称)ボタン

このボタンを使用すると、JAMA/JAPIA 統一データシート用材料リストに掲載されている材料の中から該当するものを選択することができます。この操作を行うと以下の項目が自動的に各セルに入力されるため、入力作業の負荷が軽減されます。

- 構成材料名称
- 材料規格
- 材料コード
- 材料記号
- VDA 材料分類コード

以下のフィールドは、化合物情報を含む材料を選択した場合のみ入力されます。化合物情報を含む材料と含まない材料は、Node ID[材料]の有無で区別します。

- 含有数整理番号
- プロセスケミカルが存在形態
- 化合物コード
- 化合物名称(英語)
- 化合物含有率(固)
- 化合物含有率(小)
- 化合物含有率(大)
- 化合物含有率(残)
- Node ID[材料]
- Node ID[化合物]

操作

◎ 構成材料名称の選択

材料名称セルを選択してから「選択」(構成材料名称)ボタンを押すと、「材料の選択」画面が表示されます。この画面から材料を検索し、「OK」を押すと、選択した材料がセルに入力されます。

「選択」(構成材料名称)ボタン

(2) 構成材料・化学物質調査

項目番号	1	13
行複写		
行削除		
項目名称	連番	構成材料名称 選択
1		
2		Plastics PVC

「選択」(構成材料名称)ボタンを押します。

◎ 検索条件の指定、検索

「材料の選択」画面

材料の選択

検索条件を入力して検索ボタンを押して下さい。

材料名称(英語)	<input type="text"/>	材料コード(金属・その他)	<input type="text"/>
材料名称(日本語)	<input type="text"/>	材料記号(樹脂・ゴム)	<input type="text"/>
材料規格	<input type="text"/>	VDA材料分類コード	<input type="text"/>

検索 キャンセル

ボタンを押すと「材料の選択」画面が表示されます。

この画面で以下の検索条件を指定し、「検索」ボタンを押します。

- ✧ 材料名称(英語)
 - ✧ 材料名称(日本語)
 - ✧ 材料規格
 - ✧ 材料コード(金属・その他)
 - ✧ 材料記号(樹脂・ゴム)
 - ✧ VDA 材料分類コード
- 入力された文字列の扱い(通常)
- 検索は基本的に部分一致で行われます。入力した文字列 を含む 検索結果が表示されます。
- 例
- | | | |
|-----------|---------------------------|--------|
| 検索条件 | steel | |
| 表示される検索結果 | steel | (一致) |
| | Steel 123 | (で始まる) |
| | magnetic Steel 123 | (中間) |
| | magnetic steel | (で終わる) |
- 入力された文字列の扱い(VDA 材料分類コード)

VDA 材料分類コードのみ先頭一致です。入力した文字列で始まる検索結果が表示されます。

例

検索条件	1.1	
表示される検索結果	<u>1.1</u>	(一致)
	<u>1.1</u> .1	(で始まる)

※この場合、入力された値で始まらないもの(例 2.1.1)は表示されません。

➤ 文字の区別

◇ 半角アルファベットの大文字・小文字は区別されません。

例

検索条件	Ab
表示される検索結果	AB
	Ab
	aB
	ab

◇ 全角・半角文字は別の文字として区別されています。ご注意ください。

➤ 検索条件の項目について

◇ 全ての検索条件を入力する必要はありません。

◇ 複数の検索条件項目を入力した場合、**AND** 検索を行います。入力された検索条件の項目が全て該当する結果が表示されます。

➤ 検索条件を全く指定せず、全ての材料を検索することも可能です。ただし、画面に表示される検索結果は 500 件までです。

◎ 検索結果の選択

「材料の選択」画面

最大 500 件の検索結果が表示されます。
該当する結果を選択し、「OK」ボタンを押します。

◎ NodeID[材料]が無い材料を選択する場合

材料の選択

検索条件を入力して検索ボタンを押して下さい。

材料名称(英語) 材料コード(金属・その他)

材料名称(日本語) 材料記号(樹脂・ゴム)

材料規格 VDA材料分類コード

OKボタンを押すと材料情報が入力されます。
すでに材料情報が入力されている場合にはデータが上書きされますのでご注意ください。

24件の材料が見つかりました。

材料名称(英語)	材料名称(日本語)	材料規格	材料コード(金属・樹脂・ゴム)	材料記号(樹脂・ゴム)	VDA材料分類コード	NodeID[材料]
Steel 35A210	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A210		1.1.1	
Steel 35A230	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A230		1.1.1	
Steel 35A250	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A250		1.1.1	
Steel 35A270	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A270		1.1.1	
Steel 35A300	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A300		1.1.1	
Steel 35A360	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A360		1.1.1	
Steel 35A440	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A440		1.1.1	
Steel 50A1300	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A1300		1.1.1	
Steel 50A230	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A230		1.1.1	
Steel 50A250	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A250		1.1.1	
Steel 50A270	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A270		1.1.1	
Steel 50A290	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A290		1.1.1	
Steel 50A310	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A310		1.1.1	
Steel 50A350	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A350		1.1.1	

◎ 自動的に入力された材料(化合物なし)

入力帳票シート

入力帳票シート

項目番号 1 13 14 15 16 17 18 19

項目番号	項目名	連番	構成材料名称	材料商品名	材料規格	材料コード(金属・その他)	材料記号(樹脂・ゴム)	VDA材料分類コード
23	1							
24	2							
25	3							
26	4							
27	5		Steel SPHC	A	99.1	JISG3131	SPHC	1.1.1
28	6		Steel SPHC	A		JISG3131	SPHC	1.1.1
29	7		Steel SPHC	A		JISG3131	SPHC	1.1.1
30	8		Steel SPHC	A		JISG3131	SPHC	1.1.1
31	9		Zinc Plating Ep-Fe/Zn		0.8	JISH8610	Ep-Fe/Zn	3.3
32	10		Zinc Plating Ep-Fe/Zn				Zn	3.3
33	11		Zinc Plating Ep-Fe/Zn				Zn	3.3
34	12		Plastics AB				AB-*	5.1.a
35	13		Plastics AB				AB-*	5.1.a
36	14		Plastics AB				AB-*	5.1.a
37	15		Plastics AB				AB-*	5.1.a
38	16		Steel 35A210			JISC2552	35A210	1.1.1

材料セルへ入力

選択した材料の情報が自動的に入力されています。

◎ **NodeID[材料]**が有る材料を選択する場合

化合物を含む材料の場合は、材料および化合物が自動的に入力されます。

「材料の選択」画面

材料の選択

検索条件を入力して検索ボタンを押して下さい。

材料名称(英語) 材料コード(金属・その他)

材料名称(日本語) 材料記号(樹脂・ゴム)

材料規格 VDA材料分類コード

検索 キャンセル

OKボタンを押すと材料情報が入力されます。
すでに材料情報が入力されている場合にはデータが上書きされますのでご注意ください。

500件の材料が見つかりました。

材料名称(英語)	材料名称(日本語)	材料規格	材料コード(金属・その他)	材料記号(樹脂・ゴム)	VDA材料分類コード	NodeID[材料]
Stainless Steel Forging SUSF304	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF304		1.2.3	73322597
Stainless Steel Forging SUSF304H	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF304H		1.2.3	74518875
Stainless Steel Forging SUSF304L	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF304L		1.2.3	74518810
Stainless Steel Forging SUSF304N	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF304N		1.2.3	74518887
Stainless Steel Forging SUSF304LN	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF304LN		1.2.3	74518879
Stainless Steel Forging SUSF310	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF310		1.2.3	74518903
Stainless Steel Forging SUSF316	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF316		1.2.3	74518911
Stainless Steel Forging SUSF316H	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF316H		1.2.3	74518918
Stainless Steel Forging SUSF316L	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF316L		1.2.3	74518926
Stainless Steel Forging SUSF316LN	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF316LN		1.2.3	74518939
Stainless Steel Forging SUSF317	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF317		1.2.3	74518935
Stainless Steel Forging SUSF317L	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF317L		1.2.3	74518935
Stainless Steel Forging SUSF321	ステンレス鋼鍛造品	JISG3214	SUSF321		1.2.3	74518935

材料セル、化合物セルへ入力

プレビュー OK キャンセル

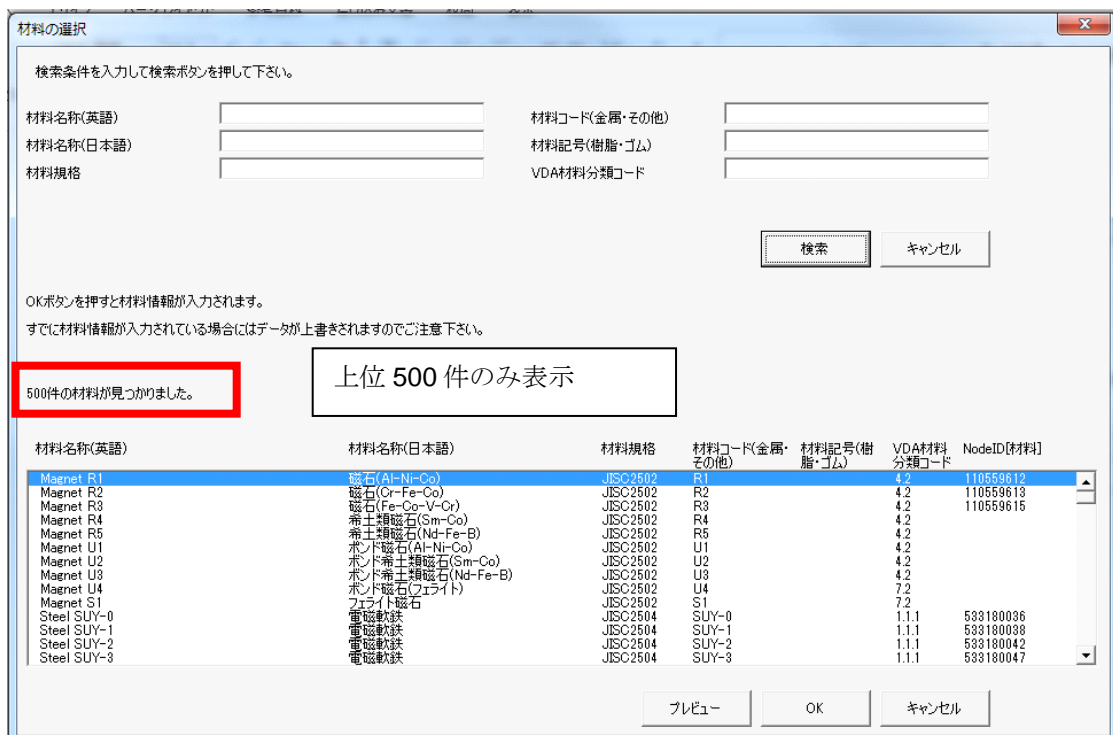
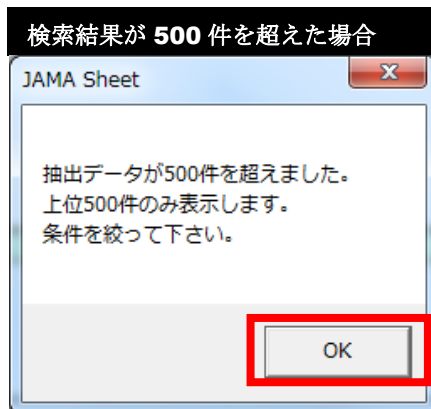
入力帳票シート

(2) 構成材料・化学物質調査

項目番号	1	13	14	15	16
行書き		構成材料			
行削除		材料質量 [g/構成部品]			
項目名称	連番	構成材料名称	材料商品名	材料質量	材料規格
		選択		四捨五入	
データ型	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
桁数(警報)	5	100	40	9	40
桁数(小誤)	0	0	0	5	0
1		Stainless Steel Forging SUSF304			JISG3214
2		Stainless Steel Forging SUSF304			JISG3214
3		Stainless Steel Forging SUSF304			JISG3214
4		Stainless Steel Forging SUSF304			JISG3214
5		Stainless Steel Forging SUSF304			JISG3214
6		Stainless Steel Forging SUSF304			JISG3214
7		Stainless Steel Forging SUSF304			JISG3214
8		Stainless Steel Forging SUSF304			JISG3214

◎ 検索結果が 500 件を超える場合

検索結果が 500 件を超える場合は検索条件を絞るよう指示するメッセージが表示されます。「OK」を押すと材料リストを上から照合し、最初の 500 件のみが表示されます。



◎ 検索結果の並べ替え

表示された検索結果は並べ替えることができます。並べ替えるには項目名をクリックします。
検索結果が 500 件を超える場合、最初に表示された 500 件の中で並べ替えが行われます。

検索結果の並べ替え

材料の選択

検索条件を入力して検索ボタンを押して下さい。

材料名称(英語)	steel	材料コード(金属・その他)	
材料名称(日本語)		材料記号(樹脂・ゴム)	
材料規格	JISC2552	VDA材料分類コード	

検索 キャンセル

OKボタンを押すと材料情報が入力されます。
すでに材料情報が入力されている場合にはデータが上書きされますのでご注意ください。

24件の材料が見つかりました。

材料名称(英語)	材料名称(日本語)	材料規格	材料コード(金属・その他)	材料記号(樹脂・ゴム)	VDA材料分類コード	NodeID[材料]
Steel 35A210	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A210		1.1.1	
Steel 35A230	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A230		1.1.1	
Steel 35A250	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A250		1.1.1	
Steel 35A270	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A270		1.1.1	
Steel 35A300	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A300		1.1.1	
Steel 35A360	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A360		1.1.1	
Steel 35A440	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	35A440		1.1.1	
Steel 50A1300	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A1300		1.1.1	
Steel 50A230	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A230		1.1.1	
Steel 50A250	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A250		1.1.1	
Steel 50A270	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A270		1.1.1	
Steel 50A290	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A290		1.1.1	
Steel 50A310	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A310		1.1.1	
Steel 50A350	無方向性電磁鋼帯	JISC2552	50A350		1.1.1	

材料名称をクリックすると
材料名称で並べ替えが行われる

プレビュー OK キャンセル

■ 既に値が入力されている場合

検索後、「OK」ボタンを押した時点で既に入力済みの情報がある場合は上書きされます。

ただし、化合物情報を含む材料を選択した場合は化合物の数に応じて行が挿入され、その行に対して化合物情報が自動的に入力されます(結果的に”化合物の数-1”行が挿入されます)。この際、部品・材料情報は適切に補完され、行複写が行われたのと同じ状態となります。具体的には、納入部品・部品構成については、「行複写」を実施した状態、構成材料については、材料が読み込まれた後、「行複写」を実施した状態となります。行複写に関する詳細は66ページ「行をコピー・挿入する(「行複写」ボタン)」をご参照ください。

■ 同一材料に材料規格が複数存在する場合

外部リスト内の同一材料に複数の材料規格が存在する(材料規格以外の項目が全て同一の材料が存在する)場合、検索結果は個別の材料規格毎に複数表示されます。

また、このような材料がIMDSに登録済で、そのNode ID[材料]が記述されている場合、XMLファイル出力時には全ての材料規格を含む材料として出力されます。IMDSに未登録の材料の場合は、シート上に記述された材料規格のみが出力されます。詳細は93ページ「XMLファイルの出力」をご参照ください。

同一部品直下に同一のNode ID[材料]を持つ材料が複数回含まれる場合はエラーとなりますが、Node ID[材料]が同一で材料規格が異なる材料が複数回存在する場合もエラーとなります。

■ 材料規格の追記

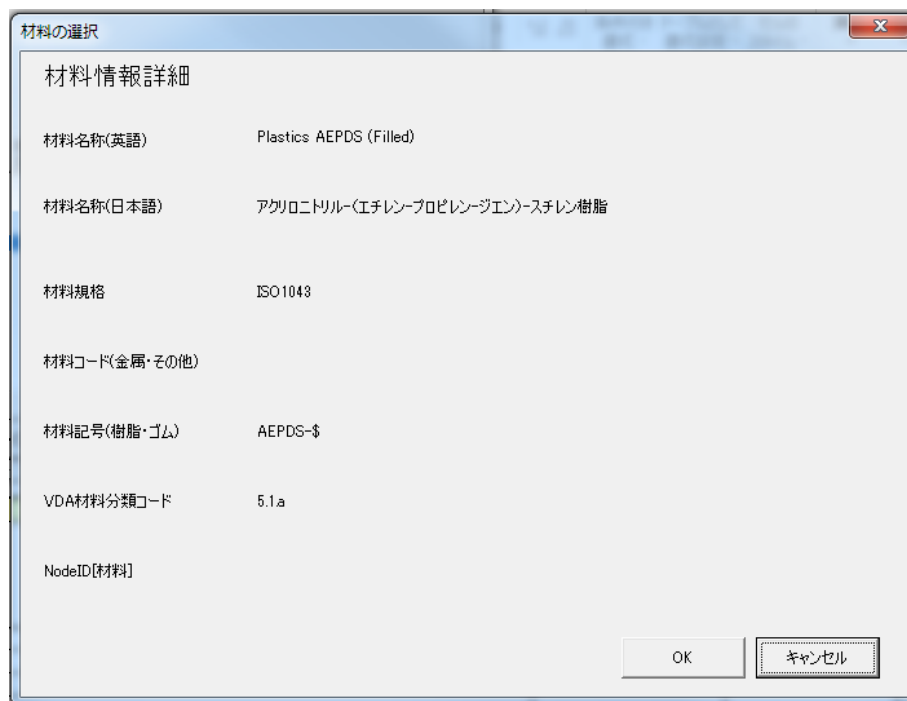
材料リストから材料データを選択した後に、材料規格を追記することができます(区切り文字はコンマ)。手入力にて追記する場合は必ず後ろに追記します。

XML ファイル出力時、材料規格が追記された材料は外部リストにある材料とは別の新しい材料とみなされます。詳細は94ページ「Node ID[部品]または Node ID[材料]が入力されていない場合」をご参照ください。

◎ プレビュー機能

「材料の選択」画面の下に表示される検索結果で確認できる文字数は限られています。材料を選択し、「プレビュー」ボタンをクリックすると、選択した材料の情報を別画面で確認することができます。この画面で「OK」ボタンをクリックすると、入力帳票へ材料が入力されます。一方、「キャンセル」ボタンをクリックすると、検索画面に戻ります。

プレビュー画面



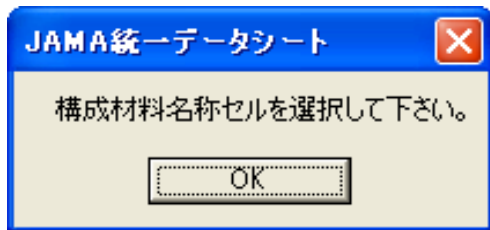
The image shows a software window titled "材料の選択" (Material Selection). Inside the window, there is a section titled "材料情報詳細" (Material Information Details). This section contains a list of material properties and their values:

材料情報詳細	
材料名称(英語)	Plastics AEPDS (Filled)
材料名称(日本語)	アクリロニトリル-エチレンプロピレン-ジエン-スチレン樹脂
材料規格	ISO1043
材料コード(金属・その他)	
材料記号(樹脂・ゴム)	AEPDS-\$
VDA材料分類コード	5.1a
NodeID[材料]	

At the bottom right of the window, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

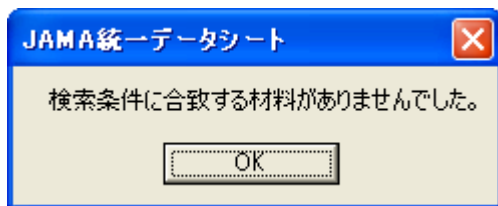
◎ エラーメッセージ

構成材料名称セルを選択していない場合



構成材料名称セルを選択していない場合、エラーメッセージが表示されます。

該当する材料が存在しない場合



該当する材料が存在しない場合、エラーメッセージが表示されます。

◎ 主なエラーチェック項目

- 材料については、材料名称、材料規格、材料コード、材料記号、VDA 材料分類コードの組み合わせが外部リストと一致しない場合、エラーチェック時にエラーが表示されます。
- 化合物情報を含む材料を選択した場合はさらに、化合物コード、化合物名称(英語)、化合物含有率(固)、化合物含有率(小)、化合物含有率(大)、化合物含有率(残)、Node ID[化合物]の組み合わせが外部リストと一致しない場合、エラーチェック時に警告が表示され、Node ID[材料]の値が削除されます。
- 複数の化合物を含む材料では、化合物の並び順が外部リストと異なる場合も警告が表示され、Node ID[材料]の値が削除されます。
- このように、外部リストとの不整合を持つ材料は Node ID[材料]が削除され、XML ファイル出力時には外部リストにある材料とは別の材料とみなされます。詳細は93ページ「XML ファイルの出力」をご参照ください。
- 化合物情報を含む材料を選択した場合で、外部リストで Node ID[材料]が指定されているものについては、化合物の最小値・最大値の差のチェックは行われません。このチェックについては65ページをご参照ください。
- 化合物情報を含む材料で Node ID[材料]が同じ材料が同一構成部品に 2 つ以上追加されている場合、これらは同一材料と見なされエラーが表示されます
- さらに以下 2 つの条件に当てはまる材料が同一構成部品に 2 つ以上追加されている場合も同一材料と見なされ警告が表示されます：
 - Node ID[材料]が空欄
 - 以下全ての項目が互いに完全一致
 - ・材料規格
 - ・材料コード
 - ・材料記号
 - ・再生材使用率（市場回収率）最小値および最大値
 - ・化合物(Node ID と含有率の組み合わせ) ※
 - ただし、「登録区分」に「4(支給材料)」が指定されている場合はどのような場合も同一材料とは見なされません。
- 納入部品または同一構成部品の直下に、部品と材料が混在していた場合、警告が表示されます。

※補足 化合物の比較について

- 含有率が固定値で指定されている場合
比較対象の化合物の含有率も固定値で指定されていて、値が一致する場合に同一材料と見なされます。
ただし比較対象が残部の場合は、この下の「含有率が残部で指定されている場合」をご参照ください。
- 含有率が範囲値で指定されている場合
比較対象の化合物も範囲値で指定されていて、最小値と最大値がそれぞれ一致する場合に同一材料と見なされます。中間値が同じでも最大値・最小値が異なる場合は同一材料とは見なされません。
- 含有率が残部で指定されている場合
比較対象の化合物が残部または固定値で、それ以外の全ての化合物の含有率が指定方法(固定値/範囲値)も含めて一致している場合に同一材料と見なされます。
- **Not found** 化合物が含まれている場合
材料に **Not found** 化合物が 1 つ以上含まれている場合は、他のいかなる条件が揃っていても同一材料とは見なされません。

■ 「四捨五入」(材料質量)ボタン

材料質量は手入力します。入力後にこのボタンを押すと、材料質量の小数点以下をユーザーの指定に従って四捨五入します。

■ 四捨五入処理の対象

- 複数のセルを選択すると、選択されたセル全てが四捨五入されます。
- 列全体を選択すると全ての材料質量が四捨五入されます。
- いずれの場合も、値が入力されていないセルでは何も起こりません。

■ 注意事項

- 四捨五入後は元のデータは失われ、復元できません。
- 四捨五入して「0」になる場合は、値が切り上げられます。

例: 0.0001->0.01[2桁設定]

🔗 操作

◎ 材料質量を四捨五入する

「四捨五入」(材料質量)ボタン

(2) 構成材料・化学物質調査							
項目番号	1	14	15	16	17	18	
項目名称	連番	材料商品名	材料質量 [g/構成部品] 四捨五入	材料規格	材料コード (金属・その他)	材料記 (樹脂・コ	
1							
2							
3	A		100.123456	JISG3131	SPHC		
4	A			JISG3131	SPHC		
5	A			JISG3131	SPHC		
6	A			JISG3131	SPHC		
7	A			JISG3131	SPHC		

材料質量が入力された状態で、四捨五入したいセルを選択し、ボタンを押します。

「材料質量の四捨五入」画面

材料質量の四捨五入

選択されている材料質量の値を四捨五入します。
 小数点以下の桁数を指定した後にOKボタンを押して下さい。
 有効な桁数は小数点0桁から小数点6桁です。

【注意事項】
 -四捨五入にて値が「0」になる場合は、値が切り上げられます。
 (例: 0.0001->0.01 [小数点以下2桁設定時])
 -四捨五入後は元のデータは失われ、復元することはできませんので
 注意下さい。

桁数(0-6): 小数点以下 3 桁に設定

OK キャンセル

ボタンを押すと「材料質量の四捨五入」画面が表示されます。

この画面「桁数(0-6):」に四捨五入の有効桁数を入力し、「OK」を押します。

四捨五入された材料質量

(2) 構成材料・化学物質調査				
項目番号	1	14	15	16
行複写 行削除	項目名称	連番	材料商品名	材料規格
			材料質量 [g/構成部品] 四捨五入	材料コード (金属・その他)
1				
2				
3	A		100.123	JISG3131 SPHC
4	A			JISG3131 SPHC
5	A			JISG3131 SPHC
6	A			JISG3131 SPHC
7	A			JISG3131 SPHC
8			100.1234	JISH8610 Ep-Fe/Zn
9				JISH8610 Ep-Fe/Zn
10				JISH8610 Ep-Fe/Zn
11				JISH8610 Ep-Fe/Zn
12			100.12	ISO1043

OK」ボタンを押すと JAMA/JAPIA 統一データシート上で選択された材料質量セルが四捨五入されます。

◎ エラーメッセージ

無効な値を設定した場合

材料質量の四捨五入

選択されている材料質量の値を四捨五入します。
小数点以下の桁数を指定した後にOKボタンを押して下さい。
有効な桁数は小数点0桁から小数点6桁です。

【注意事項】
-四捨五入にて値が0になる場合は、値が切り上げられます。
(例: 0.0001→0.01 [小数点以下2桁設定時])
-四捨五入後は元のデータは失われ、復元することはできませんのでご注意下さい。

桁数(0-6):

OK キャンセル

JAMA統一データシート

有効な桁数は小数点0桁から小数点6桁です。

OK

無効な値を設定するとエラーメッセージが出力されます。

材料質量以外の列が選択されている場合

JAMA Sheet

材料質量セルを選択して下さい。

OK

材料質量の列以外が選択されている場合はエラーメッセージが表示されます。

3.2.4.3.5 化合物

{調査先}

ここでは材料に含まれる化合物の情報を入力します。

化合物の各項目はシート上に直接入力することも可能ですが、GADSL¹の禁止(P)、要申告/禁止(D/P)、要申告(D)、SVHC、プロセスケミカル²の識別情報を含む化合物リスト(BSL²リスト)は外部リストファイルに記載されています。また、この中に含まれていない化学物質は検索できないため、手作業で入力する必要があります。

!! 重要 !!

■ 同一化合物の選択

化合物は化合物コード³と Node ID の組み合わせで区別されます。ただし、化合物を検索する際、同一化合物コードに対して複数の化合物が表示される場合があります。これは地域や企業により化合物の呼び方が違うためです。どれを選択するか調査元から指示があった場合は、指示に従ってください。

■ リストにない化合物の扱い

検索結果に含まれていない化合物を入力する場合、必ず化合物コードおよび化合物名称を入力します。その際、化合物コードのみを入力するとエラーチェックでエラーとなるため、以下のように入力します。

Not found:XXXXXX-XX-X

(XXXXXX-XX-X は化合物コード)

■ 化合物カテゴリーが入力されているにも関わらず、材料情報がない場合にはエラーとなります。その際、材料ではなく化合物名称に対してエラーが表示されます。

■ ワイルドカード化合物について

ワイルドカード化合物とは化合物リスト(BSL)において、化合物コード(CAS No) = "system"が設定されているものを指します。この物質はIMDS上で便宜上使用されている架空の化合物で、(要申告・禁止物質を除く)機密性が高い化合物の秘匿、開発中の製品で組成が不明な物質を報告する目的等で使用します。

各項目に関して不明な点があれば、項目名をクリックして入力要領を確認してください(詳細は14ページ「入力項目の意味や項目別の入力方法を確認する(入力要領)をご参照ください」)。

■ 「選択」(化合物コード)ボタン

このボタンを使用すると、JAMA/JAPIA 統一データシート用化合物リストに掲載されている化合物の中から該当するものを選択することができます。この操作を行うと以下の項目が自動的に各セルに入力されるため、入力作業の負荷が軽減されます。

- 化合物コード
- 化合物名称
- Node ID[化合物]

🔗 操作

¹ Global Automotive Declarable Substance List の略。GASG(Global Automotive Stakeholders Group)の発行する化学物質リストで、IMDS上では要申告・禁止物質を確認するために使用される。

² Basic Substance List の略。IMDS上に登録されている化学物質のリスト。IMDSではこの中に登録されたものを選択して使用する。

³ Chemical Abstract Service が登録している化学物質データベースにおいて、各化学物質に割り当てられている ID 番号。

◎ 化合物の選択

化合物コードセルを選択してから「選択」(化合物コード)ボタンを押すと、「化合物の選択」画面が表示されます。

この画面から材料を検索し、「OK」を押すと、選択した化合物がセルに入力されます。

項目番号	1	24	25
		化合物	
		化合物コード	
行複写 行削除	項目名称	連番	化合物名称
		選択	

「選択」(化合物コード)ボタンを押します。

◎ 検索条件の指定、検索

「化合物の選択」画面

化合物の選択

✕

検索条件を入力して検索ボタンを押して下さい。

物質分類(GADSL)

化合物コード(CAS No.)

Node ID

化合物名称

化合物名称(日本語)

要申告(D)(GADSL)
☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

禁止物質(P)(GADSL)
☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

SVHC
☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

プロセスケミカル
☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

ボタンを押すと「化合物の選択」画面が表示されます。

この画面で検索条件を指定し、「検索」ボタンを押します。

■ 検索条件について

- 指定できる検索条件
以下の検索条件が指定できます。
 - ✧ 物質分類(GADSL)
 - ✧ 化合物コード(CAS No.)
 - ✧ Node ID
 - ✧ 化合物名称
 - ✧ 要申告(D)(GADSL)
 - ✧ 禁止(P)(GADSL)
 - ✧ SVHC
 - ✧ プロセスケミカル
- 検索は部分一致で行われます。入力した文字列を含む検索結果が表示されます。
例
検索条件 iron

表示される検索結果	<u>iron</u>	(一致)
	<u>iron</u> oxide	(で始まる)
	Barium <u>iron</u> oxide	(中間)
	Barium <u>iron</u>	(で終わる)

- 半角アルファベットの大文字・小文字は区別されません。

例

検索条件	Ab
表示される検索結果	AB
	Ab
	aB
	ab

- 全角・半角文字は別の文字として区別されています。ご注意ください。
- 検索条件の項目について
- ✧ 全ての検索条件を入力する必要はありません。
 - ✧ 複数の検索条件項目を入力した場合、**AND** 検索を行います。入力された検索条件の項目が全て該当する結果が表示されます。
 - ✧ 検索条件を全く指定せず、全ての化合物を検索することも可能です。ただし、画面に表示される検索結果は **500** 件までです。
- 検索条件の **GADSL** 分類は外部リストファイルに記載されています。

◎ 検索結果の選択

「化合物の選択」画面

最大 500 件の検索結果が表示されます。

化合物の選択

検索条件を入力して検索ボタンを押して下さい。

物質分類(GADSL)

化合物コード(CAS No.)

Node ID

化合物名称

化合物名称(日本語)

要申告(D)(GADSL) ☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

SVHC ☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

禁止物質(P)(GADSL) ☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

プロセスケミカル ☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

500件の化合物が見つかりました。

化合物コード	化合物名称	化合物名称(日本語)	Node ID	要申告(D)	禁止物質(P)	SVHC	プロセスケミカル
54942-74-4	UY-313	UY-313	260	はい	はい	はい	はい
54942-74-4	2-(4,4-Dimethyl-2,5-dioxooxazolidin-1-yl)-2'-chloro	UY-313	260				
55185-45-0	Ammonia, o-cresol, formaldehyde, phenol polymer	アンモニア、o-クレゾール、ホルムアルデヒド、フェノール	853				
55185-45-0	Formaldehyde, polymer with ammonia, 2-methylph	アンモニア、o-クレゾール、ホルムアルデヒド、フェノール	853				
55185-45-0	o-Cresol, formaldehyde, phenol, ammonia polymer	アンモニア、o-クレゾール、ホルムアルデヒド、フェノール	853				
5522-43-0	1-Nitropyrene	1-ニトロピレン	2653				
552-30-7	Benzene-1,2,4-tricarboxylic acid 1,2-anhydride	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸 1,2-無水物	3304				
552-30-7	Trimellitic anhydride	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸 1,2-無水物	3304				
553-00-4	Salts of 2-naphthylamine	2-ナフタレンアミン 塩	3027	はい			
553-00-4	2-Naphthalenamine, acetate	2-ナフタレンアミン 酢酸塩	3027	はい			
553-00-4	2-Naphthalenamine, hydrochloride	2-ナフタレンアミン 塩化水素塩	3027	はい			
553-00-4	2-Naphthylammonium acetate	2-ナフタレンアミン 酢酸塩	3027	はい			
553-03-7	3,4-Dihydro-2(1H)-quinolinone	3,4-ジヒドロキノリン-2(1H)-オン	1598				
55-38-9	Fenthion	チオリン酸O、O-ジメチル-O-(3-メチル-4-メ	1888				

該当する結果を選択し、「OK」ボタンを押します。

◎ 検索結果の選択

プロセスケミカルを選択して「OK」を押すと、ポップアップで警告が表示されます。この画面で「OK」をクリックすると、入力帳票へ化合物が入力され、「キャンセル」をクリックすると、検索画面に戻ります。

プロセスケミカル選択時の警告画面

警告

プロセスケミカル(一般的に、製造工程の中で揮発したり、他の物質に変化したりするプロセスケミカルとして分類される化合物)に分類されている化合物を、材料に追加しようとしています。
この化合物が本当に最終製品に含まれるのかどうかを確認して下さい。
最終製品に含まれる場合は、プロセスケミカルの存在形態を入力して下さい。
プロセスケミカルの追加を中止する場合は、キャンセルボタンを押して下さい。

◎ 自動的に入力された化合物

入力帳票シート

The screenshot displays the 'Input Form' (入力帳票シート) for JAMA/JAPIA. It is divided into two main sections: (1) Basic Information Survey (基本情報調査) and (2) Constituent Materials/Chemical Substance Survey (構成材料・化学物質調査).

(1) Basic Information Survey:

- Item Name (項目名称): カーボンカーコード
- Data Type (データ型): 半角英数字
- Entered By (記入者): 調査元

(2) Constituent Materials/Chemical Substance Survey:

項目番号	1	24	25	26	28	29	30
項目名称	重量	化合物コード	化合物名称	化合物含有率	高生材使用率 (工程内/サイクリック) 最小値	高生材使用率 (工程内/サイクリック) 最大値	高生材使用率 (市場回収材) 最小値
1		7775-14-6	Sodium dithionite				
2		7440-02-0	Nickel				
3		7439-89-6	Iron				
4		7440-44-0	Carbon				
5		7784-08-9	Arsenious acid, trisilver(1+) salt				

選択した化合物の情報が自動的に入力されています。

要申告フラグ(D)と禁止物質フラグ(P)、SVHC フラグの値によって、JAMA/JAPIA 統一データシート上の化合物コード、化合物名称は色およびフォントが変更されます(D:茶色、D/P:紫色、P:赤色、斜体:SVHC)。

■ 既に入力済みの値

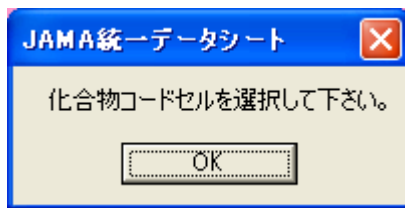
検索後、「OK」ボタンを押した時点で既に入力済みの値がある場合は上書きされます。

■ 自動設定

- 部工会オプション(含有率:最大、最小、残部)が入力されている場合、データチェック時に含有率の代表値が算出され自動設定されます。その際に含有率を上書きする場合、エラーリストに警告が表示されます(2回目のエラーチェックでは無視されます)。
- Not found: XXXXXX-XX-X の形式の場合、CAS No をキーにしてリストを検索し一致するものがあれば、警告を表示して化合物コード、化合物名称、Node ID[化合物]を置き換えます。この形式については43ページ「リストにない化合物の扱い」をご参照ください。

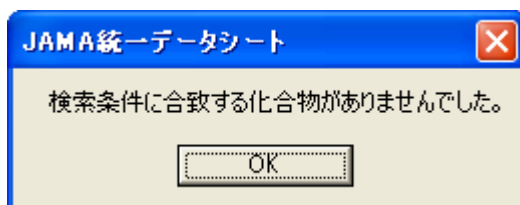
◎ エラーメッセージ

化合物コードのセル以外が選択されている



化合物コードのセルを選択していない場合、エラーメッセージが表示されます。

化合物が存在しない場合



該当する化合物が存在しない場合、エラーメッセージが表示されます。

◎ 主なエラーチェック項目

- データがリストから選択されており、化合物コードと化合物名称と **Node ID**[化合物]の組み合わせが正しくない場合はエラーが表示されます。
- 化合物が入力されている行では、化合物含有率が入力されていなければエラーが発生します。
- 化合物含有率は構成材料ごとの合計が **100%**となる(ワイルドカード化合物も合計する)ように入力しなければエラーとなります。
- ワイルドカード化合物が **10%**を超える場合は警告が表示(**CSV、XML** 出力は可能)されます。部工会オプション化合物含有率(最大値)および(最小値)が入力されていた場合は、最大値が評価対象となります。
- 一つの材料について、同じ化合物が複数回入力されていればエラーとなります。
- **VDA** 材料分類コードが **5.x** または **6.x** かつ、構成物質が **1** つのみの場合かつ、その含有率が **100%**(固定値)、または **1**(残部)の場合、警告が表示されます。

◎ 検索結果が 500 件を超える場合

検索結果が 500 件を超える場合は検索条件を絞るよう指示するメッセージが表示されます。「OK」を押すと化合物リストを上から照合し、最初の 500 件のみが表示されます。

検索結果が 500 件を超えた場合

JAMA Sheet

抽出データが500件を超えました。
上位500件のみ表示します。
条件を絞って下さい。

OK

化合物の選択

検索条件を入力して検索ボタンを押して下さい。

物質分類(GADSL)

化合物コード(CAS No.)

Node ID

化合物名称

化合物名称(日本語)

要申告(DX(GADSL)) ☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

SVHC ☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

禁止物質(PX(GADSL)) ☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

プロセスケミカル ☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

検索 キャンセル

500件の化合物が見つかりました。

化合物コード	化合物名称	化合物名称(日本語)	Node ID	要申告(D)	禁止物質(P)	SV HC	プロセスケミカル
118725-24-9	(1,3-Dioxo-2H-benz(de)isoquinolin-2-ylpropyl)hexadecyl-	N-[3-(N-ヘキサデシル-N, N-ジメチルアミノ)プロピル,	1				
118725-25-0	1H-Benz(de)isochinoline-2(3H)-propanaminium, N-he	N-[3-(N-ヘキサデシル-N, N-ジメチルアミノ)プロピル,	2				
86608-70-0	(2-(1,3-Dioxolan-2-yl)ethyl)triphenylphosphonium br	2-(1,3-ジオキサラン-2-イル)エチルトリフェニルホスホニ	3				
111-15-9	2-Ethoxyethyl acetate	酢酸2-エトキシエチル(別名エチレングリコールモノエチルエ	5				
111-15-9	Acetic acid, 2-ethoxyethyl ester	酢酸2-エトキシエチル(別名エチレングリコールモノエチルエ	5				
103-09-3	2-Ethylhexyl acetate	酢酸2-エチルヘキシル	6				
110-49-6	2-Methoxyethyl acetate	酢酸2-メトキシエチル(別名エチレングリコールモノメチルエ	7				
2532-43-6	3-Methylpyrazol-5-yl-dimethylcarbamate	3-メチルピラゾール-5-イル-ジメチルカルバメート	8				
2532-43-6	Monometilan	3-メチルピラゾール-5-イル-ジメチルカルバメート	8				
95154-01-1	(Benzothiazol-2-ylthio)succinic acid	2-(ベンゾチアゾール-2-イルチオ)コハク酸	9				
-	(C16orC18-n-alkyl)(C16orC18-n-alkyl)ammonium 2-	(C16orC18-n-アルキル)(C16orC18-n-アルキル)ア	10				
85491-26-5	(Chloromethyl)bis(4-fluorophenyl)methylsilane	(クロロメチル)ビス(4-フルオロフェニル)メチルシラン	11				
-	(Chlorophenyl)(chlorotolyl)methane, mixed isomers	(クロロフェニル)ビス(4-フルオロフェニル)メチルシラン	12				
149057-70-5	(Ethyl-3-oxobutanoato-O'1,O'3)(2-dimethylaminoetha	(クロロフェニル)(クロロトルル)メタン, 混合異性体	13				

プレビュー OK キャンセル

◎ プレビュー機能

「化合物の選択」画面の下に表示される検索結果で確認できる文字数は限られています。化合物を選択し、「プレビュー」ボタンをクリックすると、選択した化合物の情報を別画面で確認することができます。この画面で「OK」ボタンをクリックすると、入力帳票へ化合物が入力されます。一方、「キャンセル」ボタンをクリックすると、検索画面に戻ります。

プレビュー画面

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled '化合物の選択' (Compound Selection). Inside, there is a section titled '化合物情報詳細' (Compound Information Details). This section contains the following fields:

化合物コード(CAS No)	88121-18-0
化合物名称	N-(((3,5-Dichloro-2,4-difluorophenyl)amino)carbonyl)-2,6-difluoroben...
化合物名称(日本語)	1-(3, 5-ジクロロ-2, 4-ジフルオロフェニル)-3-(2, 6-ジフルオロベンゾイル)尿素(別名テフルベンズ ロン)
Node ID	29

Below the information fields, there are four checkboxes, all of which are currently unchecked:

- 要申告(D)
- 禁止物質(P)
- SVHC
- プロセスケミカル

At the bottom right of the dialog box, there are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

◎ 検索結果の並べ替え

表示された検索結果は並べ替えることができます。並べ替えるには項目名をクリックします。
検索結果が 500 件を超える場合、最初に表示された 500 件の中で並べ替えが行われます。

検索結果の並べ替え

化合物の選択

検索条件を入力して検索ボタンを押して下さい。

物質分類(GADSL)

化合物コード(CAS No.)

Node ID

化合物名称

化合物名称(日本語)

要申告(D)(GADSL) ☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

SVHC ☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

禁止物質(P)(GADSL) ☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

プロセスケミカル ☐ はい ☐ いいえ ☒ 指定なし

500件の化合物が見つかりました。

化合物コード	化合物名称	化合物名称(日本語)	Node ID	要申告(D)	禁止物質(P)	SVHC	プロセスケミカル
54942-74-4	UY-313	UY-313	260	はい	はい	はい	はい
54942-74-4	2,2,14-Dimethyl-2,5-dioxooxazolidin-1-yl)-2'-chloro	UY-313	260				
55185-45-0	Ammonia, o-cresol, formaldehyde, phenol polymer	アンモニア、o-クレゾール、ホルムアルデヒド、フェノール	853				
55185-45-0	Formaldehyde, polymer with ammonia, 2-methylph	アンモニア、o-クレゾール、ホルムアルデヒド、フェノール	853				
55185-45-0	o-Cresol, formaldehyde, phenol, ammonia polymer	アンモニア、o-クレゾール、ホルムアルデヒド、フェノール	853				
5522-43-0	1-Nitropyrene	1-ニトロピレン	2653				
552-30-7	Benzene-1,2,3-tricar		3304				
552-30-7	Trimellitic anhydride		3304				
553-00-4	Salts of 2-naphthyl		3027	はい			
553-00-4	2-Naphthalenamine,		3027	はい			
553-00-4	2-Naphthalenamine,		3027	はい			
553-00-4	2-Naphthylammoniu		3027	はい			
553-03-7	3,4-Dihydro-2(1H)-quinolinone		1598				
55-38-9	Fenthion	チオリン酸ジメチル-O-(3-メチル-4-メ	1888				

化合物コードをクリックすると
化合物コードでの並べ替えが行われる

■ 「選択」(プロセスケミカルが存在形態)ボタン

このボタンを使用すると、プロセスケミカルが存在形態を入力することができます。

材料にプロセスケミカルを追加し、含有率が **0.1%**を超えた場合、プロセスケミカルが存在形態の入力が必須となります。なお、プロセスケミカルではない化合物にプロセスケミカルが存在形態を入力すると、エラーチェックにおいて自動削除されます。

プロセスケミカルが存在形態の選択肢は以下の 3 種類です。

- Intended use(意図的使用)
- Reaction residue(反応残留物)
- Impurity(不純物)

🔗 操作

◎ プロセスケミカルが存在形態の選択

プロセスケミカルが存在形態セルを選択してから「選択」(プロセスケミカルが存在形態)ボタンを押すと、「プロセスケミカル存在形態の選択」画面が表示されます。この画面からプロセスケミカルが存在形態を選択し、「OK」を押すと、選択したプロセスケミカルが存在形態に対応する存在形態コード(Intended use(意図的使用)…1、Reaction residue(反応残留物)…2、Impurity(不純物)…3)がセルに入力されます。

「選択」(プロセスケミカルが存在形態)ボタン

項目番号	1	20	23	24	25
		化合物			
項目名称	連番	含有数 整理番号	プロセス ケミカル の 存在 形態 選択	化合物コード 選択	化合物名
桁数(整数)	5	3	2	30	300
桁数(小数)	0	0	0	0	0
	1				
	2				

力帳票 入力要領 MESSAGE

「選択」(プロセスケミカルが存在形態)ボタンを押します。

「プロセスケミカルが存在形態の選択」画面

プロセスケミカルが存在形態の選択 ✕

プロセスケミカルが存在形態を選択してOKボタンを押して下さい。

☒ [1] Intended use(意図的使用)
☐ [2] Reaction residue(反応残留物)
☐ [3] Impurity(不純物)

OK
キャンセル

ボタンを押すと、「プロセスケミカルが存在形態の選択」画面が表示されます。
この画面で適切なプロセスケミカルが存在形態を指定し、「OK」ボタンを押します。

3.2.4.3.6 リサイクル

{調査先}

ここではリサイクル情報を入力します。

各項目に関して不明な点があれば、項目名をクリックして入力要領を確認してください(詳細は14ページ「入力項目の意味や項目別の入力方法を確認する(入力要領)」をご参照ください)。

■ 入力必須条件

➤ 再生材使用率

VDA 材料分類コードが **1.x, 2.x, 3.x, 4.x, 5.x, 7.1, 7.2** の材料に対しては入力が必要となります。同一材料に対して複数行が存在する場合は最初の行にのみ入力します。

➤ 材質表示

VDA 材料分類コード **5.1.x, 5.4.x, 5.5.x** の材料で質量の合計が **100g** を超える場合または VDA 材料分類コード **5.2, 5.3** の材料で質量の合計が **200g** を超える場合に入力が必要となります。同一部品に対して複数行が存在する場合は最初の行にのみ入力します。

※ただし、JAMA シートでは VDA 材料分類コード **5.5.x** は選択できません。

■ 再生材使用率の自動設定

エラーチェック時、各項目が以下の通り自動設定されます。

➤ 上述の入力必須条件に当てはまり、かつ以下の条件に該当する場合、値が以下の通り自動設定されます。

- ◇ 最小値か最大値の片方のみが入力されている場合、その値が他方にコピーされる
- ◇ 最小値と最大値の両方が未入力の場合、両者に「0」が入力される

➤ 再生材使用率が必須でない場合は何も変更されません。

3.2.4.3.7 その他

{調査先}**【調査元】**

ここではアプリケーションコードを入力します。

アプリケーションはシート上に直接入力することも可能ですが、入力可能なアプリケーションは外部リストファイルに記載されており、その中から選択することができます。この中に含まれていないアプリケーションは入力できません。

!! 重要 !!

■ 選択可能なアプリケーション

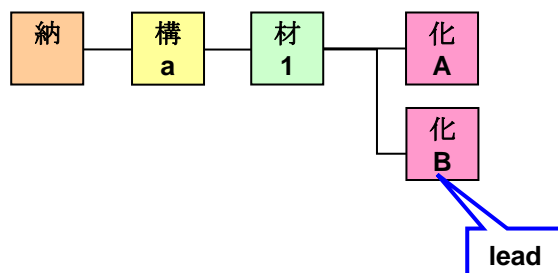
アプリケーションは多数存在しますが、全てが画面に表示されるわけではなく、その中で選択肢となりうるもののみが画面上に表示されます。

具体的には以下の項目によって画面に表示されるアプリケーションが決まります。

このため、アプリケーションの選択前に必ず以下の 3 項目が入力されている必要があります。

- 化合物(化合物コード、化合物名称、Node ID[化合物])
- 化合物の含有率(各アプリケーションが適用可能な含有率の上限が定められています)
部工会オプションの化合物含有率(最小値・最大値)を使用する場合、最小値・最大値だけではなく化合物含有率(固定値)が自動計算された状態でなければアプリケーションの選択ができません。
詳細は63ページ「化合物含有率(最小値/最大値/残部)」をご参照ください。
- 化合物を含む材料の VDA 材料分類

■ アプリケーションが必要な行

例 アプリケーションが必要な行

上述の例では、化合物 B(lead)が IMDS でアプリケーションが必要と定義された物質のため、アプリケーションコードの指定を行う必要があります。

各項目に関して不明な点があれば、項目名をクリックして入力要領を確認してください(詳細は14ページ「入力項目の意味や項目別の入力方法を確認する(入力要領)」をご参照ください)。

■ 「選択」(アプリケーション)ボタン

このボタンを使用すると、JAMA/JAPIA 統一データシート用アプリケーションコードリストに掲載されているアプリケーションの中から、該当するものを選択することができます。この操作を行うとアプリケーションが自動的にセルに入力されるため、入力作業の負荷が軽減されます。

🔗 操作

◎ アプリケーションの選択

「選択」(アプリケーション)ボタン

1	32	34	35	40
<u>連番</u>	<u>材質表示</u>	<u>アプリケーション</u> 	<u>殺生物目的</u>  	<u>構成部品数量単位</u> 
・データに付与する識別の為の連番	・部品に「材質マーク」を表示していることを示すコード	・IMDSで定められている有害物質を使用している場合の使用目的コード	・欧州殺生物性製品規則における殺生物目的の有無とプロダクトタイプを示すコード	・構成部品数の単位

「選択」(アプリケーション)ボタンを押します。

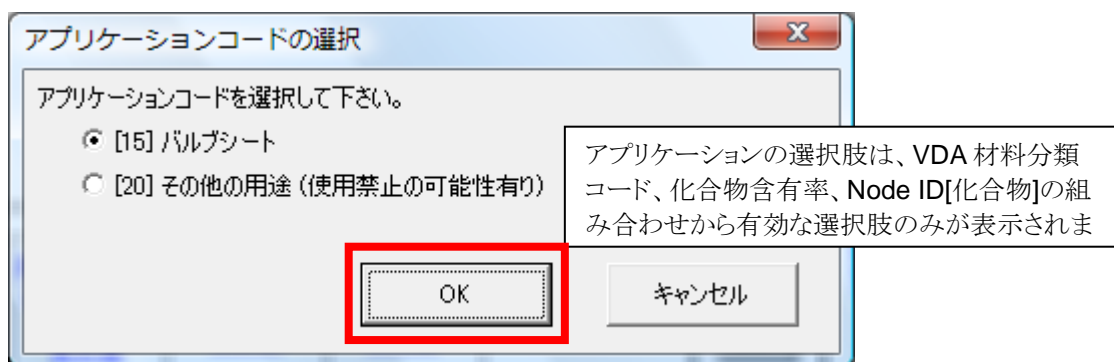
◎ アプリケーションの指定

「アプリケーションコードの選択」画面

ボタンを押すと「アプリケーションコードの選択」画面が表示されます。

この画面に表示されているアプリケーションコードは、54ページ「選択可能なアプリケーション」に記載された条件で絞り込まれています。このため、新たに検索条件を指定して検索する必要はありません。

この画面でアプリケーションコードを選択し、「OK」を押します。



◎ 自動的に入力されたアプリケーション

入力帳票シート				
1	32	34	35	40
連番	材質表示	アプリケーション 選択	殺生物目的 一括入力 選択	構成部品 数量単位 選択
1		15		
2				

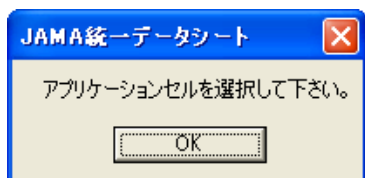
選択したアプリケーションが自動的に入力されています。

■ 自動設定

化合物コードが **Not found:xxxxxx-xx-x** で指定されている場合、先にその **CAS No.**に該当する化合物があるかをチェックし、あれば **Node ID[化合物]**に **Node ID** を設定します。この形式については 43ページ「リストにない化合物の扱い」をご参照ください。

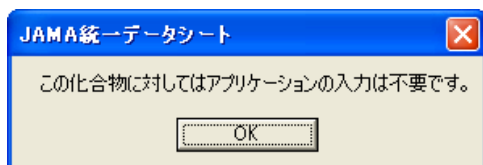
◎ エラーメッセージ

アプリケーション以外のセルが選択されている場合



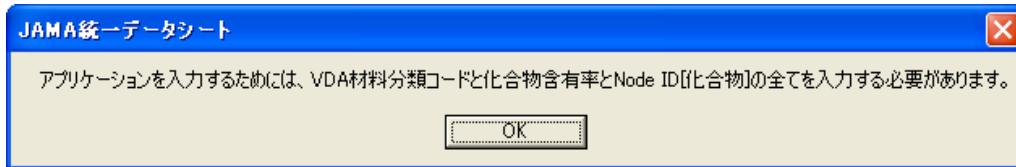
アプリケーション以外のセルが選択されている場合、エラーメッセージが表示されます。

アプリケーションが不要な場合



アプリケーションコードの設定が不要な化合物に対して上述の操作を行うと、エラーメッセージが表示されます。

必要な情報が未入力の場合



VDA 材料分類コード、化合物含有率、Node ID[化合物]のいずれかが未入力の場合に上述の操作を行うと、エラーメッセージが表示されます。

◎ 主なエラーチェック項目

- 外部リストに含まれないアプリケーションを選択するとエラーが発生します。
- アプリケーションが必要な化合物の場合、アプリケーション未指定ではエラーが発生します。
- 化合物 Node ID、VDA 材料分類コード、化合物含有率と選択可能なコードの組合せに誤りがあればエラーが発生します。
- アプリケーションが不要な化合物にアプリケーションが指定されているとエラーが発生します。

3.2.4.3.8 殺生物目的

{調査先}

【調査元】

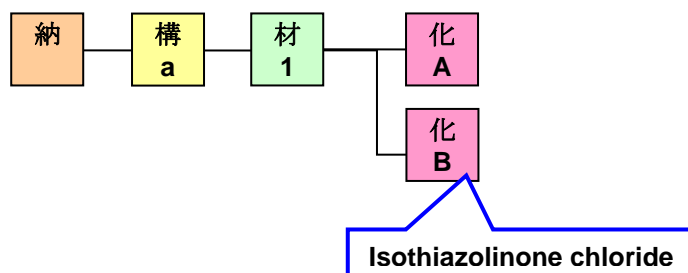
ここでは殺生物目的の有無とプロダクトタイプを入力します。

殺生物目的はシート上に直接入力することも可能ですが、入力可能な殺生物目的/プロダクトタイプは外部リストファイルに記載されており、その中から選択することができます。この中に含まれていない殺生物目的/プロダクトタイプは入力できません。

!! 重要 !!

- 選択可能な殺生物目的/プロダクトタイプ
殺生物目的/プロダクトタイプは多数存在しますが、全てが画面に表示されるわけではなく、その中で選択肢となりうるもののみがポップアップ画面上に表示されます。
- 殺生物目的/プロダクトタイプが必要な行

例 殺生物目的/プロダクトタイプが必要な行



上述の例では、化合物 B(Kathon)が IMDS で殺生物目的/プロダクトタイプが必要と定義された物質のため、殺生物目的/プロダクトタイプの指定を行う必要があります。

各項目に関して不明な点があれば、項目名をクリックして入力要領を確認してください(詳細は14ページ「入力項目の意味や項目別の入力方法を確認する(入力要領)」をご参照ください)。

■ 「選択」(殺生物目的)ボタン

このボタンを使用すると、JAMA/JAPIA 統一データシート用殺生物目的/プロダクトタイプリストに掲載されている殺生物目的/プロダクトタイプの中から、該当するものを選択することができます。この操作を行うと殺生物目的/プロダクトタイプが自動的にセルに入力されるため、入力作業の負荷が軽減されます。

🔗 操作

◎ 殺生物目的/プロダクトタイプの選択

「選択」(殺生物目的)ボタン

1	32	34	35	40
連番	材質表示	アプリケーション	殺生物目的	構成部品数量単位
		選択	一括入力 選択	選択
・データに付与する識別の為の連番	・部品に「材質マーク」を表示していることを示すコード	・IMDSで定められている有害物質を使用している場合の使用目的コード	・欧州殺生物性製品規則における殺生物目的の有無とプロダクトタイプを示すコード	・構成部品数の単位

「選択」(殺生物目的)ボタンを押します。

◎ 殺生物目的/プロダクトタイプの指定

「殺生物目的/プロダクトタイプの選択」画面

ボタンを押すと「殺生物目的/プロダクトタイプの選択」画面が表示されます。この画面で N またはプロダクトタイプを選択し、「OK」を押します。

殺生物目的/プロダクトタイプの選択

×

「N」またはプロダクトタイプを選択してOKボタンを押して下さい。

☒ [N] 殺生物目的ではない

☐ [7] (PT 7) フィルム保存剤(コーティング含む)

☐ [8] (PT 8) 木材保存剤

☐ [9] (PT 9) 繊維・皮革・ゴム及び高分子材料 保存剤

OK

キャンセル

■ 「一括入力」(殺生物目的)ボタン

このボタンを使用すると、殺生物目的の対象物質行に「N」(殺生物目的ではない)が自動的にセルに入力されるため、入力作業の負荷が軽減されます。

🔗 操作

◎ 殺生物目的/プロダクトタイプの選択

「一括入力」(殺生物目的)ボタン

1	32	34	35	40
連番	材質表示	アプリケーション <input type="button" value="選択"/>	殺生物目的 <input type="button" value="一括入力"/> <input type="button" value="選択"/>	構成部品数量単位 <input type="button" value="選択"/>
・データに付与する識別の為の連番	・部品に「材質マーク」を表示していることを示すコード	・IMDSで定められている有害物質を使用している場合の使用目的コード	・欧州殺生物性製品規則における殺生物目的の有無とプロダクトタイプを示すコード	・構成部品数の単位

「一括入力」(殺生物目的)ボタンを押します。

殺生物目的の一括入力

欧州殺生物性製品規則の対象化合物の殺生物目的欄のうち、未回答のものに対して、「N」殺生物目的ではないと回答します。
よろしいですか？

OK : 確認しました。〈N〉を一括入力)
キャンセル : 一括入力せずに戻ります。

ボタンを押すと「殺生物目的の一括入力」画面が表示されます。

この確認画面で「OK」を押します。

一括入力した旨のメッセージが表示され、対象物質行に「N」(殺生物目的ではない)が自動設定されます。

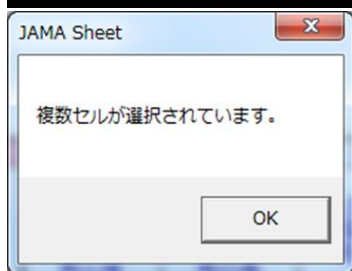
殺生物目的の一括入力

回答が必要な殺生物目的欄のうち、未回答のものに対して、「N」殺生物目的ではないを入力しました。
※本メッセージは、回答が必要な化合物が無い場合も表示されます。

34	35	40	41	42
アプリケーション <input type="button" value="選択"/>	殺生物目的 <input type="button" value="一括入力"/> <input type="button" value="選択"/>	構成部品数量単位 <input type="button" value="選択"/>	調査元材料記号もしくは 支給材コード	化合物含有率 (最小値)
	N			
	N			

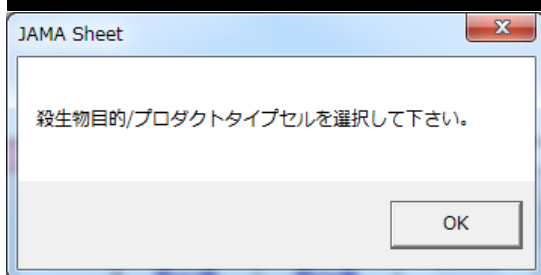
◎ エラーメッセージ

選択セルが複数の場合



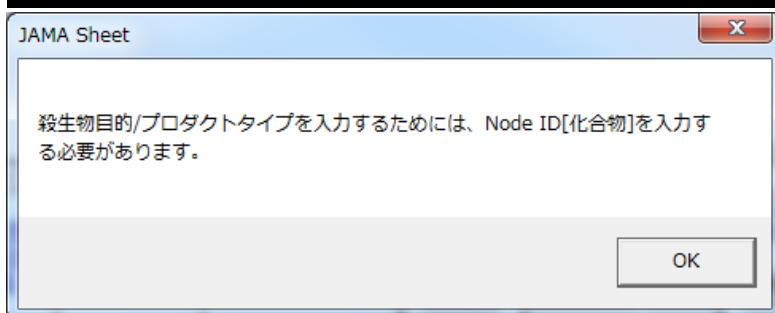
選択セルが複数の場合、エラーメッセージが表示されます。

殺生物目的以外のセルが選択されている場合



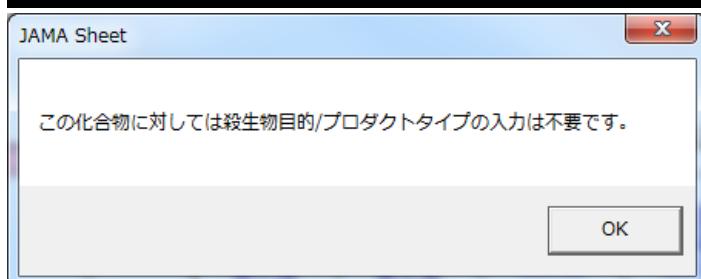
殺生物目的以外のセルが選択されている場合、エラーメッセージが表示されます。

選択行の Node ID[化合物]がない場合



選択行の Node ID[化合物]がない場合、エラーメッセージが表示されます。

選択した化合物が BPR 関係の物質ではない場合



選択した化合物が BPR 対象物質ではない場合、エラーメッセージが表示されます。

◎ 主なエラーチェック項目

- Node ID[化合物]がバイオサイド規制対象の化合物グループに含まれている場合、対象セルに「N」または、プロダクトタイプが記入されていない場合、エラーが発生します。
- Node ID[化合物]がバイオサイド規制対象の化合物グループに含まれていなかった場合、対象セルに値が入っている場合、警告が発生し値を削除します。

3.2.4.3.9 部工会オプション

{調査先}

{調査先} または 【調査元】

各項目に関して不明な点があれば、項目名をクリックして入力要領を確認してください(詳細は14ページ「入力項目の意味や項目別の入力方法を確認する(入力要領)」をご参照ください)。

■ 「選択」(構成部品数量単位)ボタン

このボタンを使用すると、JAMA/JAPIA 統一データシート用構成部品数量単位リストに掲載されている構成部品数量単位の中から、該当するものを選択することができます。この操作を行うと構成部品数量単位が自動的にセルに入力されるため、入力作業の負荷が軽減されます。JAMA/JAPIA 統一データシート用構成部品数量単位リストは外部リストファイルに記載されています。同一の構成部品については、全ての行に同じ単位が入力する必要があります。全ての行に同じ単位が入力されていない場合、エラーチェックでエラーが発生します。

🔗 操作

◎ 構成部品数量単位を選択

「選択」(構成部品数量単位)ボタン

番号	1	34	35	40	41	42
名称	連番	アプリケーション 選択	殺生物目的 一括入力 選択	構成部品 数量単位 選択	調査元 材料記号 もしくは 支給材コード	化合物含 有率 (最小値)
データ型	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字

「選択」(構成部品数量単位)ボタンを押します。

◎ 構成部品数量単位を指定

「構成部品数量単位を選択」画面

ボタンを押すと「構成部品数量単位を選択」画面が表示されます。

構成部品数量単位を選択してOKボタンを押して下さい。

- ☒ each
- ☐ mm
- ☐ cm
- ☐ m
- ☐ mm*2
- ☐ cm*2
- ☐ m*2
- ☐ mm*3
- ☐ cm*3
- ☐ m*3

OK キャンセル

この画面で構成部品数量単位を選択し、「OK」を押します。

自動的に入力された構成部品数量単位

入力帳票シート

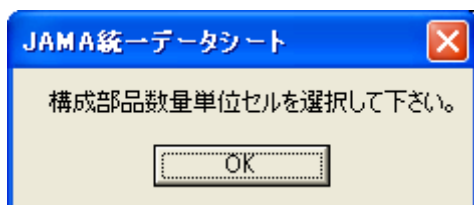
番号	1	40	41	42	43	44
名称	連番	部工会オプション				
		構成部品 数量単位 選択	調査元 材料記号 もしくは 支給材コード	化合物含 有率 (最小値)	化合物含 有率 (最大値)	化合物含 有率 (残部)
型	半角数字	半角英数字	半角英数字	半角数字	半角数字	1(半角)
数)	5	8	20	10	10	1
数)	0	0	0	6	6	0
	1	each				
	2					

選択した構成部品数量単位が自動的に入力されています。

◎ エラーメッセージ

構成部品数量単位以外のセルが選択されている場合

構成部品数量単位以外のセルが選択されている



場合、エラーメッセージが表示されます。

■ 化合物含有率(最小値/最大値/残部)

化合物含有率(最小値/最大値/残部)が入力された後にエラーチェックを行うと、化合物の「含有率」カラムが強制的に自動計算値で上書きされます(警告は表示されますが変更を元には戻せません)。

エラーチェックの際、含有率の値は同一材料の化合物の含有率合計が **100%** となるように自動的に計算されます。

最大値・最小値を入力しただけでなく残部も選択した場合、「最大値の合計が **100%未満の場合**」であれば、合計 **100%** になるよう計算します。

例 通常の入力

入力した値

	化合物含有率	化合物含有率 (最小値)	化合物含有率 (最大値)	化合物含有率 (残部)
化合物 A	(空欄)	10%	20%	(空欄)
化合物 B	(空欄)	10%	20%	(空欄)
化合物 C	(空欄)	(空欄)	(空欄)	1

自動計算後

	化合物含有率	化合物含有率 (最小値)	化合物含有率 (最大値)	化合物含有率 (残部)
化合物 A	15%	10%	20%	(空欄)
化合物 B	15%	10%	20%	(空欄)
化合物 C	70%	(空欄)	(空欄)	1

問題の発生するケース 1

- ◇ 最大値・最小値を入力した場合で、「最大値の合計が **100%未満**」の場合、合計 **100%** になることはありません。その際はエラーとなります。この場合、化合物含有率は最大値と最小値の中間値となります。

例 最大値の合計が **100%未満**の場合

入力した値

	化合物含有率	化合物含有率 (最小値)	化合物含有率 (最大値)	化合物含有率 (残部)
化合物 A	(空欄)	10%	20%	(空欄)
化合物 B	(空欄)	10%	20%	(空欄)
化合物 C	(空欄)	10%	20%	(空欄)

自動計算後

	化合物含有率	化合物含有率 (最小値)	化合物含有率 (最大値)	化合物含有率 (残部)
化合物 A	15%	10%	20%	(空欄)
化合物 B	15%	10%	20%	(空欄)
化合物 C	15%	10%	20%	(空欄)

問題の発生するケース 2

- ◇ 最大値・最小値を入力した場合で、「最小値の合計が 100%を超える」場合、合計 100%になることはありません。その際はエラーとなります。この場合、化合物含有率は最大値と最小値の中間値となります。

例 最小値の合計が 100%を超える場合

自動計算後

	化合物 含有率	化合物 含有率 (最小値)	化合物 含有率 (最大値)	化合物 含有率 (残部)
化合物 A	95%	90%	100%	(空欄)
化合物 B	95%	90%	100%	(空欄)
化合物 C	95%	90%	100%	(空欄)

問題の発生するケース 3

- ◇ 最大値・最小値を入力しただけでなく残部も選択した場合、「最小値の合計が 100%以上」の場合、残部を利用して合計 100%になるよう調整します。その結果、残部の値はマイナスの値や 0%が入ることになるためエラーとなります。一方、残部を指定していない化合物含有率は最大値と最小値の中間値となります。

例 最大値の合計が 100%以上で、残部を選択している場合

ユーザーが入力した値

	化合物 含有率	化合物 含有率 (最小値)	化合物 含有率 (最大値)	化合物 含有率 (残部)
化合物 A	(空欄)	90%	100%	(空欄)
化合物 B	(空欄)	90%	100%	(空欄)
化合物 C	(空欄)	(空欄)	(空欄)	1

自動計算後

	化合物 含有率	化合物 含有率 (最小値)	化合物 含有率 (最大値)	化合物 含有率 (残部)
化合物 A	95%	90%	100%	(空欄)
化合物 B	95%	90%	100%	(空欄)
化合物 C	-90%	(空欄)	(空欄)	1

◎ 主なエラーチェック項目

- 最大値・最小値を入力する場合、最大値と最小値の差が以下に定められた値を超えると警告が発生します。
- 許容される最大値・最小値の差は、化合物含有率の最小値によって異なります。

含有率: 最小値LL% 最大値UL%	化学物質の範囲値の差 許容値M = UL% - LL%
$0 \leq LL \leq 7.5$	$M \leq 3$
$7.5 < LL \leq 20$	$M \leq 5$
$20 < LL \leq 100$	$M \leq 10$

- 検索[材料]を使用して化合物情報を含む材料を選択した場合、外部リストで **Node ID**[材料]が指定されているものについては、このチェックは行われません。

3.2.5 行・列のコピー・挿入・削除について

入力帳票において列の挿入や削除を行った場合、JAMA/JAPIA 統一データシートの各機能の動作は保証されません。

同様に、項目名称等のラベル部分(データ行以外)に行を挿入することも認められません。この場合も動作の保証はされません。

*ただし、シートは保護されているため通常の操作では行・列の挿入・削除を行うことはできません。

3.2.5.1 行をコピー・挿入する(「行複写」ボタン)

セルの内容を別の行にコピーしたい場合、手作業でコピーすることも可能です。ただし、納入部品の部品質量のように 1 行目と他の行で入力すべきデータが異なる場合があります。このような場合、「行複写」ボタンを使用することでエラーを回避できます。

「行複写」ボタンは、選択された行の内容をコピーし、直後の行に挿入します。ただし、以下のフィールドについては内容をコピーしません。

- 納入部品質量
- 構成部品質量 A
- 材料質量
- 含有数整理番号
- プロセスケミカルが存在形態
- 化合物コード
- 化合物名称
- 化合物含有率
- 再生材使用率 (工程内リサイクル材)
- 再生材使用率 (市場回収材)
- 材質表示
- アプリケーション
- Node ID[材料]
- Node ID[化合物]

複数行(連続したデータ行)をコピーすることも可能です。

間の空いている複数行(例:1 行目、2 行目、4 行目)をコピー元として選択することはできません。

調査元による入力保護のかかっているセルをコピーした場合、貼り付け後のセルも入力保護の対象となります。入力保護の詳細は81ページ「入力したデータが変更されないよう保護する(入力保護)」をご参照ください。

例

2 行目を行複写する

連番	納入部品	構成部品	材料	化合物	...
1	X				
2	X	1			
3	X	2			
4	X	2			

新たに 3 行目が挿入され、2 行目の内容が複写されます(連番は自動調整されます)。



連番	納入部品	構成部品	材料	化合物	...
1	X				
2	X	1			
3	X	1			
4	X	2			
5	X	2			

これまで 3, 4 行目にあった行はそれぞれ 4, 5 行目となります。

操作

◎ コピー元の選択、行複写

選択、行複写

行を選択し、「行複写」ボタンを押します。

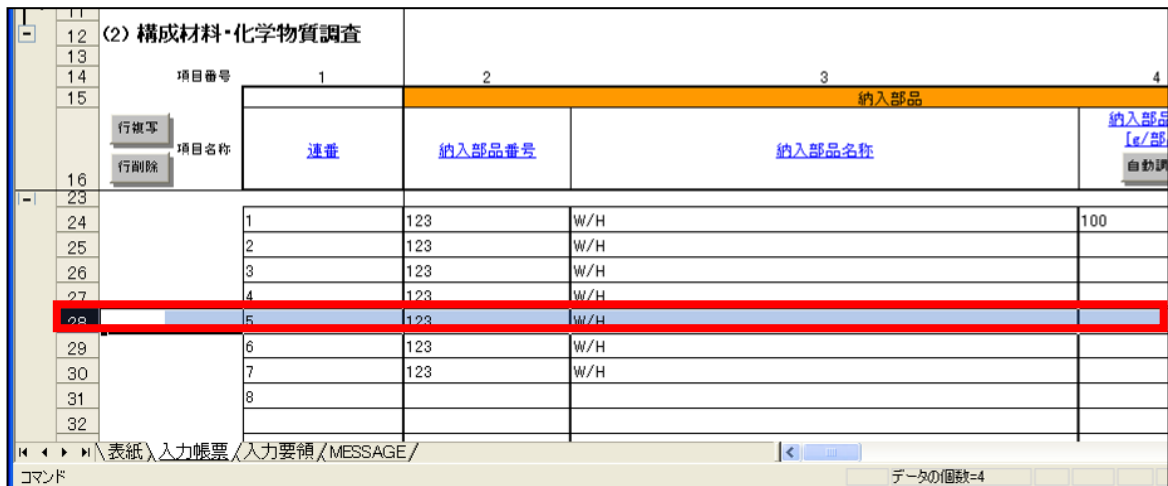


(2) 構成材料・化学物質調査				
項目番号	1	2	3	
項目名称	連番	納入部品番号	納入部品名称	納入部品
1		123	W/H	100
2		123	W/H	
3		123	W/H	
4		123	W/H	
5		123	W/H	
6		123	W/H	

コマンド データの個数=4

◎ コピー・挿入された行

コピー・挿入された行

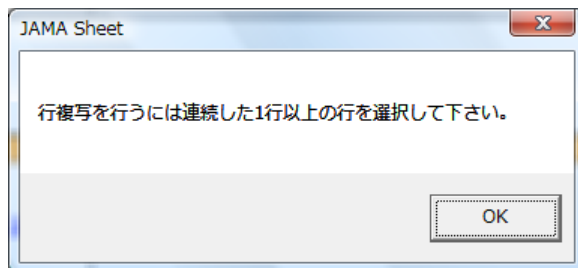


項目番号	1	2	3	4
項目名称	連番	納入部品番号	納入部品名称	納入部品 [e/部] 自動調
1		123	W/H	100
2		123	W/H	
3		123	W/H	
4		123	W/H	
5		123	W/H	
6		123	W/H	
7		123	W/H	
8				

選択された行の下に新しい行がコピー・挿入されています。

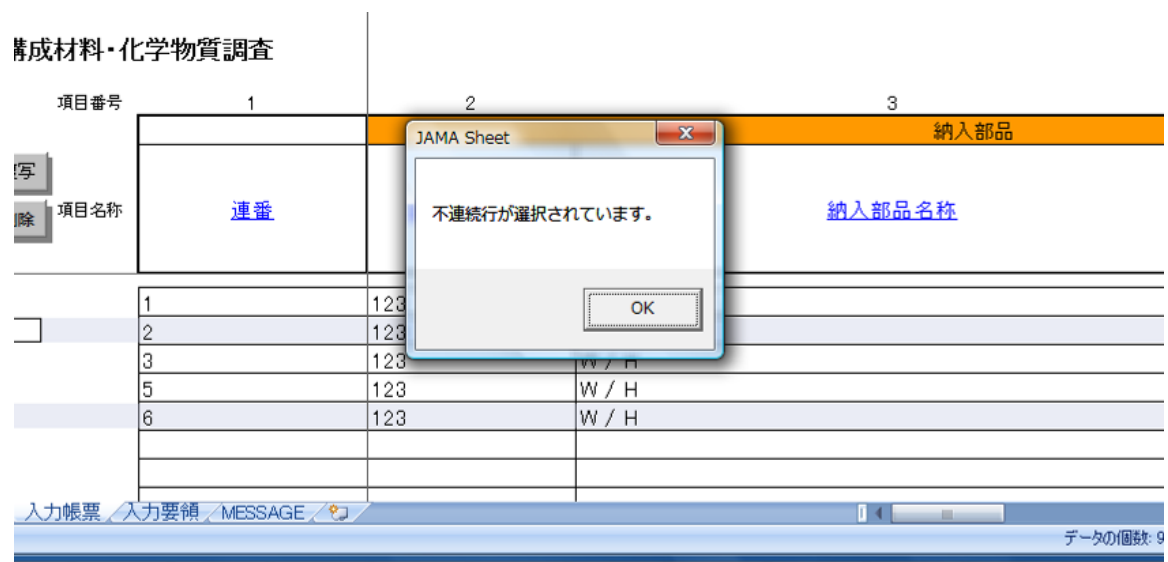
◎ エラーメッセージ

行が選択されていない場合



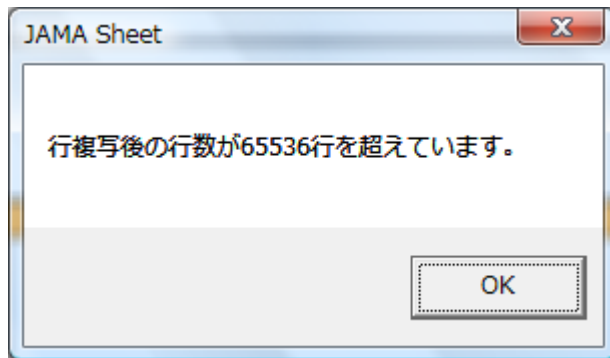
行が選択されていない場合はエラーメッセージが表示されます。

不連続行が選択されている場合



項目番号	1	2	3	4
項目名称	連番	納入部品番号	納入部品名称	
1		123		
2		123		
3		123	W / H	
5		123	W / H	
6		123	W / H	

間の空いている複数行を選択している場合にもエラーメッセージが表示されます。

Excel の最大行数を超える場合

行複写後の行数が Excel の最大行数を超える場合はエラーメッセージが表示されます。

3.2.5.2 行を削除する(「行削除」ボタン)

「行削除」ボタンは、選択された行を削除します。

通常の Excel の操作で行を削除することはできません。また、途中の行を削除する場合は連番を調整する必要があります。そこで、「行削除」ボタンを使用します。

「行削除」ボタンは、選択された行を削除し、以降の行の連番を調整します。

複数行(連続したデータ行)を削除することも可能です。

間の空いている複数行(例:1 行目、2 行目、4 行目)を削除対象として選択することはできません。

例

2 行目を削除する

連番	納入部品	構成部品	材料	化合物	...
1	X				
2	X	1			
3	X	2			
4	X	2			

これまで 3,4 行目にあった行はそれぞれ 2,3 行目となります。

連番	納入部品	構成部品	材料	化合物	...
1	X				
2	X	2			
3	X	2			

操作

◎ 削除対象行の選択、行削除

選択、行削除

(2) 構成材料・化学物質調査							
項目番号	1	3	4	5	6	7	8
<div>行複写</div> <div>行削除</div>	項目名称	納入部品			登録済区分		
		連番	納入部品名称	納入部品質量 [g/部品] <div>自動調整</div>	設計変更番号	構成番号	構成部品番号
	1	W/H		470.7	PEIS00001	1	
	2	W/H			PEIS00001	1	
	3	W/H			PEIS00001	2	18018403930
	4	W/H			PEIS00001	2	18018403930
	5	W/H			PEIS00001	2	18018403930
	6	W/H			PEIS00001	2	18018403930
	7	W/H			PEIS00001	2	18018403930
	8	W/H			PEIS00001	2	18018403930
	9	W/H			PEIS00001	2	18018403930
	10	W/H			PEIS00001	2	18018403934

行を選択し、「行削除」ボタンを押します。

◎ 行が削除される

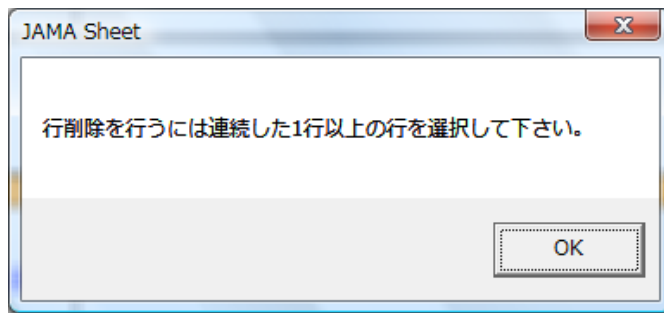
削除された結果

(2) 構成材料・化学物質調査				
項目番号	1	3	4	5
<div>行複写</div> <div>行削除</div>	項目名称	連番	納入部品質量 [g/部品] <div>自動調整</div>	設計変更番号
			納入部品名称	
	1	W/H		PEIS00001
	2	W/H		PEIS00001
	3	W/H		PEIS00001
	4	W/H		PEIS00001
	5	W/H		PEIS00001
	6	W/H		PEIS00001
	7	W/H		PEIS00001
	8	W/H		PEIS00001
	9	W/H		PEIS00001

連番が自動調整されています。

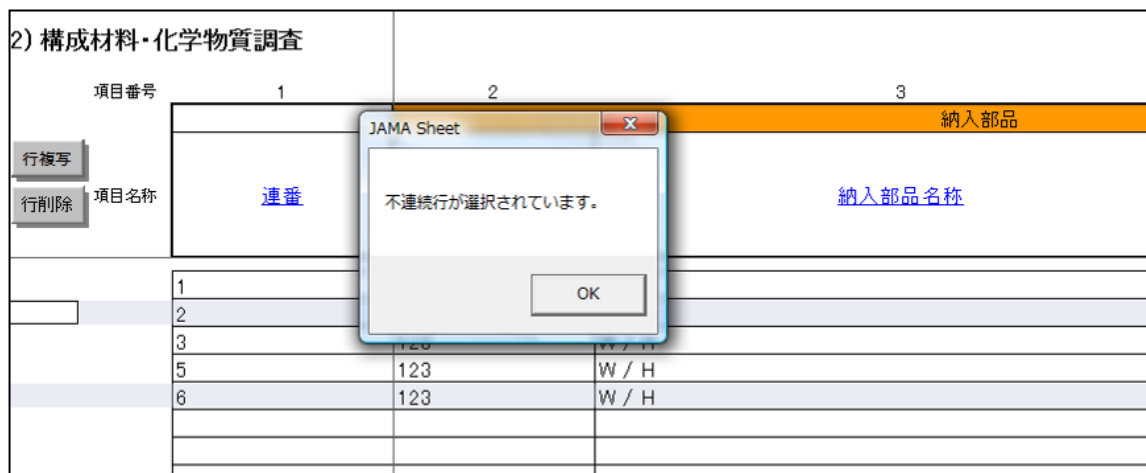
◎ エラーメッセージ

行が選択されていない場合



行が選択されていない場合はエラーメッセージが表示されます。

不連続行が選択されている場合



間の空いている複数行を選択している場合にもエラーメッセージが表示されます。

3.2.6 入力したデータに誤りがないか確認する(入力データのチェック)

入力が終了したら、「入力データのチェック」ボタンを押すことで、データの整合性のチェックを行うことができます。具体的には以下のようなデータの確認を行うことになります。

- 構成材料項目データの置換（バージョン 3.00 以降）
以下動作後の入力データのチェック初回時のみ、外部リストテーブルに従って構成材料項目データを置換
 - ・ JAMA シートの起動
 - ・ CSV ファイルの取り込み
 - ・ 一括クリア
- 各項目のデータ型のチェック
- ツリー構造の矛盾や親子間での質量不一致などのデータ整合性のチェック
- IMDS のエラー制御に準じたデータチェック

チェックが終了すると結果が「MESSAGE」シートに表示されます。問題がなければその旨が表示され、問題があればエラーや警告が一覧表示されます。表示形式は以下の通りです。

列A	列B
D35	[mes3:エラー] この項目は入力必須項目です。

エラー箇所

エラーコード
 [エラー番号：エラー/警告]
 (警告の場合は「警告」と表示)

エラーメッセージ

エラー箇所をクリックすることにより、入力帳票でエラーのある箇所にジャンプできます。

なお、警告の場合はエラーコードに「警告」と表示されます。この場合はデータに不備があることにはなりませんが、必要に応じて修正して下さい。一方データ入力上で不備があると判断されるのはエラーで、その場合にはエラーを解決する必要があります。

入力帳票では、エラー・警告の対象となったセルに色がついています。エラーの内容に応じて表示色が決まります。

データチェック処理は以下の順序で行われます。

- ① 各セルごとのエラーチェック(データ型、桁数など)
- ② 相互に関連するセルに矛盾がないか(納入部品とそれに含まれる構成部品の質量チェックなど)をチェック
その際、チェック①でエラーが発生した場合、チェック②は行わず、エラーチェック処理を終了します(パフォーマンス向上のため)。このため、一度目のエラーチェックで①のエラーが発生した場合、②のエラーがあったとしてもエラーメッセージは表示されません。

従って、エラーの原因を全て修正し、再度エラーチェックを行った後、初回とは異なるエラー(②のエラー)が表示される場合があります。その場合はエラーメッセージが表示されなくなるまで(エラーのみ。警告については必要に応じて)修正とエラーチェックを繰り返します。

例

材料質量に“A”と入力された入力帳票には以下の二つのエラーが含まれています。

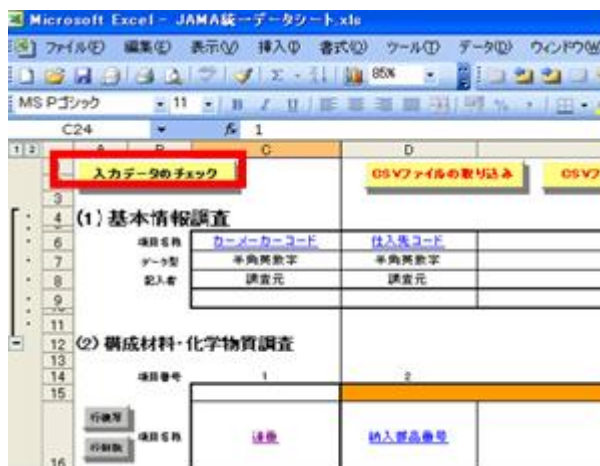
- | | |
|--------------------------|------------------|
| エラー1 材料質量に数字ではなく文字が入っている | (各セル毎のエラー) |
| エラー2 材料とその親部品の質量が一致しない | (相互に関連するセル間のエラー) |

このような場合、エラーチェックではエラー1のみが表示され、エラー2は表示されません。エラー1の原因を修正して初めてエラー2のチェックが行われ、修正前とは異なるエラーメッセージが表示されます。チェック処理中に「MESSAGE」シートの上にある「チェック中断」ボタンをクリックすると、チェックの途中で処理を中断させることができます。チェックが止まると、そこまでの間に検出されたエラーや警告が「MESSAGE」シートに表示されるため、その場で修正をすることができます。再度「入力データのチェック」ボタンを押すと、エラーチェックが最初から行われます。データや使用しているコンピューターによっては、ボタンを押してから実際にエラーチェックが止まるまでに数分かかる場合があります。

操作

◎ 「入力データのチェック」ボタンを押す

「入力データのチェック」ボタン



エラーチェック処理が開始されます。

◎ チェック結果の確認

MESSAGE シート

A	B	C
チェック中断	・ボタンを押してから実際にチェックが中断するまでに数分かかる事があります。	
R42	[mes17:エラー] 入力されている値がリストの値と合致しません。	
C43	[mes8:警告] 入力されていたデータを自動設定にて上書きしました。 化合物含有率(固定値)については、部工会オプションの化合物含有率 (最大値、最小値、残部)から自動設定されます。	
Q43	[mes26:エラー] 材料名称、材料規格、材料コード、材料記号、VDA材料分類の組み合わせがリストの 値と合致しません。	
Z43	[mes53:エラー] 化合物コード、化合物名称、Node IDの組み合わせが正しくありません。	
C44	[mes8:警告] 入力されていたデータを自動設定にて上書きしました。 化合物含有率(固定値)については、部工会オプションの化合物含有率 (最大値、最小値、残部)から自動設定されます。	
C45	[mes8:警告] 入力されていたデータを自動設定にて上書きしました。 化合物含有率(固定値)については、部工会オプションの化合物含有率 (最大値、最小値、残部)から自動設定されます。	
C46	[mes8:警告] 入力されていたデータを自動設定にて上書きしました。 化合物含有率(固定値)については、部工会オプションの化合物含有率 (最大値、最小値、残部)から自動設定されます。	

エラーが一覧表示されています。

MESSAGE シートの列 A がエラー箇所を表し、エラーのあるセルへのリンクになっています。

列Aのリンクをクリックすると入力帳票にジャンプします。

エラー一覧の表示順は行番号>列番号です。エラー一覧を並べ替えた場合でもリンク先は変更されません。

エラー行が複数の場合、エラー箇所の行(A, B, C...)>列(1,2,3...)の順に並び替えられています。

◎ エラーの修正

入力帳票へジャンプ

入力帳票にジャンプすると、エラーのあるセルが選択されており、同セルに色がついています。

エラーメッセージおよびエラー表示色を元にエラーの修正を行います。

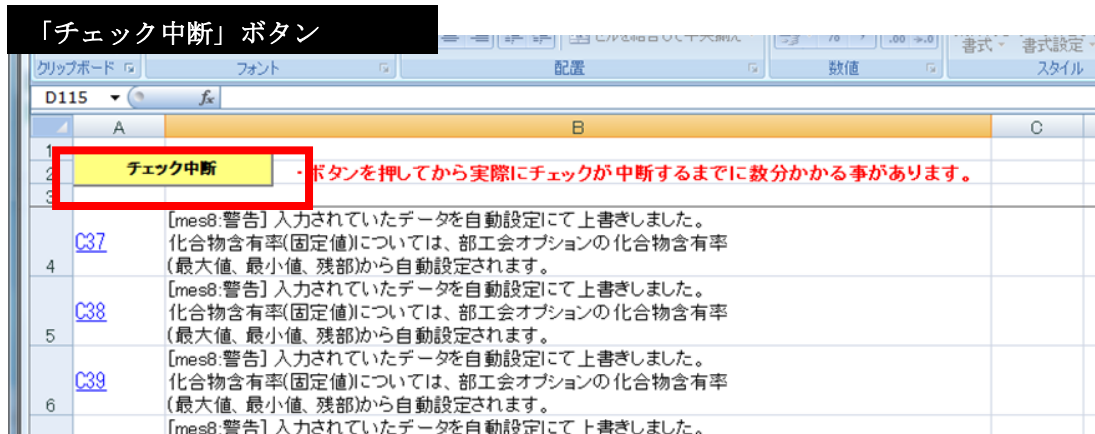
■ エラーチェック表示色に関する補足

エラーチェック表示色は以下の通りで、表示の優先順位は上位の方が高くなります。同一のセルに複数のエラーがある場合には上位の色が表示されることになります。

赤色	入力必須項目であるが、データが入力されていない
黄色	入力されたデータが正しくない (データ型の不一致、桁数が範囲を超える、数値が範囲を超える、選択リストにない等)
水色	データの入力位置が正しくない (例えば部品に対して入力すべきデータであるのに、材料に対して入力しているような場合)
青色	入力した数値の相関関係が正しくない
オレンジ色	他の行に同一品番のデータがあるが、入力されたデータが一致していない
緑色	上述以外のエラー
灰色	警告

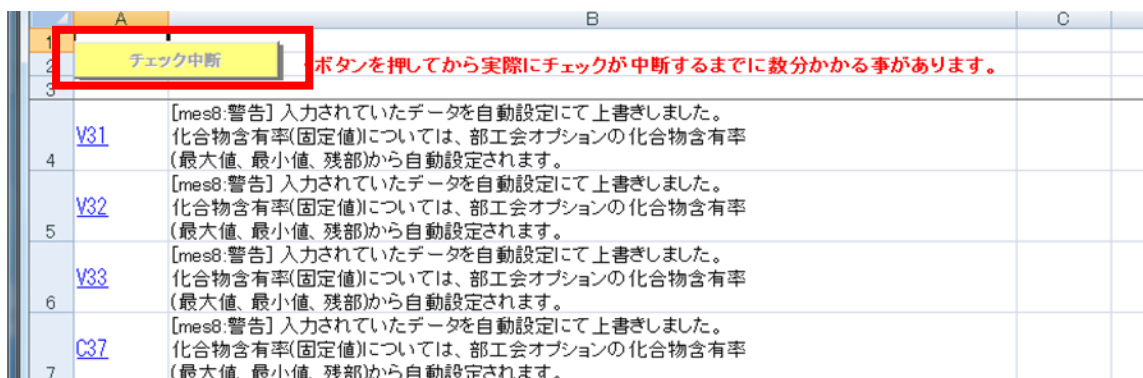
◎ 「チェック中断」 ボタンを押す

「入力データのチェック」 ボタンを押してエラーチェックが行われている途中に「チェック中断」 ボタンを押すことで、チェック処理の終了を待たずに中断させることができます。

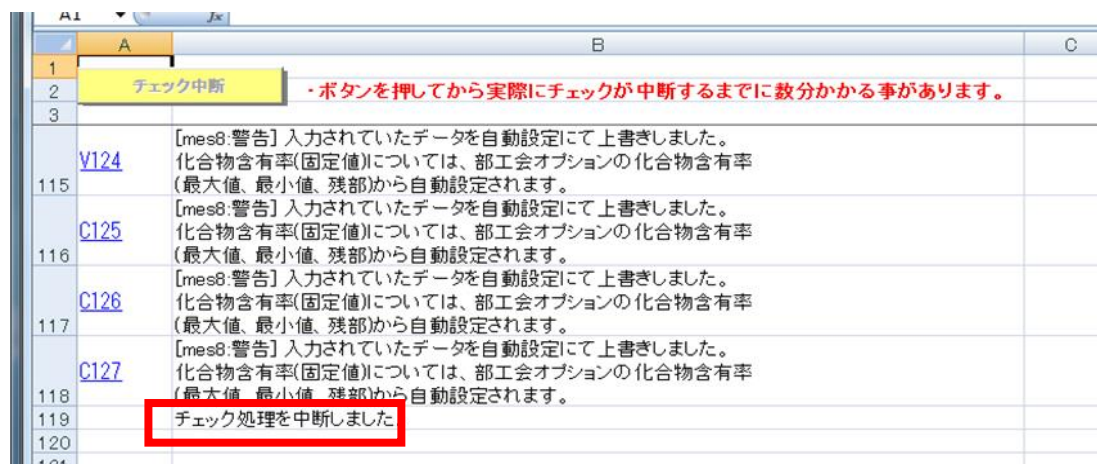


チェック処理中の状態によってはボタンが押せないタイミングもあります。

中断している間はボタンの文字がグレーに変わります。



中断すると、メッセージの最終行に「チェック処理を中断しました」と表示されます。



メッセージ一覧

[mes1:エラー]	少なくとも 1 文字の無効な文字があります。入力のは半角英数字で行って下さい。
[mes2:エラー]	文字の桁数が有効範囲を超えています。
[mes3:エラー]	この項目は入力必須項目です。
[mes7:エラー]	同一品番のデータは同じデータである必要があります。
[mes8:警告]	入力されていたデータを自動設定にて上書きしました。化合物含有率(固定値)については、部工会オプションの化合物含有率(最大値、最小値、残部)から自動設定されます。
[mes9:エラー]	末端の部品には必ず材料が必要です(ただし、登録済データは除く)。
[mes10:エラー]	同一品番のデータは同じ部品名称である必要があります。
[mes11:エラー]	この項目は同一部品につき最初の行のみ入力します。
[mes12:警告]	下位部品、下位材料の質量合計と納入部品質量/構成部品質量の差が最大偏差を超えています。
[mes14:エラー]	正の数値を入力して下さい。
[mes15:エラー]	同一品番のデータは同じ設計変更番号である必要があります。
[mes16:エラー]	構成部品番号と構成部品名称の少なくとも構成部品名称を入力する必要があります。
[mes17:エラー]	入力されている値がリストの値と合致しません。
[mes18:エラー]	同一品番のデータは同じデータである必要があります(ただし、構成部品数は除く)。
[mes19:エラー]	この項目には 1 以上の整数を入力して下さい。
[mes20:エラー]	納入部品の構成番号は 1 を入力して下さい。
[mes21:エラー]	構成に矛盾があります。(例:「2」の下に「4」がくるような、間があいていることはありません)
[mes22:エラー]	登録済区分が入力されている場合には、構成部品番号は入力必須項目です。
[mes23:エラー]	構成部品数量単位が"each"の場合には、構成部品数は正の整数を入力して下さい。
[mes24:エラー]	構成部品数量単位が"each"以外の場合には、構成部品数は正の数値を入力して下さい。
[mes25:エラー]	構成材料には必ず化合物の登録が必要です(ただし、支給材料は除く)。
[mes26:エラー]	材料名称、材料規格、材料コード、材料記号、VDA 材料分類の組み合わせがリストの値と合致しません。
[mes29:エラー]	構成材料情報のいずれかが入力されている場合には、この項目は入力必須項目です。
[mes30:エラー]	材料が複数の化合物を持つ場合には、その材料の全ての行に同じ材料名称が入力されている必要があります。
[mes31:エラー]	材料が複数の化合物を持つ場合には、その材料の全ての行に同じ材料商品名が入力されている必要があります。
[mes32:エラー]	材料が複数の化合物を持つ場合には、その材料の全ての行に同じ材料規格が入力されている必要があります。
[mes33:エラー]	コンマ(",")で始まる材料規格は無効です。
[mes34:エラー]	コンマ(",")で終わる材料規格は無効です。
[mes35:エラー]	コンマ(",")を連続して入力したり、コンマ(",")とコンマの間にスペースを入力することはできません。
[mes36:エラー]	VDA 材料分類が 1.x~4.x の場合には、材料コードは入力必須項目です。
[mes37:エラー]	材料が複数の化合物を持つ場合には、その材料の全ての行に同じ材料コードが入力されている必要があります。
[mes39:エラー]	ワイルドカード(\$)には適切な文字列を入力する必要があります。(空白文字は利用できません)
[mes40:エラー]	ワイルドカード(@)には適切な文字列を入力するもしくはワイルドカード(@)を削除する必要があります。(空白文字は利用できません)
[mes41:エラー]	VDA 材料分類が 5.x の場合には、材料記号は入力必須項目です。

[mes42:エラー]	材料が複数の化合物を持つ場合には、その材料の全ての行に同じ材料記号が入力されている必要があります。
[mes44:エラー]	構成材料情報のいずれかが入力されている場合には、この項目は入力必須項目です。
[mes45:エラー]	材料が複数の化合物を持つ場合には、その材料の全ての行に同じ VDA 材料分類が入力されている必要があります。
[mes47:エラー]	化合物が入力されている場合には、この項目は入力必須項目です。
[mes48:エラー]	化合物が入力されていない場合またはワイルドカードが指定されている場合には、この項目は入力不可です。
[mes53:エラー]	化合物コード、化合物名称、Node ID の組み合わせが正しくありません。
[mes54:エラー]	化合物情報のいずれかが入力されている場合には、化合物含有率と化合物含有量の少なくともどちらか一方は入力必須項目です。
[mes55:エラー]	同一の材料内に同じ化合物を複数登録することはできません。
[mes56:エラー]	CAS ナンバーの形式が正しくありません。
[mes57:エラー]	リストにない化合物を手入力する場合には、化合物コードに「Not found:XXXX-XX-X(CAS No.)」は入力必須項目です。
[mes58:警告]	部工会オプシオンの化合物含有率(最大値、最小値、残部)から化合物含有率が自動設定されました。
[mes59:エラー]	1 材料あたりの化合物含有率の合計は 100%でなければなりません。
[mes60:警告]	1 つまたは複数のワイルドカード物質の合計(または合計の最大値)が 10%を超えています。
[mes61:エラー]	0 より大きく 100 以下の値を指定して下さい。
[mes64:エラー]	市場回収リサイクル材の割合と工程内リサイクル材の割合の合計が 100%を超えています。
[mes65:エラー]	工程内リサイクル材の最小値が最大値を超えています。
[mes66:エラー]	市場回収材の最小値が最大値を超えています。
[mes67:エラー]	VDA 材料分類が 1.x、2.x、3.x、4.x、5.x、7.1、7.2 の場合には、この項目は入力必須項目です。
[mes68:エラー]	この項目は同一材料につき最初の行のみ入力します。
[mes69:エラー]	0 以上 100 以下の値を入力して下さい。
[mes70:エラー]	部品が以下のような材料を含む場合には、この項目は必須になります。1)材料分類 5.1.x、5.4.x、5.5.x の合計質量が 100g を超える樹脂材料または 2)材料分類 5.2、5.3 の合計質量が 200g を超えるゴム材料
[mes72:エラー]	この項目で入力可能な値は、“Y”または“N”または“N/A”です。
[mes74:エラー]	アプリケーションを指定して下さい。
[mes75:エラー]	化合物と材料の組み合わせに対して、このアプリケーションは無効です。
[mes76:エラー]	この化合物に対してはアプリケーションを入力する必要はありません。
[mes77:エラー]	正しいフォーマット(Module ID/Ver.)で入力して下さい。
[mes78:エラー]	同一品番のデータは同じ Module ID である必要があります。
[mes79:エラー]	化合物含有率の最小値が最大値を超えている、もしくは等しくなっています。
[mes80:エラー]	同一品番のデータは同じ構成部品数量単位である必要があります。
[mes81:エラー]	材料が複数の化合物を持つ場合には、その材料の全ての行に同じ調査元材料記号が入力されている必要があります。
[mes82:エラー]	材料が複数の化合物を持つ場合には、化合物含有率の残部は一つしか指定できません。
[mes83:エラー]	この項目は化合物の行にのみ入力可能です。
[mes84:エラー]	リストにない化合物を手入力する場合には、Node ID[化合物]は入力不可です。
[mes85:エラー]	正しい日付のフォーマット(YYYY/MM/DD)で入力して下さい。
[mes101:エラー]	化合物を入力する場合には材料が必須です。
[mes102:エラー]	登録済区分=2.3 の場合には、その部品は末端部品である必要があります。
[mes103:エラー]	登録済区分=1 の場合には、参照元のデータがシート内にある必要があります。
[mes104:エラー]	この項目には「*」「/」の指定は出来ません。
[mes105:エラー]	「*」「/」が指定されている項目にデータを入力しています。

[mes106:警告]	空白行以降にデータが存在します。
[mes107:エラー]	この項目は納入部品に対しては入力できません。
[mes108:エラー]	この項目は材料に対してのみ入力可能です。
[mes109:エラー]	同一品番のデータは同じ構成部品数量である必要があります。
[mes110:エラー]	残部の値は“1”のみ有効です。
[mes111:エラー]	納入部品の構成番号は 1 を入力して下さい。
[mes112:エラー]	範囲値(化合物最小値、最大値)が入力されている場合には残部の指定はできません。
[mes113:警告]	含有率の範囲値の差が許容値を越えてはなりません。
[mes114:エラー]	材料が複数の化合物を持つ場合には、その材料の全ての行に同じ社内材料コードが入力されている必要があります。
[mes115:警告]	材料-化合物情報が外部リストの内容と一致していません。値を削除しました。
[mes116:エラー]	同一レベルの部品内に同じ Node ID[材料]を複数登録することはできません。
[mes119:警告]	化合物を入力していない行のため、プロセスケミカルが存在形態を自動削除しました。
[mes120:警告]	入力した化合物はプロセスケミカルではないため、プロセスケミカルが存在形態を自動削除しました。
[mes121:エラー]	プロセスケミカルが存在形態には 1、2、3 のいずれかを入力して下さい。
[mes122:エラー]	入力した化合物はプロセスケミカル(一般的に、製造工程の中で揮発したり、他の化合物に変化したりする化合物)のため、プロセスケミカルが存在形態を入力する必要があります。
[mes123:警告]	不要な半角スペースを削除しました。
[mes125:警告]	材料規格/材料コード/材料記号/再生材使用率(市場回収率)/化合物(NodeID と含有率の組み合わせ)が同じ材料が、同一構成部品に 2 つ以上追加されています。1 つにまとめるべきかもう一度確認して下さい。
[mes126:警告]	同一レベルに部品と材料が配置されています。必要に応じ、材料の上位に形式的なダミー部品を追加設定してください。
[mes127:エラー]	既存材料(Node ID[材料]欄に値が入っている)ではない場合、全ての GADSL 記載物質を申告したことを確認して、“1”と記入ください。
[mes128:警告]	既存材料(Node ID[材料]欄に値が入っている)であるか、または、材料先頭行でないため、値を自動削除しました。
[mes129:警告]	有効な Joker に置換しました
[mes130:エラー]	殺生物目的を指定してください。
[mes131:警告]	Node ID[化合物]に値が入っていないか、殺生物目的の指定が不要である化合物であるため、値を自動削除しました。
[mes132:警告]	VDA 材料分類が 5.x または 6.x ですが、添加剤が指定されていません。
[mes201:エラー]	外部リストファイルが見つかりません。JAMA 統一データシートと同じフォルダに外部リストファイルを置いて下さい。
[mes203:エラー]	外部リストファイルの読み込みに失敗しました。ファイルが正しいかどうか確認して下さい。
[mes204:エラー]	未登録の外部リストです。外部リストのバージョンを確認して下さい。
[mes205:エラー]	外部リストの有効期限が過ぎています。調査元会社へ確認して下さい。
[mes206:エラー]	JAMA シートに登録されている外部リスト情報の形式が誤っています。

3.2.7 入力したデータを削除する(一括クリア)

「一括クリア」ボタンを押すことで、入力帳票に入力した全ての値を削除することができます。なお、表紙シートの値は削除されません。

操作

◎ 「一括クリア」ボタンを押す

「一括クリア」ボタン

The screenshot shows the top part of the data entry sheet. At the top, there are tabs: '入力データのチェック', 'CSVファイルの取り込み', 'CSVファイルの出力', 'XMLファイルの出力', and '一括クリア'. The '一括クリア' button is highlighted with a red rectangle. Below the tabs, there are two main sections: (1) 基本情報調査 and (2) 構成材料・化学物質調査. Section (1) contains fields for 'カーメーカーコード', '仕入先コード', '仕入先名', '回答期限', and '回答日'. Section (2) contains a table for '納入部品' with columns for '連番', '納入部品番号', '納入部品名称', '納入部品質量', '設計変更番号', and '登録済区分'.

「入力された全ての値を削除します。よろしいですか?」というメッセージが表示されます。

入力帳票シート

The screenshot shows the same data entry sheet as before, but with a confirmation dialog box displayed in the center. The dialog box has the title 'Microsoft Excel' and the message '入力された全ての値を削除します。よろしいですか?' (Delete all entered values. Is it okay?). There are two buttons: 'はい(Y)' (Yes) and 'いいえ(N)' (No). The '一括クリア' button is still highlighted in red.

「はい」を選択すると、入力帳票の値が削除されます。

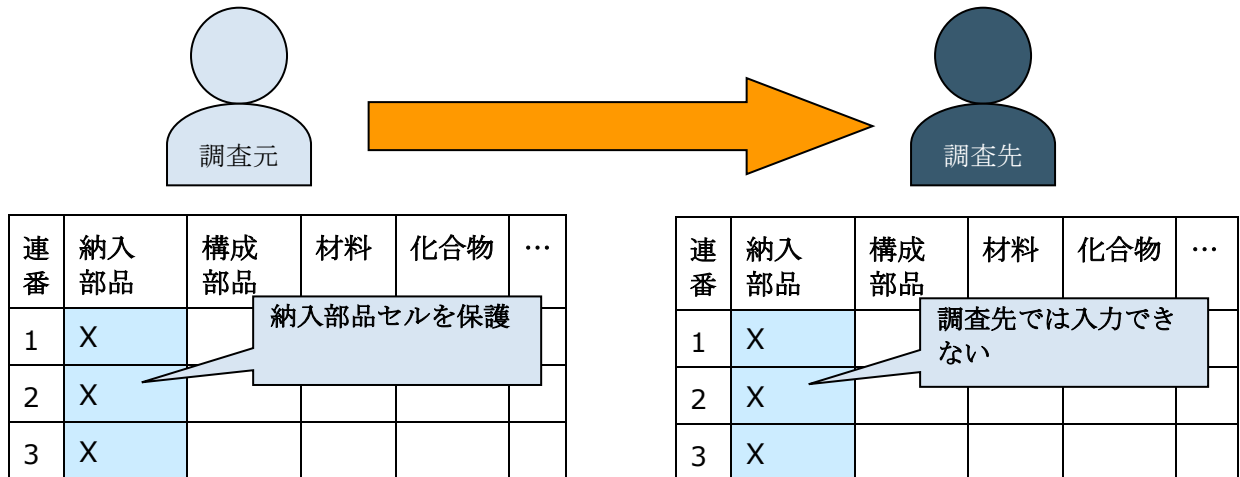
The screenshot shows the data entry sheet after the '一括クリア' button has been pressed. The data in the tables has been cleared. The '一括クリア' button is still highlighted in red, and a new '入力保護' (Input Protection) button has appeared next to it.

3.2.8 入力したデータが変更されないよう保護する(入力保護)

「入力保護」ボタンは入力したデータを保護し、他者が変更できないようにする機能です。

例

調査元が入力した内容を調査先で変更できないよう保護する



入力保護はセル単位で行います。

保護できるセルは納入部品または部品構成のセルのみです。

保護はユーザーが指定するパスワードで行います。「保護解除」ボタンを押して正しいパスワードを入力すると保護を解除できます。その際、パスワードには8～12文字の英数字を指定する必要があります。

「入力保護」ボタンを押すとパスワード入力ボックスが表示されます。

「入力保護」ボタンはシートに入力保護が施されると「保護解除」ボタンとなります。

「保護解除」ボタンを押すとパスワード入力ボックスが表示されるので、正しいパスワードを入力することにより保護が解除されます。

複数のセルを保護することも可能です。その場合は対象のセルを全て選択してから「入力保護」ボタンを押します。複数のセルを保護した場合でも、1回の解除作業で全てのセルの保護が解除されます。

行複写を行った場合、複写された内容(調査元が入力したセル内容)も保護がかけられます。行複写については66ページ「行をコピー・挿入する(「行複写」ボタン)」をご参照ください。

操作

◎ 保護対象セルを選択

入力帳票

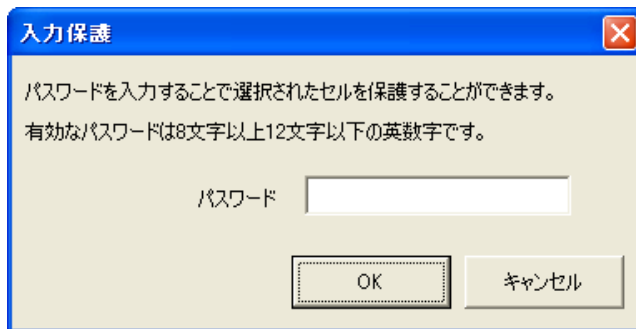
The screenshot shows the JAMA/JAPIA data entry form. The 'Input Protection' button is highlighted in red in the top right corner. The form is divided into several sections: (1) Basic Information Survey, (2) Component Material/Chemical Substance Survey, and (3) Component Survey. The 'Input Protection' button is located in the top right corner of the form.

項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8
項目名	連番	納入部品番号	納入部品名称	納入部品重量 [g/部品]	設計家番号	家録簿 区分	構成番号	構成部品番号
データ型	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
桁数(小数)	9	25	80	9	10	2	2	25
	0	0	0	0	0	0	0	0
1	a	A		1		1		
2	a	A				2	1	B
3	a	A				2	1	B

納入部品または部品構成のセルを選択し、「入力保護」ボタンを押します。

◎ パスワードの設定

パスワードの設定画面



The dialog box titled '入力保護' (Input Protection) has a blue header bar with a close button (X) on the right. The main area is light beige. It contains the following text: 'パスワードを入力することで選択されたセルを保護することができます。' (You can protect the selected cells by entering a password.) and '有効なパスワードは8文字以上12文字以下の英数字です。' (A valid password is 8 to 12 alphanumeric characters). Below this is a text input field labeled 'パスワード' (Password). At the bottom are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

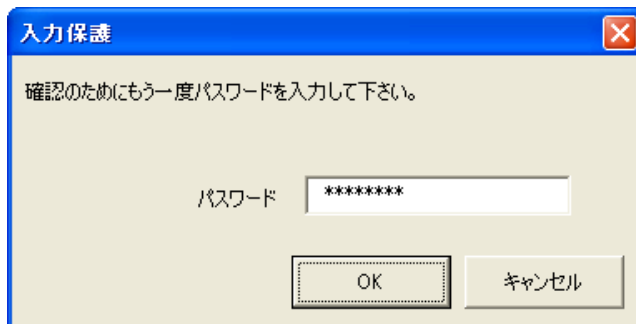
「入力保護」ボタンを押すと「入力保護」画面が表示されます。この画面にパスワードを入力し、「OK」を押します。

パスワードは 8 文字以上 12 文字以下の英数字を設定します。この条件を満たさないパスワードが入力されるとエラーメッセージが表示されます。

パスワードは大文字と小文字を区別します。

◎ パスワードの再入力

入力保護



The dialog box titled '入力保護' (Input Protection) has a blue header bar with a close button (X) on the right. The main area is light beige. It contains the following text: '確認のためもう一度パスワードを入力して下さい。' (Please enter the password again for confirmation.). Below this is a text input field labeled 'パスワード' (Password) containing seven asterisks (*****). At the bottom are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

パスワード入力を確実にするために同じパスワードを再度入力し、「OK」を押します。

1 回目と 2 回目でパスワードが違う場合にはエラーメッセージが表示されます。

◎ 保護の完了

入力帳票

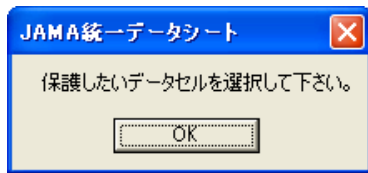
The screenshot shows the JAMA/JAPIA unified data sheet interface. The 'Input Protection' button is highlighted in a red box. The interface includes a menu bar with options like 'Font', 'Layout', 'Value', 'Style', 'Cell', and 'Edit'. The main area is divided into sections for data entry, including 'Basic Information Survey' and 'Material/Chemical Survey'. The 'Input Protection' button is located in the top right corner of the main area.

入力保護が完了すると、JAMA/JAPIA 統一データシート内の「入力保護」ボタンは「保護解除」ボタンとなります。これで入力保護は完了です。

すでに入力保護を施している状態でさらに別のセルを追加で保護したい場合には、一度保護を解除してから再度入力保護を行う必要があります。

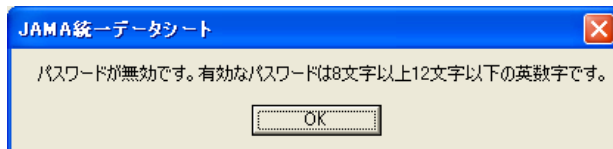
◎ エラーメッセージ

入力保護できないセルが選択されている場合



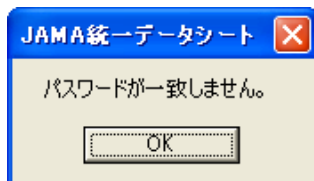
入力保護できないセルが選択されている状態で「入力保護」ボタンを押すとエラーメッセージが表示されます。

無効なパスワードが入力された場合



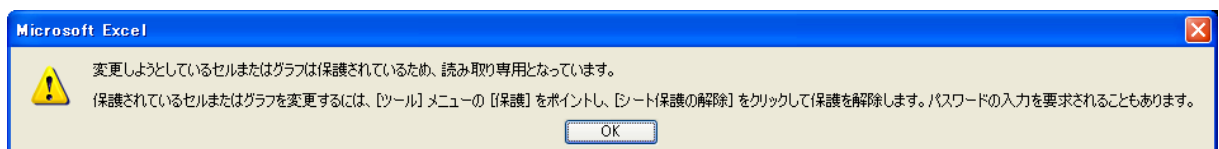
パスワードは 8 文字以上 12 文字以下の英数字ですが、このルールに反する無効なパスワードを入力するとエラーメッセージが表示されます。

1 回目と 2 回目でパスワードが一致しない場合



2 回目のパスワード入力時に間違ったパスワードを入力するとエラーメッセージが表示されます。

入力保護がかけられているセルを編集しようとした場合



パスワードの入力が完了すると、選択されたセルはロックされます。ロックされたセルに対してはデータの書き込みを行うことはできず、エラーメッセージが表示されます。

◎ 保護の解除

「保護解除」ボタン

The screenshot shows a spreadsheet interface with various tabs and data entry fields. A red box highlights the '保護解除' (Protection Release) button located in the top right corner of the spreadsheet area.

入力保護を解除したい場合は、「保護解除」ボタンを押します(保護されたセルを選択しておく必要はありません)。

◎ パスワードの入力

「保護解除」画面

The screenshot shows a dialog box titled '保護解除' (Protection Release). It contains the text '入力保護を解除するためのパスワードを入力して下さい。' (Please enter the password to release input protection.) and a password input field with the text '*****'. Below the input field are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

入力保護の際に設定したパスワードを正確に入力し、「OK」を押します。

保護解除する際、パスワードの入力を間違えるとエラーメッセージが表示されます。ただし、何度間違っても JAMA/JAPIA 統一データシートが操作できなくなるようなことはありません。

◎ 解除後の画面

入力帳票

The screenshot shows the '入力帳票' (Input Form) in the JAMA/JAPIA unified data sheet application. The '入力保護' (Input Protection) button is highlighted with a red box. The form is divided into two main sections: (1) 基本情報調査 (Basic Information Survey) and (2) 構成材料・化学物質調査 (Constituent Materials/Chemical Substances Survey).

(1) 基本情報調査

項目名	カーネーコード	仕入先コード	仕入先名	顧客属性	顧客日
データ型	半角英数字	半角英数字	半角英数字	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD
記入者	調査元	調査元	調査元	調査元	調査元

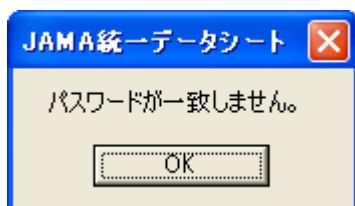
(2) 構成材料・化学物質調査

項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8
項目名	連番	納入部品番号	納入部品名称	納入部品質量 (g/部品)	設計変更番号	家族法区分	構成番号	構成部品番号
データ型	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
桁数(整数)	8	28	80	9	10	2	2	28
桁数(小数)	0	0	0	0	0	0	0	0

入力保護が解除され、JAMA/JAPIA 統一データシートの「保護解除」ボタンは「入力保護」ボタンに戻ります。

◎ エラーメッセージ

パスワードが誤っている場合



保護解除の際、誤ったパスワードを入力するとエラーメッセージが表示されます。

4 データを出力する

この機能を使うと、JAMA/JAPIA 統一データシートの情報を CSV ファイルもしくは XML ファイルで出力することができます。

主な用途は以下の通りです。

4.1.1 CSV ファイルの出力

■ 「CSV ファイルの出力」ボタン

このボタンを使用すると、JAMA/JAPIA 統一データシートの内容を CSV ファイルへ出力することができます。CSV ファイルへ出力する際に、JAMA/JAPIA 統一データシートの内容に付加情報が加えられて最終的な CSV ファイルが完成されます。

各データは「」（ダブルクォーテーション）にて囲まれます。

各データの区切り文字には「,」（コンマ）を使用します。

CSV ファイルで出力したファイルを Excel で開いて保存すると自動的にダブルクォーテーションの削除等が行われるため、JAMA/JAPIA 統一データシート上に再度取り込むことができなくなります。

データのレイアウトは以下の通りです。

- 1 行目 データ識別子「C」、「帳票のバージョン」、「変換日付」、「エラーチェック結果」、「調査元固有情報」、「外部リストファイル名」
- 2 行目 データ識別子「H」、「基本情報調査(調査元情報)」の内容
- 3 行目以降 データ識別子「D」、「納入部品、構成部品、構成材料、化合物、リサイクル、その他、部工会オプション」の内容
- 「納入部品、構成部品、構成材料、化合物、リサイクル、その他、部工会オプション」項目の並びは JAMA/JAPIA 統一データシートに準じます。

CSV ファイル出力イメージ

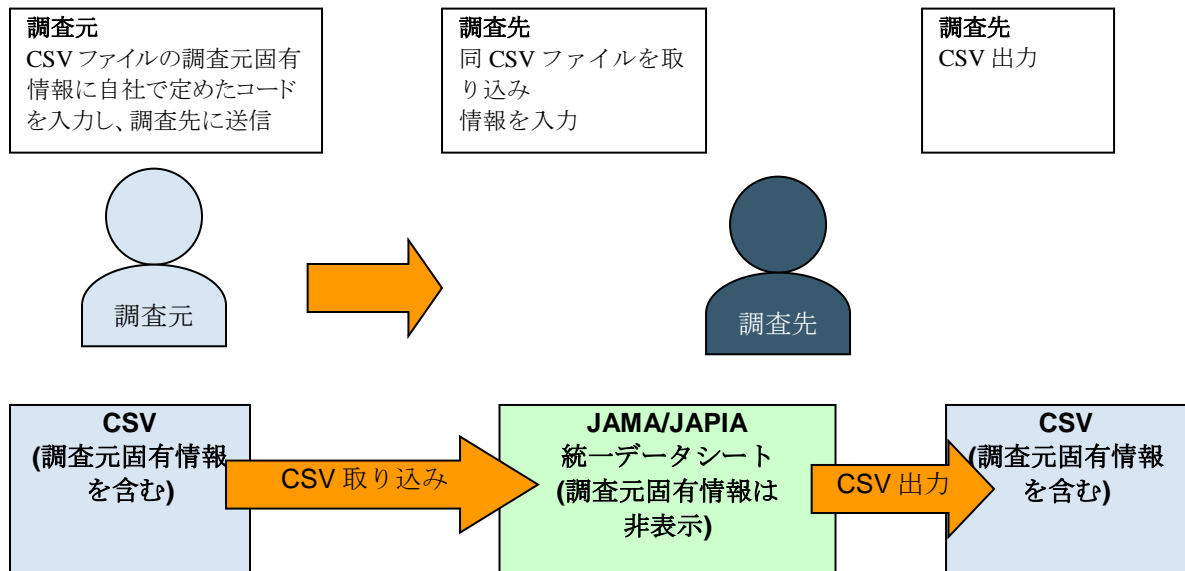
```
"C","Ver.2.31","2015/06/30","正常終了",""," EXLIST-2015-06-01JP.xlsx"
"H","1234","0001","2014/12/05","2014/11/30"
"D","1","1234568980","ASSY","100","S123-23","","1","","",…(省略)
"D","2","1234568980","ASSY","","S123-23","","2","1111111111",…(省略)
"D","3","1234568980","ASSY","","S123-23","","2","1111111111",…(省略)
"D","4","1234568980","ASSY","","S123-23","","2","1111111111",…(省略)
```

※Ver.2.21 までは外部リストファイル名称の拡張子は.xls、Ver.2.30 より拡張子は.xlsx となっています。

■ 調査元固有情報について

1 行目 5 カラム目の「調査元固有情報」は値が入っておらずダブルクォーテーションマークのみ(“)が記述されている場合があります。値が入るのは「調査元固有情報」がされた **CSV ファイルを取り込み、JAMA/JAPIA 統一データシート上で情報を入力し、その情報を CSV 出力した場合**です。

例



CSV ファイルの取り込みについては99ページ「他社からのデータを取り込む(CSV ファイルの取り込み)」をご覧ください。

■ 外部リストファイル名について

1 行目 6 カラム目の「外部リストファイル名」は CSV 出力時のエラーチェックに使用された外部リストのファイル名が記述されます。外部リストが存在しないときに CSV 出力を行った場合は“Not Found”と記述されます。

操作

◎「CSV ファイルの出力」ボタンを押す

表紙

260

261 (3) 入力データのエラーチェックをします。

262 ・入力画面の[入力データのチェック]をクリックすると、エラーチェックが行われます。

263 エラーチェックが完了すると、「エラーはありません」と表示されます。

264 ・全てのエラーを解消しないと、調査元へ報告することができません。

265 【注】エラーチェックは入力形式のチェックを実施するものです。

266 入力内容によっては、エラーがなくても、調査元から確認される場合があります。

267 (例) 報告した品番が調査元の品番ではない場合

268 実際の製品に含有する材料・化合物が入力データと一致しない場合 など

269

270

271 (4) 調査元へ提出します。

272 下記の方法で、入力した本帳票を提出して下さい。

273 ・CSVファイルにて提出する場合は、こちらのボタンをクリックして下さい。 →

274 CSVファイルを作成することができます。

275

276 ・IMDSにアップロードする場合は、こちらのボタンをクリックして下さい。 →

277 XMLファイルを作成することができます。

278 XMLファイルを、IMDSにアップロードして下さい。

279 なお、IMDSへのアップロードには、各社にてDXC Technology (旧日本ヒューレット・パッカード株式会社)とのIMDS-AI利用契約が必要になります。

280 ・提出方法は調査元の指示に従って下さい。

281

282 <調査元情報 (調査結果提出先)>

表紙 Cover 封面 (+)

C24

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

A B C D E F G H I

1 入力データのチェック CSVファイルの取り込み CSVファイルの出力 XMLファイルの出力 一括クリア

2

3

4 (1) 基本情報調査

5 項目名称 カレーメーカーコード 仕入先コード 仕入先名 回答期限 回答日

6 データ型 半角英数字 半角英数字 半角英数字 YYY/MM/DD YYY/MM/DD

7 記入者 調査元 調査元 調査元 調査元 調査元

8

9

10

11

12 (2) 構成材料・化学物質調査

13 項目番号 1 2 3 4 5 6 7

14 行番号 項目名称 連番 納入部品番号 納入部品名称 納入部品質量 [g/部品] 設計変更番号 登録済区分 構成番号

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

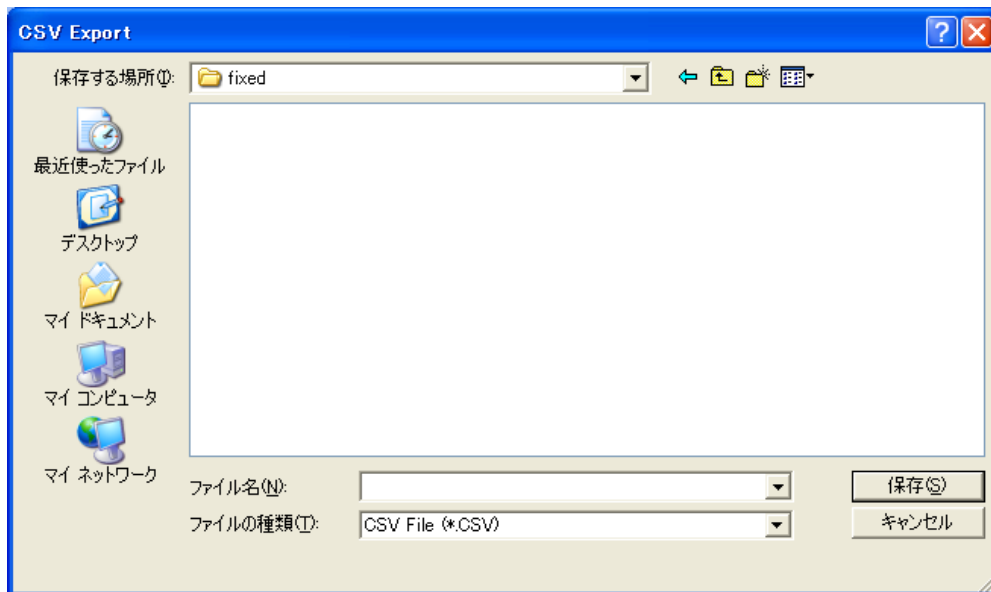
27

28

「CSV ファイルの出力」ボタンは「表紙」シートと「入力帳票」シートにあります。

◎ ファイル名・保存先の決定

CSV ファイル出力画面



この操作の直前に CSV ファイルを取り込み、または出力していた場合、その際に使用した CSV ファイルが保存されているフォルダ、および同じファイル名が自動的に選択されています(「一括クリア」ボタンを使用した場合はフォルダ名のみ)。直前に取り込み・出力を行っていない場合は、JAMA/JAPIA 統一データシート本体と同じフォルダとファイル名が表示されます。

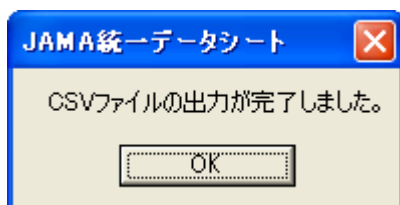
CSV ファイル出力画面にてファイル名・保存先を決定し、「保存」を押します。

自動的にエラーチェック、ファイルの出力が行われるので、完了まで待ちます。

既に出力先フォルダに同名のファイルが存在している場合は、ファイルの上書きに対する警告が表示されます。

◎ 処理の完了

メッセージ



処理の完了を知らせるメッセージが表示されるので「OK」を押します。

その後は出力先として指定したフォルダを開けば CSV ファイルが利用できます。

◎ エラーチェック

- 「CSV ファイルの出力」ボタンを押すと、ファイルの出力前に強制的にデータチェックが行われます。従って、調査元が CSV ファイル出力機能を利用する際には多数のエラーが表示されることとなりますが、ファイルそのものは出力されます(調査元が全てのデータを入力するわけではないため)。

- CSV ファイルへの出力は事前のエラーチェックの有無に関わらず可能ですが、「エラーチェック結果」によってデータチェックの状況を記述します。内容は以下の通りです。
 - 正常終了 データチェックを行い、何もエラーがなかった場合
 - 正常終了(警告あり) データチェックを行い、警告があった場合
 - エラーあり データチェックを行い、エラーが 1 件でもあった場合

4.1.2 XML ファイルの出力

■ 「XML ファイルの出力」ボタン

「XML ファイルの出力」ボタンを押すことで、JAMA/JAPIA 統一データシートの内容を XML ファイルとして出力します。

この XML ファイルは IMDS へのデータアップロードに利用可能なファイルで、IMDS アップロードインターフェースで定義された書式に整形されます。これにより、JAMA/JAPIA 統一データシートの情報を IMDS に直接登録することができます。

この機能は、IMDS データアップロード用 DTD に従った XML ファイルを生成します。

なお、この機能を使用して作成したデータを IMDS に直接取り込むためには、別途 DXC Technology と IMDS-AI のライセンス契約を結ぶ必要があります。

!! 重要 !!

■ フィールドの対応関係

基本的に JAMA/JAPIA 統一データシートのフィールドは IMDS の同名フィールドに対応していますが、XML ファイル作成の際、以下のフィールドは例外的に処理されます。これは IMDS の規則に則ったもので、IMDS の「備考」欄は JAMA/JAPIA 統一データシートの「構成材料名称」が入力され、IMDS の材料「名称」欄には JAMA/JAPIA 統一データシート上では見えない「IMDS 登録名称」の値が入力されます。

※ 外部リスト上であらかじめ定められた値が自動的に設定されます。

※ 外部リスト上で IMDS 材料名称が設定されていない場合や、そもそも外部リストにない材料を手入力した場合には、その材料の材料分類に応じて材料記号(材料分類が 5.x,6.x)または材料コード(材料分類が 5.x,6.x 以外)が IMDS の材料「名称」として設定されます。

■ 3 行目に出力される値

3 行目には「帳票のバージョン」、「変換日付」、「エラーチェック結果」を出力します。

■ 4 行目に出力される値

4 行目には XML 出力時のエラーチェックに使用された外部リストのファイル名が記述されます。外部リストが存在しないときに XML 出力を行った場合は<!-- Not Found-->と記述されます。

JAMA/JAPIA 統一データシート でのフィールド		IMDS でのフィールド
構成材料名称	→	備考
(IMDS 登録名称※)	→	名称

■ Node ID[部品]が入力されていた場合

部工会オプションの Node ID が入力されていた場合は、XML ファイル作成時にその ID を参照します。この場合、Node ID が入力された部品の下位部品が記述されていても上位部品が優先され、下位部品の Node ID は XML ファイル上には記述されません。

- **Node ID[部品]または Node ID[材料]が入力されていない場合**
 元々**Node ID**を入力していない場合や入力されていた**Node ID[材料]**がエラーチェックなどによって削除された場合、**IMDS**上にアップロードされると新しいデータとして登録され、新しい**Node ID**が割り当てられます。材料のエラーチェックによる**Node ID[材料]**の削除については39ページ「主なエラーチェック項目」をご参照ください。
 なお、外部リストファイルと全く同一構成の材料であっても、**Node ID[材料]**が空欄の場合は外部リストとは異なる新しい材料として**IMDS**にアップロードされます。
- **Node ID[材料]が入力されていた場合(外部リストからの参照)**
 部工会オプションの**Node ID[材料]**が入力されていた場合は、**XML**ファイル作成時にその**ID**を参照します。この場合、材料のワイルドカードを手入力で置き換えても無視されます。
- **複数の材料規格の入力(外部リストからの参照)**
 材料を外部リストから参照した場合、その材料に複数の材料規格が指定されている場合があります(材料の検索時には複数の行として表示されます)。このような材料は全ての材料規格を含めた状態で**IMDS**上に登録されているため、どの材料規格を選択しても結果的には全ての材料規格を含む材料を参照することになります。
- **複数の材料規格の入力(追記・編集)**
 外部リストから読み込んできた材料に対して材料規格をカンマ区切りで複数入力(追記)した場合および材料規格を編集した場合は、その時点で外部リストの材料とは異なるものとみなされ、エラーチェックのタイミングで**Node ID[材料]**が削除されます。その結果、全ての材料規格が**XML**ファイル上に記述された形で新しい材料データとして**IMDS**にアップロードされることになります。
- **Node ID[材料]が入力されていた場合(手入力)**
 部工会オプションの**Node ID[材料]**が手入力されていた場合は、**XML**ファイル作成時にその**ID**を参照します。この場合、外部リストに記載されている材料とは別にあらかじめ**IMDS**に登録されている材料としてアップロードされます。
- **化合物情報を含む材料を選択した場合**
 外部リスト内の材料と同じ組成の材料を記述したとしても、化合物の並び順が外部リストと異なるのであれば、エラーチェック時に**Node ID[材料]**の値が削除され、**XML**ファイル出力時に新規材料とみなされます。このため、**IMDS**上に新しい材料としてアップロードされます。
- **「XML ファイルの出力」画面における「ステータス」の意味**
XMLファイルの出力時に表示される画面で「ステータス」に「編集モード」を選択した場合は、**IMDS**にアップロードした後に画面上でデータの確認・編集が可能です。
 一方「送信」を選択した場合は、**IMDS**に正常にアップロードされたと同時に送信先企業にデータが送信されますのでご注意ください。なお、**XML**ファイルを**IMDS**にアップロードしない限りはデータは送信されません。
- **“not yet specified”化合物について**
IMDSのレコメンデーション 001 に関連し、材料中に“not yet specified”(ワイルドカード)が含まれていた場合は、<Module>の中に“DevSampleRep=“Yes””が自動的に記載されます。
 “DevSampleRep=“Yes””が記載された**XML**ファイルを**IMDS**へアップロードすると、“not yet specified”の直上の材料が、「デベロップメントサンプルレポート」として**IMDS**へ登録されます。

操作

◎ 「XML ファイルの出力」ボタンを押す

表紙 / 入力帳票シート	
272	下記の方法で、入力した本帳票を提出して下さい。
273	・ GSVファイルにて提出する場合は、こちらのボタンをクリックして下さい。 → GSVファイルの出力
274	GSVファイルを作成することができます。
275	
276	・ IMDSにアップロードする場合は、こちらのボタンをクリックして下さい。 → XMLファイルの出力
277	XMLファイルを作成することができます。
278	XMLファイルを、IMDSにアップロードして下さい。
279	なお、IMDSへのアップロードには、各社にてDXC Technology (旧日本ヒューレット・パッカード株式会社)とのIMDS-A利用契約が必要に

The screenshot shows a spreadsheet interface with several tabs. The 'XMLファイルの出力' (XML File Output) button is highlighted with a red box. Below the tabs, there are sections for basic information and material/chemical investigation. The '基本情報調査' (Basic Information Survey) section includes fields for project name, date, and input date. The '(2) 構成材料・化学物質調査' (2) Constituent Materials / Chemical Substances Survey section includes a table for material details with columns for material name, quantity, and design change status.

「XML

ファイルの出力」ボタンは「表紙」シートと「入力帳票」シートにあります。

◎ XML 情報を入力する

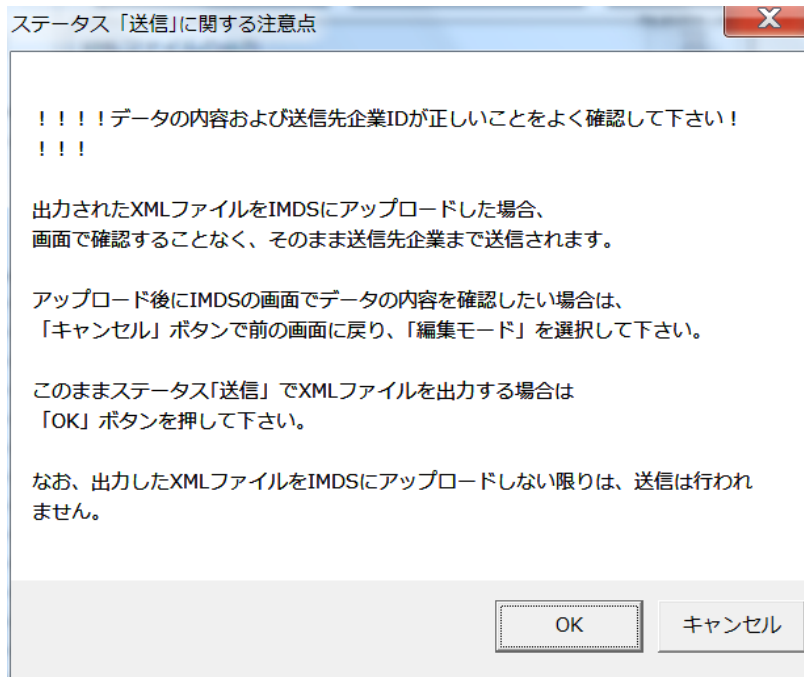
「XML ファイルの出力」画面

The 'XMLファイルの出力' (XML File Output) dialog box contains the following fields and options:

- サプライヤー情報 (Supplier Information):**
 - 組織ID (Company OrgID): [Text input field]
 - コンタクトパーソンID (ContactID): [Text input field]
- 送信先情報 (Destination Information):**
 - 送信先企業ID (RecipCompanyID): [Text input field]
- ステータス (Status):**
 - ☒ 編集モード (Edit Mode)
 - ☐ 送信 (Send)
- Buttons:** OK, キャンセル (Cancel)

「XML ファイルの出力」画面に必要事項を入力し、「OK」を押します。

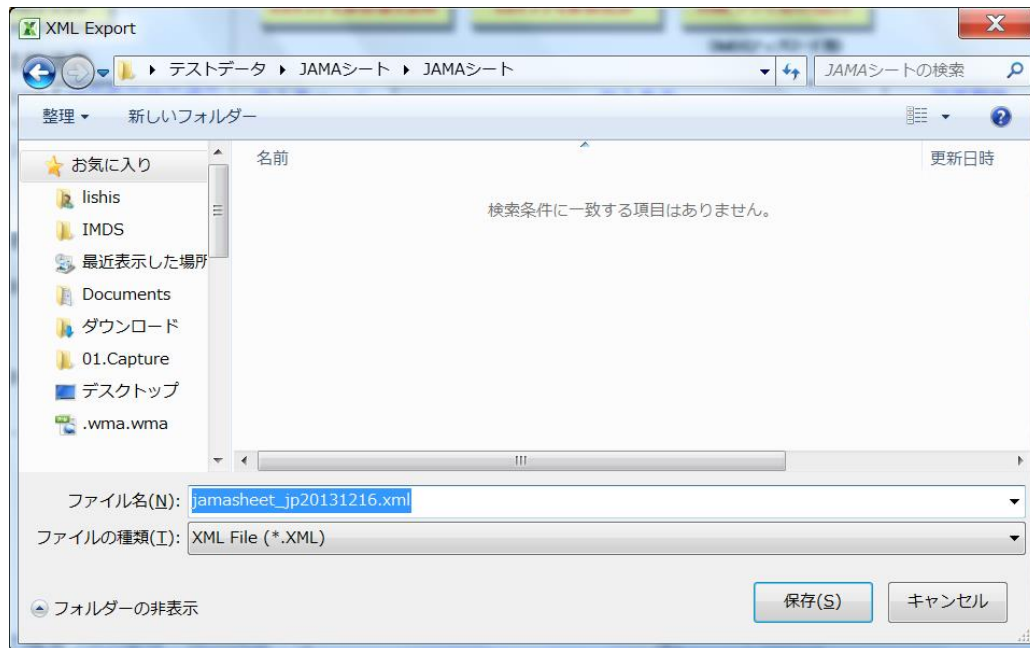
ステータス「送信」に関する注意点



「XML ファイルの出力」画面でステータス「送信」を選択した場合はその意味を説明する画面が表示されます。

◎ ファイル名・保存先の決定

XML ファイル出力画面



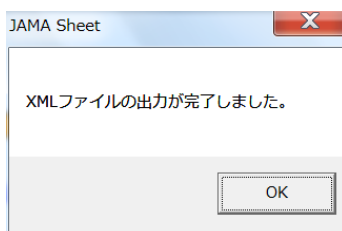
「XML ファイル出力」画面にてファイル名・保存先を決定し、「OK」を押します。

自動的にエラーチェック、ファイルの出力が行われるので、完了まで待ちます。

既に出力先フォルダに同名のファイルが存在している場合は、ファイルの上書きに対する警告が表示されます。

◎ 処理の完了

メッセージ



処理の完了を知らせるメッセージが表示されるので「OK」を押します。

その後は指定した保存先フォルダを開けば XML ファイルが利用できます。

◎ エラーチェック

- 「XML ファイルの出力」画面では、ステータスによって入力必須項目が定められています。

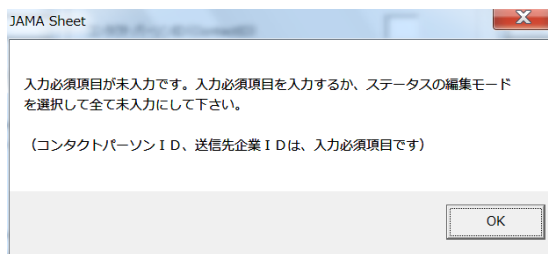
有効な入力パターン

項目名		パターン①	パターン②	パターン③
サプライヤー情報	組織 ID	未入力	未入力	入力
	コンタクトパーソン ID	未入力	入力	入力
送信先情報	送信先企業 ID	未入力	入力	入力
ステータス		編集モード	編集モードまたは送信	

パターン②または③に正しい値を入力すれば、出力した XML ファイルをそのままアップロードすることが可能です。

上述の 3 パターン以外のパターンを入力した場合はエラーメッセージが表示されます。

入力必須項目が未入力の場合



- XML ファイルへの出力は JAMA/JAPIA 統一データシートでのエラーチェックの有無に関わらず可能ですが、JAMA/JAPIA 統一データシートの「エラーチェック結果」によってデータチェックの状況を記述します。内容は以下の通りです。
 - **Successful** データチェックを行い、何もエラーがなかった場合
 - **Successful(with warning)** データチェックを行い、警告のエラーのみあった場合
 - **Error** データチェックを行い、警告以外のエラーがあった場合

5 他社からのデータを取り込む(CSV ファイルの取り込み)

■ 「CSV ファイルの取り込み」ボタン

CSV ファイル出力機能を利用して生成された CSV ファイルは、逆に JAMA/JAPIA 統一データシートに取り込むことができます。バージョン 2.31 の JAMA/JAPIA 統一データシートでは、バージョン 2.01 以降で作成された CSV ファイルを取り込むことができます。

調査元あるいは調査先から送られてきた CSV ファイルを JAMA/JAPIA 統一データシートに取り込むことで、JAMA/JAPIA 統一データシート上でのデータの入力やデータのチェックが可能になります。

調査元固有情報は画面上には表示されませんが保持されます。

取り込む CSV ファイル内に含まれる " (ダブルクォーテーション) は制御文字として処理されるため、JAMA/JAPIA 統一データシートに取り込んだ後は削除されます。データの内容にダブルクォーテーションが含まれる場合、エスケープシーケンスとして "" と記述する必要があります。

■ 例 納入部品名称に Part"ABC"ver1 と入力したい場合

CSV ファイル上は "Part""ABC""ver1" と記述します(最初と最後のダブルクォーテーションはデータ部分を識別するための制御文字)。

🔗 操作

◎ 「CSV ファイルの取り込み」ボタンを押す

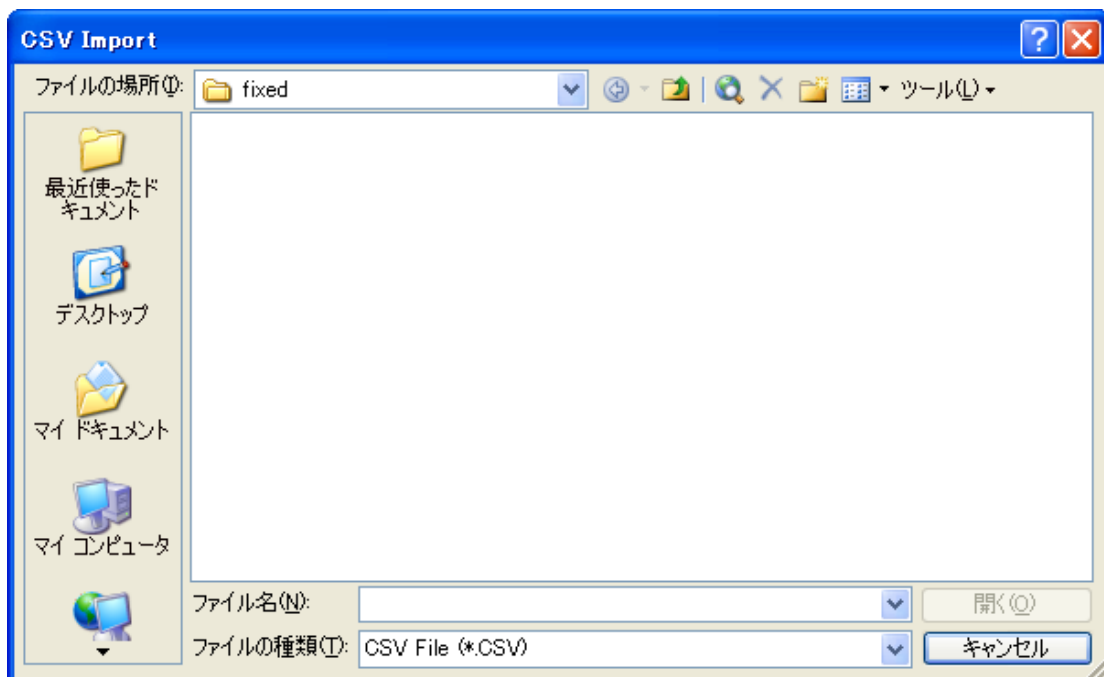
入力帳票

The screenshot shows the '入力帳票' (Input Form) sheet. At the top, there are several buttons: '入力データのチェック', 'CSVファイルの取り込み' (highlighted with a red box), 'CSVファイルの出力', 'XMLファイルの出力', and '一括クリア'. Below these are two main sections: (1) 基本情報調査 (Basic Information Survey) and (2) 構成材料・化学物質調査 (Component Material/Chemical Substance Survey). Section (1) includes fields for '納入先コード' (Supplier Code), '納入先名称' (Supplier Name), '納入先住所' (Supplier Address), '納入先電話番号' (Supplier Phone Number), and '納入先メールアドレス' (Supplier Email Address). Section (2) includes fields for '納入部品番号' (Supplier Part Number), '納入部品名称' (Supplier Part Name), '納入部品質量' (Supplier Part Mass), '設計変更番号' (Design Change Number), and '納入部品' (Supplier Part). The bottom part of the form contains a table with columns for '納入部品' (Supplier Part) and '納入部品質量' (Supplier Part Mass), with rows for 'test_001', 'test_002', and 'test_003'.

「CSV ファイルの取り込み」ボタンは「入力帳票」シートにあります。

◎ ファイル名・ファイルの場所の決定

CSV ファイル取り込み画面



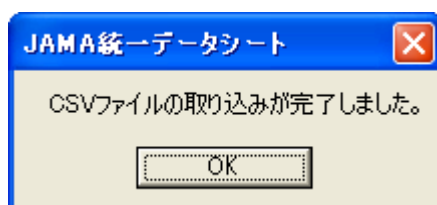
この操作の直前に CSV ファイルを取り込み、または出力していた場合、その際に使用した CSV ファイルが保存されているフォルダ、および同じファイル名が自動的に選択されています(「一括クリア」ボタンを使用した場合はフォルダ名のみ)。直前に取り込み・出力を行っていない場合は、JAMA/JAPIA 統一データシート本体と同じフォルダが表示されます。

フォルダとファイル名を決定し、「開く」を押します。

JAMA/JAPIA 統一データシートのバージョン整合性チェックが行われ、エラーがなければ自動的にデータの取り込みが行われるので、完了まで待ちます。エラーチェックについては詳細情報をご参照ください。

◎ 処理の完了

メッセージ

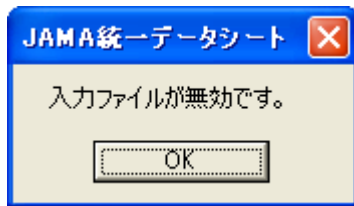


処理の完了を知らせるメッセージが表示されるので「OK」を押します。

その後は通常通りデータの入力が可能です。

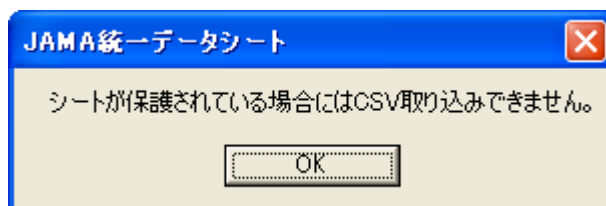
◎ エラーメッセージ

無効なファイルを取り込もうとした場合



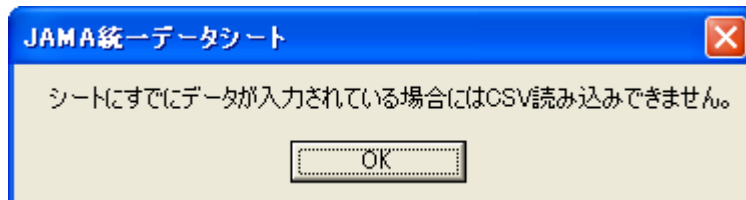
CSV ファイルと違うフォーマットのファイルを取り込もうとするとエラーが表示され、ファイルは取り込めません。

シートが保護されている場合



シートが保護されている場合はエラーが表示され、ファイルは取り込めません。

既にデータが入力されている場合



シートに既にデータが入力されている場合はエラーが表示され、ファイルは取り込めません。

「既にデータが入力されている場合」とは、以下のいずれかに該当する場合を指します。

- 調査元情報が入力されている
- 入力欄の 1 行目に何らかの値が入力されている

このため、JAMA/JAPIA 統一データシート入力欄の 1 行目が空白で 2 行目以下にデータが入力されていた場合、CSV データの取り込み処理が通常と同様に行われます。その際、取り込み後のデータ行数が下のデータ行数より少ない場合は下のデータがシート上に残ります。CSV ファイル取り込みの際は入力欄の全ての行が空白行になっているかどうかご確認ください。

なお、「一括クリア」ボタンを使用すると、入力帳票の値が全て削除されるため、そのまま CSV ファイルを取り込むことが可能です。

例

1 行目が空白、2～4 行目にデータの入った入力帳票

連番	納入部品	構成部品	材料	化合物	...
2	X	1	A		
3	X	1	B		
4	X	2	C		

この表より行数が少ない CSV ファイル(この例では 3 行)を取り込んだ場合、取り込み前のデータが残ります。

連番	納入部品	構成部品	材料	化合物	...
1	Y				
2	Y	5	M1		
3	Y	5	M2		
4	X	2	C		

取り込み後のデータ
(1～3 行目)

取り込み前のデータ
(4 行目)

変更履歴

日付	変更番号	変更内容
2010/10/01	Ver.2.12	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.12 に合わせ修正
2011/06/01	Ver.2.13	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.13 に合わせ修正
2011/10/01	Ver.2.14	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.14 に合わせ修正
2012/06/01	Ver.2.16	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.16 に合わせ修正
2012/10/01	Ver.2.17	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.17 に合わせ修正
2013/06/01	Ver.2.18	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.18 に合わせ修正
2013/10/01	Ver.2.20	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.20 に合わせ修正
2014/04/25	Ver.2.20(IMDS9.0 対応版)	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.20(IMDS9.0 対応版) に合わせ修正
2014/10/01	Ver.2.30	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.30 に合わせ修正
2015/06/01	Ver.2.31	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.31 に合わせ修正
2015/11/01	Ver.2.32	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.32 に合わせ修正
2016/06/01	Ver.2.33	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.33 に合わせ修正
2016/11/01	Ver.2.40	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.40 に合わせ修正
2017/10/01	Ver.2.50	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.2.50 に合わせ修正
2018/10/01	Ver.3.00	JAMA/JAPIA 統一データシート Ver.3.00 に合わせ修正